

別書誌  
合2冊

14.5

17<sub>1</sub>



始





6.10.5



14.5-17イ



\*1200501211428\*

支那銀行關係規定集

滿鐵調查課



14.5-171

## 凡 例

- 一、各種立法事業未だ完成せざる支那に在りては、銀行關係諸規定も亦従つて整然たる能はず、且つ過去に於ては法規は存するも其權威甚だ乏しく、單に其形骸を存するに過ぎざるものが多かつたが、これらは漸次改善せられて近き將來完成の域に達するこゝに、信ず。本編は現存せる各種規定の内主要なるもの、みを集め之を翻譯せるものである。
- 二、本編資料は主として支那政府公報より抄録せるもの及び直接各銀行より得たるものであるが、其他より轉載せるものもある。これらは各末尾に其所在を明にした。
- 三、資料の蒐集には相當努力したけれども其結果は甚だ物足りないものであつた。將來機會あらば追補訂正する心算である。
- 四、配列の順序は大體公布の曆年順による。
- 五、譯文は原文の意を失はざるこゝに努めたが或は多少の誤謬なきを保し難い。讀者の叱正を乞ふ次第である。
- 六、本編々纂に際し多大の助力を與へられたる各位に對し深く感謝の意を表す。
- 七、擔當者課員 藤井 諒

昭和六年二月

滿 鐵 調 査 課



# 支那銀行關係規定集

發行所寄贈本

## 目次



前編 銀行ニ關スル一般的规定	
銀行通行則例	六
各省官銀錢行號監理官章程	九
國幣條例	一〇
銀行職員取締章程	一三
銀行稽查章程	一五
金券條例	一七
銀行公會章程	二〇
紙幣取締條例	二一
金融監理局組織條例	二二





金融監理局檢查章程……………二二  
 銀行登錄章程……………二三  
 銀行登錄章程施行細則……………二六

後編 各銀行ニ關スル諸規定

農工銀行條例……………二九  
 東萊銀行議章……………三六  
 中南銀行章程……………三八  
 全國農工銀行事務局章程……………四三  
 勸業銀行章程……………四四  
 中國農工銀行章程……………五四  
 大陸銀行章程……………六四  
 農商銀行章程……………六七  
 金城銀行章程……………七〇  
 永衡官銀錢號總分支號章程……………七二

發行所 永衡官銀錢號

浙江興業銀行章程……………七五  
 東三省官銀號現行章程……………八四  
 東三省官銀號職務通則……………八八  
 浙江實業銀行章程……………一〇〇  
 中央銀行條例……………一〇八  
 中央銀行章程……………一一三  
 中央銀行兌換券章程……………一二一  
 國華銀行章程……………一二二  
 中國銀行條例……………一二九  
 中國銀行章程……………一三四  
 上海商業儲蓄銀行章程……………一四七  
 上海商業儲蓄銀行儲蓄處章程……………一五四  
 鹽業銀行章程……………一五五  
 邊業銀行章程……………一五七  
 東邊實業銀行章程……………一六〇



交通銀行條例……………一六八

交通銀行組織規程……………一七二

交通銀行董事會規程……………一八二

交通銀行監察人會規程……………一八五

中國國貨銀行章程……………一八八

中國國貨銀行董事會規程……………一九七

中國國貨銀行監察人會規則……………二〇〇

中華國家銀行條例……………二〇三

中華國家銀行章程……………二〇八

中華國家銀行兌換券暫行章程……………二一六

黑龍江省官銀號現行章程……………二一八

附錄

上海銀行公會章程……………二二三

上海銀行營業規程……………二三一

郵政儲金條例……………二三七

會社法……………二三八

遼寧省城各銀行號聯合發行準備庫暫行章程……………二八一

銀行法……………二八三



# 支那銀行關係規定集

## 前編 銀行ニ關スル一般の規定



### 銀行通行則例

光緒三十四年一月十六日裁可公布 民國九年本則例ノ改正ニ着手セルモ實施  
ヲミルニ至ラズ、民國十三年再改正ヲ企テ其草案ヲ得タルモノトミルベキナ  
ルニ至ラズシテヤム、從テ本則例ハ今日尙行ハレツ、アルモノトミルベキナ  
レド實際ニ於テハ殆ンド形骸ヲ存スルニ過キズ、アルモノトミルベキナ  
然ルニ國民政府立法院商法起草委員會ハ銀行法草案ヲ制定シ民國二十年二月  
二十八日第三百三十三回會議ニ提出シ其修正通過ヲ經タ、故ニ遠カラズ國民政  
府會議ニ提出シ其施行ヲミルニ至ルベシ  
右銀行法案ハ最後ニ譯出セリ

第一條 店舗ヲ開キ左記業務ヲ營ムモノハ如何ナル店名商號ヲ用ユルトト問ハス總テ銀行トシ本則例ニ遵據セシム

- 一、各種約束手形爲替手形ノ割引
- 二、短期利息
- 三、預金
- 四、貸出
- 五、地金銀ノ賣買
- 六、銀錢ノ兌換
- 七、會社銀行商店ノ發行セル證書ノ代理受取

前編 銀行ニ關スル一般の規定



八、各種約束手形爲替手形ノ發行  
九、市場ニ流通セシムル銀錢券ノ發行

紙幣律ノ施行サル、マテハ官私立ノ各行號ハ當分ノ間市場ニ流通セシムヘキ銀錢券ヲ發行スルコトヲ得但シ官設  
行號ハ毎月發行額及準備金額ヲ期ヲ定メテ度支部ニ報告シ其審査ニ供スヘシ且ツ度支部ハ隨時人ヲ派シテ検査セ  
シム

第二條 銀行ヲ創設セントスルモノハ獨立出資ニヨルト或ハ會社組織ニヨリ株式ヲ募集スルトヲ間ハス資本總額ヲ  
定メ確實ナル商店ノ保證ヲ得地方官ヲ經由シテ度支部ニ申請シ其認可登錄ヲ經テ後開業スヘシ  
銀行カ上申スヘキ事項ハ總テ地方官ヲ經由スヘク又直接度支部ニ送ツテ審査ニ便スルコトヲ得  
銀行ノ開業ニ當リテハ豫メ其年月日ヲ地方官並ニ度支部ニ届出ツルコトヲ要ス

第三條 銀行ヲ開設セントスルモノハ左記事項ヲ具シテ申請スヘシ

一、行號ノ名稱

二、本店並ニ支店ノ設置地名

三、資本額

四、組織

獨立資本或ハ合名合資組織ニアリテハ其出資者ノ姓名原籍住所ヲ又株式組織ニアリテハ上記ノ外株式募集章程及  
發起人執務人ノ姓名原籍住所員數ヲ有限責任無限責任ニ分チテ申請スヘシ

第四條 銀行ヲ開設セントスルトキハ總テ本則例ニ遵ヒ詳細規定ヲ定メ度支部ニ認可ヲ申請スヘシ其變更セントス  
ル場合亦同シ

第五條 銀行ハ半年毎ニ其所有財産目錄及貸借對照表ヲ作成シ度支部ニ送り其審査ニ供スヘシ

特別ノ事情アル場合ハ度支部ハ委員ヲ派遣シテ各種帳簿書類現金及其營業ノ實情ヲ検査セシム

此外各種營業ニハ干預セス若シ官吏カ事ヲ構ヘテ私カニ求ムルコトアラハ該行ヨリ度支部ニ届ケ出ツヘク度支部  
ハ嚴重ニ査問スヘシ

第六條 銀行ハ毎年決算後貸借對照表ヲ作成シ收支金額ヲ詳細ニ記入シ新聞紙ニ廣告シ或ハ其他ノ方法ニヨリ一般  
ニ周知セシムヘシ

第七條 銀行ノ營業時間ハ午前八時ヨリ午後四時マテトス但シ營業ノ情況ニヨリ之ヲ變更スルコトヲ得

第八條 銀行ハ日曜日或ハ其地方ノ休日ニハ休業スルコトヲ得但シ休業ヲ欲セサルモノハ營業スルコトヲ得

已ムヲ得サル事故ニヨリ臨時ニ休業セントスル場合ハ地方官ニ届出テ新聞紙ニ廣告シ或ハ其他ノ方法ニヨリ一般  
ニ周知セシムヘシ

第九條 認可登錄ヲ經タル各銀行ニ危險ナル情形アル場合ハ詳ニ其理由ヲ所在地々方官ニ届出テ度支部ニ報告スヘ  
シ度支部ハ地方官ニ命シテ營業ノ實狀及將來ノ希望ヲ調査セシメ若シ一時的ノ運轉不能ニシテ實際上缺損ニアラ  
サルトキハ最寄大清銀行ニ命シ資金ヲ貸與シ或ハ擔保ヲ提供セシメテ意外ノ事故ヲ免レシムヘシ



第十條 銀行カ個人經營ヲ會社組織ニ改メ或ハ會社組織ヲ個人營業ニ改メ又ハ其會社ノ制度ヲ變更シ或ハ他ノ會社ト合併スル場合ハ第二條ニヨリ處理スヘシ

第十一條 銀行カ若シ第五條所定ノ報告檢査及ヒ第六條所定ノ布告ニ遵ハス或ハ檢査ニ際シ隱匿シ或ハ報告布告ニ際シ不實ヲ掲ケ之ヲ發見セラレタルトキハ度支部ハ其情狀ノ輕重ヲ酌量シテ五兩以上千兩以下ノ罰金ヲ科ス

第十二條 既設ノ各私立票莊銀號錢莊等ノ各種營業ニシテ銀行ノ性質ヲ有スルモノハ本則例ヲ遵守スヘシ本則例ニ遵ヒ登錄セルモノハ度支部ハ保護ヲ加フヘク未タ登錄セサルモノハ三年內ニ總テ登錄スヘシ若シ期限內ニ登錄セサルモノハ再ヒ爲替預金ノ取扱及一切ノ官金ノ取扱ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條 各省官立ノ行號或ハ官民合同ノ行號ハ本則例制定後六ヶ月內ニ度支部ニ登錄シ總テ本則例ヲ遵守スヘシ若シ期限ヲ過クルモ登錄セサルモノハ五百兩以上ノ罰金ヲ科シ六ヶ月ヲ遲延スル毎ニ罰金額ヲ增加ス

第十四條 官立行號ハ各省ニ一箇處設立ヲ許可ス若シ別ニ設立ノ必要アル場合ハ度支部ト協商シ或ハ奏請シテ處理スヘシ

各種官立銀行カ分行ヲ設立セントスルトキ大清銀行分行ノ所在地ニ在リテハ該分行ヲシテ代理セシムヘシ

第十五條 銀行カ缺損ニ因リ或ハ特別事故ニ因リ廢業ヲ爲サントスルトキハ清算人ヲ選定シテ處理セシムヘク地方官ニ届出テ貸借金額ヲ清算シ商律ニ據ツテ之ヲ行フヘシ

地方官ハ事由ヲ具シ速カニ度支部ニ報告シテ審査ニ便スヘク遲延スルヲ許サス且ツ該行自ラ度支部ニ届出テ、審

查ニ便スルヲ要ス

附 則

單ニ銀錢ヲ兌換スルノミニシテ銀行ノ性質ナキモノハ本則例施行後銀錢兌換所ト爲サハ登錄スルヲ要セス

各種特別銀行ハ其特別條例ニ遵據スル外其條例ニ規定ナキ事項ハ本則例ニ據ルヘシ

本則例ハ批准後三ヶ月ヨリ施行ス

本則例改正ヲ要スル場合ハ隨時事情ヲ酌量シ奏請處理ス

各省官銀錢行號監理官章程

民國二年十二月二十三日財政部部令第三〇一號公布  
民國三年三月四日修正、各省官銀錢行號各地方權力  
者ノ意思ノマ、ニ左右セラレ本章程ノゴトキ何等權  
威ヲ有セズ。

第一條 監理官ハ財政總長ノ命ヲ承ケ各省官銀錢行號ノ一切ノ事務ヲ監視ス

第二條 監理官ヲ派遣スヘキ各省官銀錢行號ハ財政總長之ヲ定ム

第三條 監理官ハ各省官銀錢行號ノ各種帳簿及金庫ヲ隨時ニ檢査スルコトヲ得

第四條 監理官ハ各省官銀錢行號ノ紙幣發行數額及準備金狀況ヲ隨時檢査スルコトヲ得

其檢査報告書ハ財政總長ニ呈スヘシ

第五條 各省官銀錢行號カ新舊紙幣ヲ引換發行セントスルトキハ監理官ヲ經テ財政總長ノ審査許可ヲ申請スルコトヲ要ス



第六條 各省官銀錢行號内ノ未發行ノ紙幣及印刷紙印板印章ハ均シク監理官立會ノ上封印保管スルコトヲ要シ財政部ノ命令ヲ受クルニ非サレハ開封シテ使用スルコトヲ得ス

第七條 監理官ハ各省官銀錢行號ノ各種證券及一切ノ書類ヲ隨時檢閲スルコトヲ得

第八條 監理官ハ各省官銀錢行號事務一切ノ情形ヲ隨時檢閲スルコトヲ得監理官ハ各省官銀錢行號事務一切ノ情形ヲ隨時質問スルコトヲ得若シ必要ト認ムルトキハ銀行ニ對シ各種表冊及營業概略ノ作成報告ヲ請求スルコトヲ得前項ノ表冊書類ニハ各省官銀錢行號總辦ノ署名捺印ヲ要ス

第九條 監理官ハ毎月十五日以前ニ前月内ノ檢査情形ニツキ詳細ナル檢査報告書ヲ編成シテ財政總長ニ報告スルコトヲ要ス

第十條 監理官ハ各省官銀錢行號業務ニ對シ章程及其他ノ辦法ニ違背シタル行爲アリト認ムルトキハ速ニ財政總長ニ呈報スヘシ

第十一條 監理官ハ財政總長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ擅ニ職務ヲ離ルコトヲ得ス

第十二條 官商合辦ノ銀錢行號及紙幣ヲ發行スル商辦銀錢行號モ亦本章程ノ規則ヲ適用ス

第十三條 本章程ハ公布ノ日ヨリ施行ス

### 國幣條例

民國三年二月七日敕令第十九號公布、宣統二年四月十六日發布セラレタル圓銀本位制採用ニ關スル國幣條例ヲ復活制定セルモノニシテ貨幣制度トシテハ間然スルトコロコナク現在モ之ニ依據ス

第一條 國幣ノ鑄造發行ノ權利ハ政府ニ專屬ス

第二條 庫平純銀六錢四分八釐ヲ價格ノ單位ト爲シ圓ト名ク

第三條 國幣ノ種類左ノ如シ

銀幣四種 一圓 半圓 二角 一角

銀幣一種 五分

銅幣五種 二分 一分 五釐 二釐 一釐

第四條 國幣ノ計算ハ十進トシ一圓ノ十分ノ一ヲ角ト稱シ百分ノ一ヲ分ト稱シ千分ノ一ヲ釐ト稱ス公私ノ取引ハ總テ此率ニ依ル

第五條 國幣ノ重量成色左ノ如シ

一、一圓銀幣 總重量七錢二分 銀九 銅一

二、五角銀幣 總重量三錢六分 銀七 銅三

三、二角銀幣 總重量一錢四分四釐 銀七 銅三

四、一角銀幣 總重量七分二釐 銀七 銅三

五、五分銀幣 總重量七分 銀二五 銅七五

六、二分銅幣 總重量二錢八分 銅九五 錫百分ノ四 鉛百分ノ一

前編 銀行ニ關スル一般的規定



- 七、一分銅幣 總重量一錢八分 成色前二同シ
- 八、五釐銅幣 總重量九分 成色前二同シ
- 九、二釐銅幣 總重量四分五釐 成色前二同シ
- 十、一釐銅幣 總重量二分五釐 成色前二同シ
- 第六條 一圓銀幣ノ使用限度ハ無制限トス 五角銀幣ハ一回ノ受授二十圓以内 二角一角銀幣ハ一回ノ受授五圓以内 銀幣銅幣ハ一回ノ受授一圓以内ヲ限度トス 但シ租稅ノ收受國家銀行ノ兌換ニハ此種ノ制限ヲ設ケス
- 第七條 國幣ノ型式ハ敎令ヲ以テ之ヲ頒定ス
- 第八條 各種銀幣ハ何枚タルトテ問ハス其重量ト法定重量トノ公差ハ千分ノ三ヲ逾ユルコトヲ得ス 各種銀幣ハ一千枚ニツキ合計重量ト法定重量トノ公差ハ一萬分ノ三ヲ逾ユルコトヲ得ス
- 第九條 各種銀幣ハ何枚タルトテ問ハス其成色ト法定成色トノ公差ハ千分ノ三ヲ逾ユルコトヲ得ス
- 第十條 一圓銀幣カ使用ニ因リ磨損シ法定重量百分ノ一ヲ減少シタルトキ及ヒ五角以下ノ銀幣銅幣カ使用ニ因リ磨損シ法定重量百分ノ五ヲ減少シタルトキハ政府ニ對シ新幣トノ交換ヲ請求スルコトヲ得
- 第十一條 故意ニ毀損セル貨幣ハ收受ヲ強要スルコトヲ得ス
- 第十二條 政府ニ地銀ヲ提供シ一圓銀幣ノ鑄造ヲ委託スルモノニ對シテハ政府之ニ應スヘシ

但シ一枚ニツキ鑄造費庫平六釐ヲ徵收ス

第十三條 本條例ノ施行期日ハ敎令ヲ以テ定ム

### 銀行職員取締章程

民國四年八月二十四日財政部飭第四百十九號公布

- 第一條 銀行ハ自行職員ニ對シ貸出ヲナスコトヲ得ス但シ董事會ノ議決認可ヲ得タルモノハ此限りニアラス然レトモ其額ハ其資本額ノ十分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス
- 第二條 銀行職員ニシテ自行ニ預金ヲ有スルモノニ對シテハ預金額以上に貸越ヲ爲スコトヲ得ス
- 第三條 銀行カ擔保附貸付ヲ行フニ際シ少額ノ物件ニ對シ多額ノ貸付ヲ行ヒ又ハ低廉ナル物件ヲ高價ナル擔保ト爲シ或ハ各種不確實ノ手形ヲ以テ擔保品トナスコトヲ得ス若シ上記ノコトアラハ該行經理人ヲ不正者ト看做ス
- 第四條 銀行職員ハ自行手形ヲ割引シテ買入ル、コトヲ得ス
- 第五條 銀行職員ハ他人ノタメニ保證シテ本銀行ヨリ借款ヲナスコトヲ得ス
- 第六條 銀行職員ハ自行ノ營業種類トシテ規定スルコロノ業務ヲ私營スルコトヲ得ス
- 第七條 凡ソ信用貸付ニ際シ該行經理人カ借主ノ確實ナラサルコトヲ明知スルニ拘ラス專ラ情ニヨリテ金錢ヲ貸與シタルトキハ詐欺取財ヲ以テ論ス
- 第八條 凡ソ經理人ハ投機其他不正當ノ商業ヲ兼營スルコトヲ得ス

前編 銀行ニ關スル一般的規定



## 銀行稽查章程

民國五年十二月十一日財政部令百三十五號公布

### 第一章 總 則

第一條 財政部ハ全國ノ銀行ヲ總轄スル目的ヲ以テ特ニ銀行検査員ヲ設ケ各地ノ官立私設各銀行ノ検査事務ヲ處理セシム

右ニ銀行ト稱スルハ官錢局及民營ノ銀號銀莊ヲ總テ此内ニ包括ス

第二條 銀行検査員ハ財政部ヨリ職員ヲ派遣シテ專任セシメ又ハ主管官署職員ヲ派遣シテ兼任セシム若シ各銀行監理官又ハ其他ノ職員ニ委託シテ處理セシムルコトヲ要スルトキハ部令ヲ以テ銀行検査員ニ任スルコトヲ得

第三條 検査ハ二種ニ分ツヘシ

甲、定期検査

乙、臨時検査

第四條 定期検査ハ財政部ニ於テ毎年二月八月ニ各別ニ職員ヲ派遣シテ之ヲ行ハシム

各銀行ニシテ特ニ検査時期ノ規定アルモノハ前記規定並ニ其規定ニヨリテ検査スルコトヲ得

第五條 臨時検査ハ左記ノ事項ニ關シ財政部ニ於テ検査ノ必要アリト認メタル場合ニ職員ヲ派遣シテ之ヲ行ハシム

甲、規定ニ依リ財政部ニ報告スヘキ各種ノ表冊ヲ延期シテ報告セス又ハ記入シタル帳簿ノ金額ニ屢々誤謬アリ或

ハ其他ノ帳簿ニ疑問アル場合

乙、財政部ヨリ所得ヲ質問シ又ハ人民ヨリ告訴セラレタル場合

丙、各銀行ノ董事會又ハ官立銀行ノ主管機關ニ於テ信用ヲ表ボスル目的ニテ財政部ニ検査員ノ派遣ヲ申請シタル場合

丁、各銀行ト關係アル特別事故發生シタル場合

第六條 銀行検査員ヲ各銀行ニ派遣スルトキハ財政部ヨリ交付スル本人ノ寫眞委任辭令ヲ携帶シテ證據トナサシムヘシ

第七條 銀行検査員ヲ各銀行ニ派遣シタルトキハ規定ニ依リテ検査ヲナスヘキ事項ニ對シ各銀行ハ拒絕又ハ遲延スルコトヲ得ス之ニ違反シタルトキハ銀行検査員ヨリ財政部ニ各別ニ處罰又ハ其營業ノ停止ヲ申請スルコトヲ得

第八條 銀行検査員ニ於テ若シ検査事項ニツキ該銀行カ銀行法規ニ違反シタルモノト認ムルトキハ處分辦法ヲ定メテ直チニ該銀行董事會ニ報告シ若シ官立銀行ナルトキハ其主管官廳ニ報告シ一方財政部ニ審査ヲ申請スルコトヲ得

第九條 銀行検査員ハ各銀行ノ營業及帳簿事務ノ一切ニツキ辦法ニ照シ考查シテ得タル意見ヲ陳述スルコトヲ得

### 第二章 検査方法

第十條 銀行検査員ハ検査實行ノ際左記各項ニ注意スヘシ

前編 銀行ニ關スル一般の規定



甲、財政部ニ報告シタル各種ノ表冊ト銀行帳簿ノ決算數額トハ相符合スルヤ

乙、各勘定科目ニ分記シタル帳簿及實際ノ金錢有高ト元帳ニ記載スル決算數額トハ相符合スルヤ

丙、擔保附貸付金ノ擔保品及一切ノ必要ナル各種手續ト契約條件トハ相符合スルヤ

丁、預金貸付ニ對スル各種收支證據書類ト帳簿記載額トハ相符合スルヤ

戊、其他ノ收入支出各金額ノ處理ニ關スル規定及記帳方法ト銀行章程トハ相符合スルヤ

第十一條 銀行検査員ハ曾テ財政部ノ認可ヲ經テ銀元紙幣又ハ銅錢紙幣ヲ發行スル銀行ニ對シテハ其準備金ノ種類數額及検査ノ際ニ於ケル實際ノ流通紙幣額ヲ調査スヘシ

第十二條 銀行検査員ハ前記第十條第十一條ノ検査方法ニ依ル外若シ臨時検査ニ際シ特別ニ注意スヘキ事項並ニ時期ノ短縮ヲ要スル場合アルトキハ其手續ヲ採ルコトヲ得

第十三條 銀行検査員ニ於テ疑問ノ點アルトキハ銀行又ハ銀行ノ主管官廳ニ對シ詳細ニ詢問スルコトヲ得

### 第三章 検査責任

第十四條 銀行検査員ハ検査終了日ノ各種帳簿及實際ノ金錢有高ニ對シ其検査ノ責任ヲ負フヘシ

第十五條 銀行検査員ノ検査シタル各種帳簿ニシテ若シ勘定科目ト事實ト符合セサル點アルトキハ銀行ノ職員ニ於テ各別ニ責任ヲ負フヘシ但シ銀行検査員ハ検査シタル各種帳簿上ノ勘定科目ニ對シ依然其責任ヲ負フ

第十六條 銀行検査員ハ若特別重要ナル事故アリテ検査ヲ爲スモ責任ヲ負フコト能ハスト認ムルトキハ豫メ財政部

ノ認可ヲ申請スルコトヲ要ス

第十七條 銀行検査員ハ秘密ヲ守ルヘキ責任ヲ有ス

### 第四章 罰則

第十八條 銀行検査員ニシテ本章程ニ規定スル各項ニ違反シ或ハ收賄結託等ノ事情アリ財政部ニ於テ之ヲ發見シ又ハ人民ヨリ告訴セラレ財政部ノ審査ヲ經テ事實ノ證據アリタルトキハ免職ト爲スノ外輕重ヲ區別シテ懲罰シ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

## 金 券 條 例

民國七年八月十日敕令第三十三號公布、當時ノ財政廳長曹汝霖ノ意見ニ基キ制定セラレタルモ全ク有名無實ニシテ自然消滅ノ狀態ニ在リ

第一條 政府ハ國際貿易上金本位改正ニ備フルタメニ幣制局指定ノ銀行ヲシテ金券ヲ發行セシムルコトヲ得

第二條 金券ノ單位ハ一金圓ト爲シ一金圓ハ純金〇・七五二三一八公分ヲ含ム即チ庫平二分〇一毫六絲八忽八トス

一金圓ノ十分ノ一ヲ一角ト爲シ百分ノ一ヲ一分ト爲シ千分ノ一ヲ一釐ト爲シ皆十進ヲ以テス

第三條 金券ノ種類左ノ如シ

一 圓

五 圓

十 圓

前編 銀行ニ關スル一般的規定



- 二十圓
- 五十圓
- 一百圓

政府ハ幣制局指定ノ銀行ヲシテ五角二角一角ノ三種ノ金券ヲ發行セシムルコトヲ得且造幣總廠ヲシテ一分銅幣ヲ鑄造セシムルコトヲ得

第四條 金券ハ金圓ノ鑄造以前ニ在リテハ其所持人ハ指定ノ銀行ニ對シ金券ヲ以テ本國內ノ他地或ハ外國ニ爲替取組ヲ爲スコトヲ得金圓鑄造後ニ在リテハ金圓ト兌換シ或ハ金券ヲ以テ本國內ノ他地或ハ外國ニ爲替取組ヲ爲スコトヲ得

金券ハ指定銀行ニ於テ外國金貨或ハ地金ト其含有スル純金重量ニ依テ交換スルコトヲ得  
金製器具ハ地金ヲ以テ論ス

第五條 金券ト現行國幣トノ比價ハ定メス但シ指定ノ銀行ハ各地ニ於テ隨時公示セル比價ニ依リ金券ヲ國幣ト交換シ或ハ國幣及地銀ヲ金券ト交換スヘシ

第六條 指定銀行ノ金券發行ハ十割ノ準備ヲ要ス該準備ハ本國金圓地金或ハ外國金貨ヲ以テシ内外ノ爲替取組地ニ分チ保存ス  
準備金ノ保存地及其金額ハ每旬一回公布スルコトヲ要ス

前項ノ準備金ハ幣制局ノ派遣員ハ隨時之ヲ検査ス

第七條 金券ハ指定銀行ノ隨時公示セル比價ニ依リ公私一切ノ受拂ニ之ヲ使用スルコトヲ得  
金券ハ無制限ニ使用スルコトヲ得

第八條 指定銀行ハ金券ヲ以テ貸付預金其他營業ヲ爲スコトヲ得

第九條 本條例ハ公布ノ日ヨリ施行ス

### 銀行公會章程

民國四年八月二十四日財政部飭第四百十八號公布、民國七年八月二十八日財政部令百十四號改訂

第一條 中華民國ノ法令ニ依リテ組織シタル中國ノ銀行ハ五行以上ノ發起ニヨリ本章程ヲ遵守シ財政部ノ認可ヲ申請シテ銀行公會ヲ組織シ左記ノ各事項ヲ處理スルコトヲ得

- 一、財政部又ハ地方長官ノ委託ヲ受ケ銀行ノ共同事項ヲ處理ス
- 二、手形交換所及徵信所ノ事項ヲ處理ス
- 三、銀行業務ノ發展銀行弊害ノ矯正

但シ中國人外國人合資ニテ設立シタル銀行ニシテ中華民國ノ法令ニ依リテ設立ヲ登録シタルモノハ公會ニ加入スルコトヲ得

第二條 入會スル銀行ハ左記ノ各條件ヲ具備スヘシ

前編 銀行ニ關スル一般的規定



- 一、實際拂込資本金ノ總額二十萬元以上ナルコト
  - 二、設立登錄後既ニ滿一年ヲ經過シタルコト
- 銀行公會ノ設立後前記ノ條件ヲ具備スルモノハ加入銀行多數ノ同意ヲ經テ隨時入會スルコトヲ得
- 第三條 入會シタル銀行ハ會員ヲ選出シテ該銀行ヲ代表セシムルコトヲ得
  - 其會員ノ資格及定員ハ各地ノ銀行公會章程内ニ之ヲ定ム
- 第四條 左記各項ノ事情アルモノハ會員タルコトヲ得ス
    - 一、曾テ破産ノ宣告ヲ受ケ尙未タ取消ヲ受ケサルモノ
    - 二、公權ヲ褫奪セラレ尙未タ復權セサルモノ
    - 三、中華民國ノ國籍ニアラサルモノ
- 第五條 各地方ノ銀行ニテ組織シタル銀行公會ハ公會ノ章程及其他各種ノ規約ヲ定メ財政部ノ認可ヲ申請シテ施行スヘシ
  - 第六條 銀行公會章程内ニハ左記各事項ヲ規定スヘシ
    - 一、公會ノ經費及會費徵收ノ方法
    - 二、公會ノ所在地
    - 三、公會内部ノ組織

四、公會ノ處理スヘキ各事項

- 第七條 銀行公會ニハ董事長一人ヲ置クコトヲ得董事ハ七人ヲ超ユルコトヲ得ス
- 第八條 董事ハ會員中ヨリ公選シ董事長ハ董事ヲシテ之ヲ互選セシム
- 第九條 董事長董事ノ任期ハ二年トシ任期滿了セルトキハ改選セシム但シ重任スルコトヲ得
- 第十條 加入銀行ハ相互ニ援助スルノ責ヲ有ス
- 第十一條 加入銀行ニシテ若シ公益ヲ破壞シ或ハ該會ノ章程ヲ遵守セサル事實アルトキハ董事ニ於テ議決シ且加入銀行多數ノ同意ヲ經テ其退會ヲ命スルコトヲ得
- 第十二條 一地方ニハ銀行公會一箇所ヲ設立スルヲ以テ限リトス
- 第十三條 銀行公會ニハ銀行員ノ俱樂部ヲ附設スルコトヲ得
- 其章程ハ各該地ノ公會ニ於テ之ヲ定ム
- 第十四條 本章程ハ公布ノ日ヨリ施行ス

紙幣取締條例

民國四年十月二十日公布、民國九年六月二十七日大總統指令第一六四五號修正  
支那ニ於ケル有名無實ノ各種法規ノウチ本條例ノ如キハ其代表的ノモノデアアル

- 第一條 總テ官私立銀錢行號ニシテ紙幣ヲ發行セントスルモノハ國家銀行ノ外ハ均シク本條例ニ依リ辦理スヘシ
- 印刷或ハ書寫セル紙券ニシテ數額一定シ受取人及受取時期ヲ記載セス其所持人ニ對シ該紙券ト銀兩銀元銅元制錢



トヲ兌換セントスルモノハ本條例ニ於テハ紙幣ト見做ス

第二條 本條例施行後新設ノ銀錢行號及ヒ既設ノ銀錢行號ニシテ從來紙幣ヲ發行セサルモノハ今後總テ紙幣ヲ發行  
スルコトヲ得ス

第三條 本條例施行前設立セラレタル銀錢行號ニシテ既ニ財政部ヨリ紙幣ノ發行ヲ法令ニ據リ認可セラレタルモノ  
ハ紙幣ノ發行ヲ許可ス但シ以後ハ發行額ヲ増加スルコトヲ得ス

前項紙幣發行ノ銀錢行號ハ營業年限ヲ定メタルモノハ期限滿了ト共ニ發行紙幣全部ヲ回收スルコトヲ要シ期限ヲ  
延長スルコトヲ得ス營業年限ヲ定メサルモノハ幣制局及財政部ヨリ一定ノ期限ヲ定メテ其發行紙幣ヲ回收セシム

第四條 本條例施行前設立セル銀錢行號ニシテ紙幣發行ニ關シ財政部ノ認可ニ當リ特別ノ條件ヲ附セラレタルモノ  
ハ其條件ニ從ヒ辦理ス

第五條 本條例施行前設立セル銀錢行號ニシテ紙幣ヲ發行セルモ未タ財政部ノ認可ヲ得サルモノハ本條例施行ノ日  
ヨリ六箇月以内ニ其發行額及準備金ヲ検査シ之ヲ地方官ヲ經テ幣制局及財政部ニ報告スヘシ其發行額ニツキ認可  
ヲ與ヘラレタルモノハ當分其發行ヲ許ス但シ幣制局及財政部ハ何時ニテモ期限ヲ定メ其回收ヲ命スルコトヲ得

第六條 本條例施行前銀錢行號ニ非スシテ紙幣ヲ發行セルモノハ本條例施行後一年內ニ全部回收スヘシ

第七條 各銀錢行號カ本條例第三條第四條第五條ニ違ヒ發行スル紙幣ハ隨時兌換ノ責ニ任スルコトヲ要ス

前項紙幣ハ少クトモ其六割ハ現金準備トシ其餘ハ政府發行ノ公債券ヲ以テ保證準備ト爲スコトヲ得特別ノ事情ア

リテ前項ノ如ク爲シ能ハサルモノハ幣制局及財政部ノ指圖ニヨリ處理ス

第八條 紙幣ヲ發行スル銀錢行號ハ毎月發行額報告表現金及保證準備報告表ヲ又半年毎ニ收支對照表財産目錄ヲイ  
ツレモ地方官或ハ監理官ヲ經テ幣制局及財政部ニ提出スヘシ

第九條 紙幣發行銀錢行號ニ對シ幣制局ハ財政部ト協議シテ隨時人ヲ派シ或ハ他ノ機關ニ委託シテ其發行額準備金  
並ニ保證物件其他關係帳簿書類ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第十條 各銀錢行號カ紙幣ヲ發行スルニハ第三條ニ依リ處理スル外若シ破損シテ新券ト交換ヲ要スル場合ハ豫メ幣  
制局ノ認可ヲ經タル後印刷局ニ交付シテ印刷シ且ツ紙幣ノ見本ヲ幣制局ニ提出スヘシ

第十一條 各銀錢行號カ第十條ノ規定ニヨリ新券ト交換スル場合ハ其回收交換ハ左ノ如ク爲ス

甲、幣制局ニ對シ新紙幣ノ發給ヲ申請セル場合ハ先ツ其三分ノ一或ハ四分ノ一ノ發給ヲ許シ其數額ハ幣制局ニ於  
テ定ム 舊券全部回收ヲ終ツテ第二回及第三回ニ分チ殘額ノ發給ヲ許ス

乙、舊券ヲ回收シタルトキハ速ニ地方官派遣員或ハ監理官之ヲ検査封印シ幣制局ニ届出ツヘシ

第十二條 各銀錢行號ノ業務ヲ執行スル監事董事カ第二條乃至第七條第十條第十一條ノ規定ニ違反セル場合ハ五百  
元以上五千元以下ノ罰金ニ處シ第三條乃至第五條第七條ノ規定ニ違反セル場合ハ幣制局及財政部ハ隨時其發行權  
ヲ取消スコトヲ得

第十三條 各銀錢行號ノ業務ヲ執行スル經理董事監察人カ第八條ノ規定ニ違反シ或ハ報告ヲ怠リ或ハ不實ノ報告ヲ



爲シタル場合ハ五十元以上五百元以下ノ罰金ニ處シ第九條ノ規定ニ違反シ検査ヲ拒絶セル場合ハ百元以上千元以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 本條例ハ修正公布ノ日ヨリ實施ス

### 金融監理局組織條例

民國十六年十一月十九日公布

第一條 金融監理局ハ國民政府財政部ニ隸屬シ全國金融行政ニ關スル一切ノ事項ヲ監理ス

第二條 金融監理局ハ第一第二第三ノ三課ヲ設ク

第三條 第一課ノ職掌左ノ如シ

一、銀行章程則例ノ審査及ヒ登録事項

二、銀行業務及ヒ財産ノ検査

三、銀行紙幣ノ發行及ヒ其準備ノ監督

四、銀行ニ關スル其他一切ノ事項

第四條 第二課ノ職掌左ノ如シ

一、取引所保險會社信託會社儲蓄會社儲蓄會及ヒ取引所取引人ノ登録並其ノ業務ノ審査

二、前項各金融機關ノ財産ノ検査

三、取引所稅ノ徵收

四、本條第一項各種金融機關ニ關スル其他一切ノ事項

第五條 第三課ノ職掌左ノ如シ

一、一切ノ金融法規章程ノ制定

二、國內外ノ金融狀況ノ調査

三、金融各事項ノ統計ノ編成

四、翻譯及ヒ報告

五、其他調査

第六條 金融監理局ハ局長副局長各一人ヲ置ク局長ハ局務ヲ總覽シ副局長ハ之ヲ助ク

第七條 金融監理局ハ秘書二人ヲ置ク長官ノ命ヲ受ケ樞要ナル文書庶務收發出納及ヒ其他各課ニ屬セサル一切ノ事務ヲ處理ス

第八條 金融監理局ハ課長三人ヲ置ク長官ノ命ヲ受ケ各課ノ事務ヲ分掌ス

第九條 金融監理局ハ検査員四人乃至八人ヲ置ク長官ノ命ヲ受ケ各種ノ検査ヲ行フ

第十條 金融監理局ハ事務員若干人ヲ置ク長官ノ命ヲ受ケ各課及ヒ秘書ノ事務ヲ分擔ス事務ノ繁簡ニ因リ傭員ヲ置クコトヲ得



- 第十一條 秘書課長検査員ハ財政部長之ヲ推薦任命シ事務員ハ財政部長之ヲ任命ス
- 第十二條 金融監理局ハ經濟又ハ會計ノ専門家ヲ招聘シテ局務ヲ執ラシムルコトヲ得
- 第十三條 金融監理局ハ銀行其他ノ金融機關ヲ検査セル後其検査情形ヲ財政部ニ報告スルコトヲ要ス
- 第十四條 金融監理局ハ各種金融機關ノ設立登記等ニ關シ嚴密ニ審査シ財政部ニ報告スヘシ
- 第十五條 金融監理局ハ金融制度ノ改善ニ關シ隨時意見ヲ財政部ニ呈スヘシ
- 第十六條 金融監理局検査章程及ヒ事務細則ハ別ニ財政部令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第十七條 本條例修正ノ必要アルトキハ財政部ヨリ國民政府ニ申請シテ之ヲ改ム
- 第十八條 本條例ハ公布ノ日ヨリ施行ス

### 金融監理局検査章程

民國十六年十一月二十九日公布

- 第一條 金融監理局ハ組織條例第三條第四條ノ規定ニ依リ全國各金融機關ヲ検査スル職權ヲ有ス
- 第二條 検査ハ定期及ヒ臨時ニ之ヲ爲ス定期検査ハ毎年一回或ハ二回之ヲ行ヒ臨時検査ハ本局カ必要ナリト認メタルトキ隨時之ヲ行フ
- 第三條 前條ノ検査ハ其期日ヲ豫定セス隨時之ヲ行フ
- 第四條 検査事項左ノ如シ

- 一、一切ノ業務及ヒ財産狀態
  - 二、銀行紙幣及ヒ其他流通性ヲ有スル儲蓄券ノ發行及ヒ準備金
- 前二項ノ検査ニ際シ併セテ一切ノ文書帳簿及金庫ヲ検査スルコトヲ得
- 被検査者ハ検査ヲ拒ムコトヲ得ス
- 第五條 検査員ハ検査ノ終了後文書及ヒ帳簿ニ署名捺印シテ證明ト爲スヘシ
  - 第六條 検査ノ結果重要事項アル場合ハ本局ヨリ財政部ヘ申達スヘシ
  - 第七條 検査員ノ服務規則ハ別ニ之ヲ定ム
  - 第八條 本章程ハ財政部批准公布ノ日ヨリ施行ス

### 銀行登録章程

民國十八年一月三十日公布

- 第一條 銀行ヲ開設シテ預金貸付爲替手形割引等ノ業務ヲ營ム者ハ本章程ニ依リテ登録スルコトヲ要ス
- 前項ノ業務ヲ經營スルモ銀行ト稱セス公司莊號店舗ト稱スルモノハ均シク本章程ニ依リテ辦理ス
- 第二條 銀行ヲ開設スルトキハ先ツ定款ヲ定メテ左ニ掲クル各項ヲ規定シ地方政府ヲ經由シテ之ヲ財政部ニ提出シ又ハ直接財政部ニ提出シテ許可ヲ得ルコトヲ要ス

#### 一、名稱

前編 銀行ニ關スル一般的规定



- 二、組織
  - 三、資本總額
  - 四、本店所在地
  - 五、營業範圍
  - 六、營業年限
  - 七、創立者ノ姓名本籍住所
- 株式ヲ募集シテ設立セル銀行ハ前項ニ從ツテ辦理スル外株式募集規定ヲ定メ地方政府ヲ經由シテ之ヲ財政部ニ提出シ許可ヲ得タル後改メテ株式ノ募集ヲナスコトヲ得
- 第三條 設立ヲ許可セラレタル銀行ハ左ニ掲クル各件ヲ具備シ地方政府ヲ經由シテ之ヲ財政部ニ提出シ又ハ直接財政部ニ提出シ検査ヲ經テ登録シ營業許可證ノ下附ヲ受ケタル後改メテ營業ヲ開始スルコトヲ得
- 一、出資人ノ姓名原籍住所表
  - 二、各出資人ノ拂込及ヒ未拂込資本金額表
  - 三、各職員ノ姓名原籍住所表
  - 四、所在地銀行公會又ハ商會ノ保證書
  - 五、登録費

第四條 個人資本又ハ無限責任組織ノ銀行ハ第三條第一款ニ從ツテ辦理スル外左ニ掲クル文書ヲ添付スルコトヲ要ス

- 一、出資者ノ詳細ナル履歷書
- 二、出資者ノ財産證明書

第五條 株式會社組織ノ銀行ハ第二條第一款ニ從ツテ辦理スル外左ニ掲クル文書ヲ添付スルコトヲ要ス

- 一、創立總會ノ決議錄
- 二、監査役又ハ検査員ノ報告書

第六條 銀行カ他ノ銀行ト合併シ又ハ資本ヲ増減スルトキハ地方政府ヲ經由シ又ハ直接財政部ニ申請シテ許可ヲ得テ登録スルコトヲ要ス

第七條 銀行カ登録ヲ申請スルトキハ左ニ掲クル資本總額ニ依リ各別ニ登録費ヲ納付スルコトヲ要ス

- 五十萬元以下 五十元
- 百萬元以下 百元
- 二百萬元以下 百五十元
- 三百萬元以下 二百五十元
- 五百萬元以下 四百元

前編 銀行ニ關スル一般の規定



一千萬元以下 六百元

一千萬元以上百萬元ヲ増ス毎ニ五十元ヲ増徴シ百萬元ニ滿サルトキハ亦百萬元ニ準シテ計算ス

第九條 銀行カ資本ヲ増加シテ登録ヲ申請スルトキハ前條ノ規定ニヨリ増加後ノ資本總額ニ照シテ登録費ヲ納付スルコトヲ要ス但シ從前納付シタル銀額ハ之ヲ控除スルコトヲ得

第十條 銀行カ許可證ノ記載事項ヲ變更セントスルトキハ原許可證ヲ財政部ニ返還シテ新許可證ト取換フヘシ但シ許可證下附手数料十元ヲ納付スルコトヲ要ス

第十一條 本章程施行前既ニ營業ヲ開始シ而シテ未タ金融監理局ノ登録ヲ經サル銀行ハ均シク本章程施行後六箇月内ニ再登録ヲ申請スヘシ但シ前清度支部及ヒ北平舊財務部ニ登録セル銀行ノ登録費ハ第七條ニ規定セル半額ヲ納付セシメ並ニ財政部ヨリ新許可證ヲ下附シ前ニ下附セラレタル舊許可證ハ同時ニ廢棄ス

第十二條 本章程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(滿鐵調查課編國民政府ノ産業政策所載)

### 銀行登録章程施行細則

民國十八年五月三日公布

第一條 銀行登録ノ申請人ハ個人資本組織ノ營業人無限責任組織ノ社員全員株式會社組織ノ取締役及監査役ノ全員トス

第二條 銀行カ財政部ニ登録許可ヲ申請スルトキハ許可アリタル後申請書ト之ニ對スル指令及ヒ其附屬文件トヲ地方政府ニ差出スヘシ

第三條 銀行カ資本検査登録ノ申請ヲナストキハ拂込資本ヲ其他ノ中央銀行又ハ代理店ニ預入レ該銀行ノ證明書ヲ添付シテ地方政府ヲ經由シ又ハ直接財政部ニ申請スヘシ其地ニ於テ中央銀行又ハ其代理店ナキ時ハ其他ノ登録銀行又ハ信用アル商店ニ預金シ其證明書ヲ添付スルコト前項ト同シ但シ財政部カ不適當ト認メタルトキハ其指定スル銀行ニ預替ヲナサシムルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ中央銀行ノ預金證明書ヲ添付スルトキハ登録章程第三條第四款ニ規定スル保證書ノ提出ヲ免除スルコトヲ得

第四條 銀行カ資本ノ検査登録ヲ申請スルトキハ資本拂込領收證控ヲ抄録シ之ヲ申請書ニ添付シテ地方政府ヲ經由シ又ハ直接財政部ニ差出スヘシ

第五條 財政部ハ銀行カ申請書ニ添付シテ差出シタル證明書又ハ保證書ニ疑義アリト認メタル場合ハ検査員ヲ派シ又ハ地方政府ニ委託シテ之ヲ検査スルコトヲ得

第六條 銀行カ地方政府ヲ經由シテ財政部ニ資本ノ検査登録ヲ申請シタル場合地方政府ハ其資本及ヒ證明書ヲ調査シ確實ナルコトヲ明カニシタルトキハ該政府ノ確認證ヲ添付シテ財政部ニ送附スヘシ

前項ノ規定ニ依リ地方政府ノ確認證ヲ得タル申請人ニ對シテハ登録章程第三條第四款ニ規定スル保證書ヲ免除ス



ルコトヲ得

第七條 銀行カ登録章程第十一條ノ規定ニ依リ再登録ヲ申請スルトキハ其申請書内ニ前申請ノ年月日及ヒ許可年月日ヲ記入シ並ニ其許可指令年月日ヲ抄録添付スヘシ

第八條 銀行カ登録章程第十一條ノ規定ニ依リ再登録ヲ申請スルトキハ最近ノ營業報告書資産負債表損益表及ヒ其他歷年ノ營業ヲ證明シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ

第九條 銀行カ登録章程第十一條ノ規定ニ依リ再登録ヲ申請スルトキハ本細則第二條乃至第六條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第十條 銀行カ登録章程第十一條ノ規定ニ依リ再登録ヲ申請スルトキハ登録章程第三條第一款乃至第四款及ヒ第四條第五條ニ掲ケタル添付スヘキ各書類ヲ省略スルコトヲ得但シ出資人ノ姓名又ハ其出資額及ヒ職員ノ姓名カ舊登録ト異ナル場合ハ其ノ各書表及ヒ履歷證明書ヲ補足添付スルコトヲ要ス

第十一條 銀行カ登録章程第十一條ノ規定ニ依リ再登録ヲ申請スルトキハ其定款カ舊財政部ニ差出シタルモノト異ナラサル場合ハ再ヒ抄録シテ提出スルコトヲ免除ス但シ國民政府ノ法令ト牴觸スルモノハ無効トス

第十二條 本細則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(滿鐵調査課編國民政府ノ産業政策所載)

## 後編 各銀行ニ關スル諸規定

### 農工銀行條例

農業振興ヲ目的トスル農工銀行設立ノタメ  
民國四年十月八日本條例ノ制定公布ヲミル

#### 第一章 總綱

第一條 農工銀行ハ株式有限公司ト爲シ資材ヲ融通シ農工業ヲ振興スルヲ以テ目的ト爲ス

第二條 農工銀行ノ資本ハ十萬元以上ト爲シ一株ノ金額十元以上ト爲スヘシ

第三條 農工銀行ハ資本定額ヲ完全ニ募集シ並ニ半額以上ヲ拂込ミ管轄官廳カ其發起人及ヒ株主カ果シテ公正ナルヤ否ヲ精査シテ證書ヲ出具シ且ツ資本ヲ檢査シ財政部ニ轉請シテ認可ヲ經ルニアラサレハ開業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 農工銀行ハ一縣境ヲ以テ一營業區域ト爲シ一營業區域ニアリテハ一行ニ限り設立スルコトヲ得但シ特別ノ情形アリ財政部ノ認可ヲ經タル場合ハ一縣ヲ二區以上ト爲シ或ハ二縣ヲ一區域ト爲スコトヲ得

第五條 農工銀行ノ株主ハ其縣ニ本籍ヲ有シ或ハ其營業區域内ニ財産住所ヲ有スルモノヨリ先ツ募集シ不足アル場合ハ營業區域外ニ於テ募集ス

第六條 農工銀行營業區域ノ地方公法人ハ該行株主タルコトヲ得

第七條 農工銀行株券ハ記名式ヲ用ヒ中華民國人ノ外賣買讓渡ノ權利ナシ

後編 各銀行ニ關スル諸規定



第八條 農工銀行經營ノ投資左ノ如シ

- 一、五年以内ニ分期償還シ不動産ヲ抵當ト爲スモノ分期償還法ハ元利ノ合計ヲ若干期ニ均分シ償還ス
  - 二、三年以内ニ定期償還シ不動産ヲ抵當ト爲スモノ
  - 三、一年以内ニ定期或ハ分期償還シ變壞シ易カラサル農産ヲ以テ抵當ト爲スモノ
  - 四、一年以内ニ分期償還シ漁業權ヲ以ツテ抵當ト爲スモノ  
漁業權ヲ以テ抵當ト爲ス外銀行ハ別ニ公債券或ハ不動産ヲ以テ抵當増加ト爲スコトヲ要求スルコトヲ得
  - 五、一年以内ノ定期或ハ分期償還ハ政府公債券會社債券株券ヲ以テ抵當ト爲スコトヲ得
  - 六、資本確實ナル質商兩家或ハ十人以上ノ農業或ハ工業者ノ連帶保證アルトキハ銀行ハ其信用ヲ調査シ果シテ確實ナルトキハ三年以内ノ定期償還法ニ依リ抵當ナクシテ貸付クルコトヲ得但シ該地方官ノ認可ヲ要ス
- 第九條 前項ノ投資ハ左記各項ノ用ニ供スルモノヲ以テ限リト爲ス
- 一、墾荒耕作
  - 二、水利林業
  - 三、耕種肥料及ヒ各種農工業原料ノ購入
  - 四、農工生産ノ運輸屯積

五、農工業用機械及ヒ牧畜ノ購求或ハ修理

六、農工業用家屋ノ建築修理

七、家畜購入及ヒ牧場建築修理

八、漁業蠶業種子及ヒ各種器具購入

九、其他農工各種振興改良ニ關スルコト

第十條 前項不動産ハ登録或ハ保險ヲ附スルニアラサレハ農工銀行ハ貸出ノ抵當ト爲スコトヲ得ス

第十一條 農工銀行ノ貸出ハ抵當品評價額ノ三分ノ二ヲ逾ユルコトヲ得ス

第十二條 農工銀行ハ一番抵當ニアラサレハ之ヲ收ムルコトヲ得ス

第十三條 農工銀行カ抵當ト爲スコトヲ得ル不動産ハ永續シテ收益アルモノニ限ル

第十四條 債務者カ期日ニ至リ債務ノ履行ヲ怠ルトキハ銀行ハ滿期ノ翌日ヨリ利子ヲ加算スルコトヲ得

若シ其債務カ分期償還ナル場合ハ其時又ハ償還期限内ニ全額ノ償還ヲ求ムルコトヲ得

第十五條 農工銀行ハ抵當物件ノ原評價額カ低落セル場合ハ相當ノ抵當増加ヲ要求スルコトヲ得

若シ債務者カ前項要求ニ應セザルトキハ農工銀行ハ其時又ハ償還期限内ニ隨時全額ノ償還ヲ求ムルコトヲ得

第十六條 農工銀行ハ債務者カ其金員ヲ所定ノ用途ニ遵照セス或ハ他ニ流用セル事實ヲ查明セルトキハ期限内ニ於テモ全額ノ償還ヲ要求スルコトヲ得



第十七條 農工銀行ハ前三條所定ニ從ヒ貸付金額ノ返還ヲ求ムルトキ若シ債務者カ償還スル能ハサルトキハ債務者ニ通知シテ其抵當品ヲ競賣ニ附シ尙不足アル場合ハ債務者ヨリ追徴スルコトヲ得

第十八條 農工銀行ハ定期預金ヲ取扱フコトヲ得

第十九條 農工銀行ハ中央銀行ノ委託ヲ受ケ租稅錢糧及ヒ其他各金錢收支事務ヲ取扱フコトヲ得

第二十條 農工銀行ハ國家銀行ノ委託ヲ受ケ紙幣兌換ノ事務ヲ代理スルコトヲ得

第二十一條 農工銀行ハ人ニ代リテ金銀錠塊其他貴重物件ヲ保管スルコトヲ得

第二十二條 農工銀行ハ營業上剩餘金アルトキハ政府公債各省公債民國實業公債ヲ買入レ或ハ剩餘金ヲ他銀行ニ預ケ入レテ利息ヲ生セシムルコトヲ得

第二十三條 農工銀行ハ勸業銀行ノ委託ヲ受ケテ代理店タルコトヲ得

第二十四條 農工銀行ハ前項營業以外ノ業務ヲ營マントスルトキハ其都度管轄官廳ヲ經由シ財政部ノ認可ヲ經ルヲ

要ス

### 第三章 債 票

第二十五條 農工銀行ハ管轄官廳ヲ經由シ財政部ノ認可ヲ經タルトキハ債券ヲ發行スルコトヲ得但シ債券總額ハ貸出金額ヲ逾ユルコトヲ得ス並ニ拂込資本ノ二倍ニ超過スルコトヲ得ス

第二十六條 債券ハ無記名式ト爲ス但シ應募者或ハ所有者ノ請求ニヨリ記名式ニ改ムルコトヲ得

第二十七條 債券ノ最低金額ハ五圓ト爲ス其利率ハ銀行ニ於テ之ヲ定ム

債券ニハ利息ヲ附スルハ勿論其他抽籤ヲ以テ償還スルコトヲ得

第二十八條 農工銀行ノ毎年ノ債券償還額ハ該年内回收セル貸出總額ヨリ少キコト能ハス

第二十九條 債券ハ毎年二回利息ヲ附スヘシ

第三十條 農工銀行ノ毎回發行スル債券ハ債券發行詳細章程ニヨリ管轄官廳ヲ經由シ財政部ノ認可ヲ得テ發賣スヘシ

前項章程ニハ左記各項ヲ聲明スヘシ

一、債券ノ總額及ヒ實收銀額

二、種類及ヒ一枚ノ金額

三、利率

四、割増方法及ヒ其金額

五、利息支拂ノ期日

六、償還期限及ヒ各年償還額

七、抽籤償還方法

第三十一條 農工銀行ハ債券發賣後速カニ發行時日發賣情形並ニ記名式無記名式債券額番號等ヲ別冊ニ記入シ管轄官廳ヲ經由シ財政部ニ届出ツヘシ若シ之ニ變更アリタル場合又同シ



第三十二條 農工銀行ハ管轄官廳ヲ經由シ財政部ノ認可ヲ經テ利息ノ比較的低キ債券ヲ發行シテ舊債券ト交換スルコトヲ得新債券發行後二箇月内ニ賣出債券ノ額ニ應シテ舊債券ヲ償還スヘシ

前項償還方法ハ農工銀行ニ於テ定メ管轄官廳經由財政部ノ認可ヲ經ヘシ

第四章 法定積立金

第三十三條 農工銀行ハ毎年決算ノ時利益金ノ十分ノ一以上ヲ法定積立金ト爲シ資本ノ補填及ヒ配當平均ニ備フヘシ

前項法定積立金ハ理由ヲ闡明シ管轄官廳經由財政部ノ認可ヲ經ルニアラサレハ之ヲ流用スルコト能ハス

第五章 監督保護

第三十四條 農工銀行ハ財政部及ヒ管轄官廳ノ監督ヲ受ケ並ニ當該地方長官ハ情形ヲ酌量シ地方官或ハ其他ノ機關ニ委任シテ農工銀行ノ監理ト爲スコトヲ得

第三十五條 農工銀行監理ハ該行株主總會及ヒ各種會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ表決ニ加入スルコトヲ得ス

第三十六條 財政部或ハ管轄官廳カ必要アリト認メタルトキハ農工銀行貸出最高利率ヲ其營業期前ニ届出テシムヘシ其變更アリタルトキ亦同シ

第三十七條 農工銀行ハ本條例ニ照シ詳細章程ヲ訂定シ管轄官廳ヲ經由シ財政部ノ認可ヲ經施行スヘシ

前項章程ニ變更アリタルトキハ速カニ其認可ヲ申請スヘシ

第三十八條 農工銀行ハ其營業區域内ニ於テ支店或ハ代理店ヲ開設スルトキハ管轄官廳ヲ經由シ財政部ノ認可ヲ得ヘシ

第六章 罰則

第三十九條 農工銀行經理ニシテ左記事情ノ一アル者ハ一百元以上一千元以下ノ罰金ニ處シ副經理董事ノ職掌範圍内ニ於テ受クヘキ罰金亦同シ

- 一、第八條ヨリ第十三條ニ至ル規定ニ違反セル投資
- 二、第二十四條ノ規定ニ違反シ本條例以外ノ未タ認可ヲ受ケサル營業ヲ開始セルトキ
- 三、第二十五條第三十條第三十二條ノ規定ニ違反セル債券ノ發行
- 四、第二十八條第二十九條ノ規定ニ違反シ債券元利ノ償還ヲ怠レル場合
- 五、第三十三條ノ規定ニ違反シ積立金ヲ流用セル場合

第七章 附則

第四十條 各地方官カ該地方ニ農工銀行設立ノ必要アリト認メタルトキ或ハ地方確實ナル紳商ノ出資倡辦ヲ願フ者アルトキハ該省地方長官ニ申請シタル後準備委員ヲ選派シ該地方ニ農工銀行ヲ組織スルコトヲ得

財政部及ヒ該省地方長官カ必要ト認メタルトキ亦派員ヲ籌設スルコトヲ得

第四十一條 準備委員ハ農工銀行條例ニ照シ詳細章程ヲ定メ管轄官廳ヲ經由シ財政部ノ認可ヲ經タル後株式ヲ募集



スルコトヲ得

第四十二條 準備委員ハ株式ノ引受終リ銀行成立シ且ツ董事經理ノ選定ヲ俟ツテ直チニ農工銀行事務ヲ該行董事會及ヒ經理ニ引繼クヘシ

第四十三條 本條例ニ未タ規定セラレサルモノハ銀行通行則例ヲ適用スルヲ得其公司條例第四條株式有限公司第九十七條ヨリ第二百二十九條ニ至ル及ヒ第二百四十八條第二百四十九條ノ規定ト銀行通行則例及ヒ本條例ト抵觸セサルトキハ均シク之ヲ適用ス

第四十四條 本條例ハ公布ノ日ヨリ施行ス

### 東萊銀行議章

民國七年七月青島ノ有力者劉子山ノ發起ニ係リ資本銀二十萬元ヲ以テ合資組織ニヨリ本店ヲ青島ニ置ク民國十二年十二月株式組織ニ改メ同時ニ二百萬元ニ増資シ本店ヲ天津ニ移ス支店ハ上海大連ニアリ  
本議章ハ民國十年三月大連支店開設ニ當リ日本當局ニ提出セル申請書ニ添付セルモノデアアル

第一條 本銀行ハ市場金融ノ圓滑ヲ計リ商業ノ發達ヲ期スルヲ以テ目的トス

第二條 本銀行ハ總行ヲ青島ニ設置ス爾後分行ヲ濟南上海大連烟台ニ設立ス

第三條 本銀行ハ民政部ノ許可ヲ得各種法令ニ準據シ合資組織トス

第四條 本銀行ハ資本金額ヲ青島通用銀二十萬圓ト定ム

第五條 資本金ハ之ヲ他ニ流用シ或ハ損失ノ填補ニ充ツルコトヲ得ス

第六條 出資者カ出資金ノ外ニ預金ヲ有スト雖モ該預金ハ普通預金ト同様ニ利息ヲ附スヘキモノニシテ利益配當ニ

加入セシムルコトヲ得ス

第七條 出資者カ其出資金ノ増加ヲ欲スル場合ハ年度末ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第八條 出資者ハ成蘭圖ヲ聘シテ總理ト爲シ營業上一切ノ權限ヲ附與シ且ツ銀行ヲ代表シ使用人ヲ任免セシム

第九條 本銀行ノ營業ノ種類左ノ如シ

一、各種預金

二、爲替取扱

三、金銀及各國貨幣ノ賣買

四、信用貸付

五、保證貸付

六、擔保貸付

第十條 本銀行ハ前條各種營業ノ外他種營業ヲ爲シ或ハ空賣買ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條 本銀行ノ預金擔保貸付金ノ利息ハ本支店所在地ニ在ル中國山東兩銀行ノ例ニ依ル

第十二條 本銀行ハ毎月一回決算ヲ行ヒ毎年一回總決算ヲ行フ各種報告書ヲ作成シ各出資者ニ報告ス

第十三條 本銀行ノ出資金ニ對スル利息ハ年四分トシ毎年未之ヲ支拂フ

第十四條 本銀行ノ設備什器類ハ毎年未其價格ノ十分ノ二ヲ償却シ五年ヲ以テ之ヲ完了ス

後編 各銀行ニ關スル諸規定



第十五條 本銀行ハ一切ノ經費ヲ控除セル純利益金ノ七割ヲ出資者ニ配當シ他ノ三割ハ總理其他職員ノ賞與トス  
總理其他職員ニ對スル支給割合及俸給ニツキテハ別ニ定ム

第十六條 本銀行ノ利益金ハ配當ヲ行ハサル以前ニ於テハ出資者總理職員總テ之ヲ借用スルコトヲ得ス

第十七條 總理ニ不正ノ事實アル場合ハ出資者ハ之ヲ取締ルコトヲ得

以上ノ各條項ハ出資者及總理協議決定セルモノニシテ各遵守シ違反スルコトヲ得ス此議章ヲ定メテ證ト爲ス

### 中南銀行章程

黃奕住胡筆江等ノ創設セル銀行ニシテ鹽業金城大陸ノ各銀行ト共ニ四行聯合  
發行準備庫ヲ組織ス本店上海支店天津漢口廈門南京北平  
本章程ハ民國九年制定セルモノデアアル

#### 第一章 總 綱

第一條 本銀行ハ株式有限會社トシ中南銀行ト稱ス公司條例ニ遵ヒ財政部農商部ノ認可登錄ヲ經タリ

第二條 本銀行ハ總行ヲ上海ニ置ク内外商業繁盛ノ地方ニハ董事會ノ議決ヲ經テ分行ヲ設ケ或ハ他銀行ト代理契約  
ヲ締結スルコトヲ得但シ財政部ノ認可ヲ要ス

第三條 本銀行ノ資本總額ハ通用銀元二千萬元ト爲シ一株銀元百元二十萬株ニ分ツ其資本總額ハ發起人ニ由リ引受  
ケ先ツ四分ノ一即チ五百萬元ヲ拂込テ終ヘテ創立總會ヲ開キ職員ヲ選舉シ財政部ニ申請シテ其檢査ヲ受ケ登錄ヲ  
經テ後營業ヲ開始ス其餘ノ一千五百萬元ハ董事會ニ於テ營業ノ進展ヲ視テ之ヲ拂込マシム

第四條 本銀行ノ公告ハ本行所在地ノ新聞紙一種或ハ二種ニ掲載ス

第五條 本銀行營業年限ハ三十箇年トス但期限滿了ノ際ハ株主總會ノ議決ヲ經財政部農商部ノ認可ヲ經テ之ヲ延長  
スルコトヲ得

#### 第二章 營 業

第六條 本銀行ノ營業種類左ノ如シ

- 一、各種定期當座預金
- 二、擔保貸付及割引
- 三、國內外ノ爲替及荷爲替
- 四、有價證券地金銀ノ賣買
- 五、代理取立及有價證券ノ經理
- 六、證券證書及ヒ貴重品ノ保管

第七條 本銀行ハ儲蓄業務ヲ兼營シ別ニ章程ヲ制定シ財政部ノ許可ヲ受クヘシ

第八條 本銀行ハ政府ニ申請シ兌換券ヲ發行ス

#### 第三章 株 式

第九條 本銀行ノ株券ハ記名式トシ之カ賣買讓渡ハ中國人民ニ限ル

第十條 本銀行ノ株券ハ一株券十株券百株券千株券ノ四種ニ分ツ之ニ本銀行行印ヲ押捺シ董事長及ヒ總經理署名捺

後編 各銀行ニ關スル諸規定



印ス

第十一條 本銀行株券發行ノ場合株主ハ本銀行備付ノ用紙ニ依リ其署名或ハ印章ノ様式及住所ヲ本銀行ニ届出テ利息ノ受取株主名簿ノ書換記載及ヒ本銀行ト關係アル事件ニ際シ之ヲ證據ト爲スヘシ變更セル場合之ヲ訂正スヘシ

第十二條 本銀行株券ヲ賣買讓渡セル場合ハ株券裏面ニ双方署名捺印シ本銀行ニ對シ名義ヲ書換株主名簿ニ登錄スルコトヲ要求スヘシ同時ニ買主又ハ受主ハ手数料一枚ニ付銀五角ヲ納付スヘシ若シ相續ニ依ツテ株主名義ヲ書替フルトキハ相續人ハ該株券及其讓受カ合法ナルコトノ證明書ヲ本銀行ニ提出シ其正確ナルコトヲ證明シテ書換ヲ爲スヘシ手数料ハ一枚ニツキ銀五角トス

第十三條 株券ヲ遺失或ハ燬損シ本銀行ニ對シ其再交付ヲ請求スルモノハ正式申請書ニ本銀行ノ認ムルトコロノ保證人一人或ハ二人ノ署名捺印ヲ經テ本銀行ニ請求シ且ツ本銀行ノ指定セル新聞紙二種以上ニ其旨公告スヘシ六十日ヲ經ルモ何等ノ事故ヲ發生セサルトキハ該株主ヨリ受領書ヲ提出セシメテ新株券ヲ交付ス此場合一枚ニツキ銀五角ノ手数料ヲ納付スヘシ

第十四條 定期株主總會三十日前ニ株主名義ノ書換ヲ停止ス

#### 第四章 株主總會

第十五條 本銀行ノ株主總會ハ定期及ヒ臨時ノ二種トス定期株主總會ハ毎年一回三月開會シ開會前三十日ニ董事會ニヨリ公告ス臨時株主總會ハ董事會カ必要アリト認メタルトキ之ヲ招集ス但シ株式總額ノ三分ノ一以上ノカ株

會議ノ理由ヲ述ヘテ臨時總會ノ開會ヲ請求セルトキハ董事會ハ之ヲ召集スヘシ株主事故アリテ會議ニ出席シ能ハサルトキハ他ノ株主ニ代理ヲ委託スルコトヲ得但シ本銀行株主ニアラサレハ他ヲ代理スルコト能ハス

第十六條 株主總會ニ於ケル議案ハ開會前三十日董事會ヨリ通告セルモノ、外各株主ニ於テ提議スヘキ事項アルトキハ開會十日以前ニ意見書ヲ附シテ提出シ董事會ヲシテ議案トナサシムルコトヲ得

第十七條 株主總會ハ董事長ヲ以テ議長ト爲ス董事長事故アルトキハ董事長ハ他ノ董事一人ヲシテ之ニ代ラシムルコトヲ得

第十八條 株主總會ニ於ケル議決權及ヒ選舉權ハ一株ニツキ一個ノ權利トス

第十九條 株主總會ハ總株主權ノ過半數以上ノ株主ノ出席アルニアラサレハ開クコト能ハス議事ハ出席株主權ノ過半數ヲ以テ決シ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第二十條 左記事項ニ關シテハ本銀行拂込株式總額ノ四分ノ三以上ノ株主出席スルニアラサレハ議決スルコトヲ得ス

- 一、定款ノ改正

- 二、株式ノ増加

- 三、解散及合併

- 四、董事監事ノ改選

第二十一條 本銀行營業上ノ缺損額カ實際拂込金額ノ半數ニ達シタルトキハ董事會ハ株主總會ヲ開キテ其處置ヲ議



スヘシ

第二十二條 株主總會ニ於ケル議決事項ハ議決録ト爲シ議長之ニ署名捺印シ保存スヘシ

第五章 董事監事及總分行職員

第二十三條 本銀行ハ董事七人或ハ九人ヲ置キ株主總會ニ於テ百株以上ノ株主ヨリ之ヲ選任シ任期ハ三箇年トス監事二人ヲ置キ株主總會ニ於テ百株以上ノ株主ヨリ之ヲ選任シ任期ハ一箇年トス但シ選舉ニ際シ董事中ノ三人ヲ選シテ留任セシメ他ヲ改選ス

第二十四條 本銀行ハ總行ニ總經理一人ヲ置キ總分各行ノ事務ヲ綜理セシム協理一人ヲ置キ總經理ヲ補助シテ總分各行ノ事務ヲ處理セシムイツレモ董事會ニ於テ聘任ス分行ニハ經理一人ヲ置キ分行ノ事務ヲ經理セシム副經理一人ヲ置キ經理ヲ補助シテ分行ノ事務ヲ處理セシムイツレモ總經理ヨリ選任ス但シ董事會ノ同意ヲ要ス

第六章 會計

第二十五條 本銀行ハ毎年六月決算ヲ行ヒ財産目錄貸借對照表營業報告書損益計算書及ヒ毎年ノ利益分配案ヲ作成シ董事會通過後監事ノ審査ヲ經更ニ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求メ且ツ新聞紙ニ公告スルト共ニ財政部農商部ニ送付スヘシ

第二十六條 本銀行ハ毎年ノ純利益ヨリ其十分ノ一以上ヲ法定積立金トシ次ニ株式ニ對スル利息配當金ト爲スヘシ利息配當金ハ利益ノ多寡ニ依ルモ年五分ヲ超ユルコトヲ得ス尙剩餘アルトキハ左記ニ依リ董事會ノ議決ヲ經テ分

配シ株主總會ニ於テ之カ追認ヲ受クヘシ

甲、特別積立金

乙、株主利益配當金

丙、董事監事ノ慰勞金

丁、全行員獎勵金

第七章 附則

第二十七條 本銀行章程ニシテ不備ノ點アルトキハ公司條例銀行通行則例ニ依リ處理ス

第二十八條 本銀行章程ハ財政部認可ノ日ヨリ實行シ改正ノ場合ハ公司條例第九十九條ノ規定ニ依リ株主總會ノ議決ヲ經且ツ財政部ニ申請シテ之ヲ爲ス

全國農工銀行事務局章程 民國十年二月二十五日財政部令二四號公布

第一條 全國農工銀行事務局ハ財政部ニ直屬シ農工銀行ノ設立計劃及監督事務ヲ掌ル

第二條 本局ニ局長副局長各一人ヲ置キ財政部ヨリ派遣任命ス事務員若干人ハ局長ヨリ委任ス

第三條 本局ニ評議員若干人ヲ置キ本局ヨリ財政部ニ申請シテ聘任ス

第四條 本局ニ於テ或地方ニ農工銀行設立ノ必要アリト認メタルトキハ該地方ニ於テ株式ヲ募集セシムルコトヲ得

後編 各銀行ニ關スル諸規定



若シ必要アルトキハ財政部ニ申請シ或ハ該省財政廳ニ文書ヲ以テ出資ヲ申請シ之ヲ設立セシムルコトヲ得

第五條 本局ハ自カラ設立シタルモノ及前全國農工銀行籌備處ノ設立シタル農工銀行ニ對シテ管轄ノ權ヲ有シ其他ノ各處農工銀行ニ對シテハ監督權ヲ有ス

第六條 各處ニ於テ農工銀行ヲ設立セントスル場合ハ先ツ該管轄官廳ノ審査ヲ申請シ且ツ本局ノ審査ヲ申請シテ財政部ノ登錄許可ヲ申請スルコトヲ要ス

第七條 各處ノ農工銀行ニ於テ發行スル債券及貸出利率ノ制定等ニ關シテハ先ツ本局ノ審査許可ヲ申請スヘク且ツ財政部ニ届出ツルコトヲ要ス

第八條 從前全國農工銀行籌備處ノ有シタル經常費ハ移シテ本局ノ所有ニ歸シ支出不足ノ金額ハ管轄各銀行ノ官有株式配當勘定内ヨリ充當スルコトヲ得

第九條 本章程ハ部令公布ノ日ヨリ施行ス

### 勸業銀行章程

民國三年五月十六日公布セル勸業銀行條例ニ基キ資源開發ノ目的ヲ以テ財政農商兩總長ノ計劃セル銀行ニシテ本章程ハ民國十年六月二日修正セルモノデアル

#### 第一章 總 綱

第一條 本銀行ハ勸業銀行條例ニ準據シ株式有限會社トシテ設立シ實業ノ發達改良ヲ輔助スルヲ以テ目的ト爲ス

第二條 本銀行ハ總行ヲ中央政府所在地ニ設置シ各省實業上重要ナル地方ニハ情形ヲ斟酌シ董事會ノ議決ヲ經テ分

行分號ヲ設立シ或ハ他銀行ト代理契約ヲ締結スルコトヲ得但シ財政部ノ認可ヲ要ス

第三條 本銀行ノ資本總額ハ銀五百萬元ト定メ之ヲ一株百元五萬株ニ分チ四分ノ一以上ノ拂込ヲ終ヘテ營業ヲ開始ス本銀行カ資本金ヲ增加スル場合ハ株主總會ノ議決ヲ經テ財政部ノ認可ヲ得テ再ヒ募集ス

第四條 政府ハ獎勵スル爲ニ總株數ノ五分ノ二ヲ引受ケ民間株ノ引受ケカ終了後漸次之ヲ民間ニ拂下クルコトヲ得

#### 第二章 營 業

第五條 本銀行ノ營業範圍左ノ如シ

一、農林墾牧事業ニ對スル貸付

甲、農林墾牧ニ關スル事業用土地家屋ヲ抵當トスルモノ

乙、農林墾牧ニ關スル事業用機械ヲ抵當トスルモノ

丙、農林墾牧ニ關スル種子原料ヲ擔保トスルモノ

丁、農林墾牧事業ニ依ル生産物ヲ擔保トスルモノ

二、水利ニ對スル貸付

甲、水利事業ニ關スル土地家屋倉庫埠頭ヲ抵當トスルモノ

乙、水利事業ニ關スル船舶機械ヲ抵當トスルモノ

丙、水利事業ニ依ル生産物ヲ擔保トスルモノ

後編 各銀行ニ關スル諸規定



三、鑛業ニ對スル貸付

甲、鑛業用土地家屋ヲ抵當トスルモノ

乙、鑛業用機械ヲ抵當トスルモノ

丙、鑛產物ヲ擔保トスルモノ

四、工場ニ對スル貸付

甲、工場用機械ヲ抵當トスルモノ

乙、工場用土地家屋ヲ抵當トスルモノ

丙、工場用各種原料ヲ擔保トスルモノ

丁、工場生産物ヲ擔保トスルモノ

五、地金銀及有價證券ノ代理保管

六、國家債券證券地方債券及地方農業銀行工業銀行債券ノ引受購入

七、勸業債券ノ發行

八、紙幣ノ發行

九、政府ノ委託ヲ受ケ國庫ヲ代理ス

十、商業儲蓄銀行業務ノ兼營

第六條 前條貸付ノ方法左ノ如シ

左ノ各項ハ農林墾牧水利鑛業工場等ニ對スル貸付トス

甲、不動産ヲ抵當トシ十年以内ノ割賦償還トスルモノ

乙、不動産ヲ抵當トシ五年以内ノ定期償還トスルモノ

前項ノ期限ハ開業當初ハ割賦償還ノ貸付ハ二年以内定期償還ノ貸付ハ一年以内ト定ム但シ特別ノ事情アリ董事

會ニ於テ期限延長ノ必要アリト認めタルトキハ此限ニ在ラス

丙、動產ヲ擔保トシ六ヶ月以内ノ定期或ハ割賦償還トスルモノ

第七條 第五條及第六條ノ擔保ト爲スヘキ不動産及動產ハ永續シテ確實ニ收益アリ且ツ變化破壊シ易カラサルモノ

ニ限ル

第八條 年賦償還ニヨル不動産貸付ハ貸付ノ日ヨリ一年以内ハ利息ノミヲ支拂ヒテ元本ヲ償還セサルコトヲ得一年以

後ハ元利共各年償還スヘシ

第九條 本銀行ノ徵收スル擔保ハ第一擔保タルコトヲ要ス

第十條 不動産ヲ以テ抵當トスル貸付金ハ銀行ニ於テ評價セル價格ノ三分ノ二ヲ超ユルコトヲ得ス(開業當初ハ三

分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス)

第十一條 本銀行ハ勸業銀行條例第十五條第十六條第十七條ノ規定ニ依リ貸付金ノ回收ヲ爲スニ當リ債務者カ償還



ノ能力ナキ場合ハ債務者ニ通知シテ其擔保品ヲ競賣スルコトヲ得若シ剩餘金ヲ生シタルトキハ之ヲ債務者ニ返還シ不足アル場合ハ更ニ辨濟セシム

第三章 勸業債券

第十二條 勸業債券ノ額面金額八十元ト爲シ勸業銀行條例第三十五條乃至第三十九條ノ規定ニ依リ之ヲ發行ス

第四章 株 券

第十三條 本銀行ノ株券ハ總テ記名式ヲ用ヒ中華民國人民以外ハ之ヲ賣買讓渡スルコトヲ得ス

第十四條 本銀行株券ヲ二人以上ニテ共有スル場合或ハ公共機關會社商店カ所有スル場合ハ一人ノ代表者ヲ定メテ株主ノ權利ヲ行使セシムヘシ

第十五條 株券ヲ賣買讓渡セル場合ハ賣主或ハ讓主ハ株券裏面ニ署名捺印シテ買主或ハ受主ニ交付シ買主或ハ受主ハ之ヲ本銀行ニ送付シテ名義變更ヲ爲スヘシ

相續ニ依リ株主ノ名義ヲ變更スル場合ハ相續人ハ該株券ニ證明書ヲ添付シテ本銀行ヘ送付シ名義變更ヲ爲スヘシ  
第十六條 株券ヲ遺失シ本銀行ニ再發行ヲ請求スル場合ハ證明書並ニ二人以上ノ保證人ノ署名捺印ヲ經タル請求書ヲ本銀行ニ提出シ且ツ遺失人ノ費用ヲ以テ政府公報及ヒ本銀行ノ指定スル新聞紙ニ廣告シ二箇月ヲ俟ツテ尙發見セサルトキ再發行ス此際遺失人ヨリ受領證ヲ徵スヘシ再發行後舊株券發見セルトキハ之ヲ無効ト爲ス

第五章 職 員

第十七條 本銀行ハ行長一人副行長一人董事五人監事三人ヲ置ク

第十八條 行長副行長董事監事ハイツレモ株主總會ニ於テ選任ス

第十九條 行長副行長董事ノ任期ハ六年トシ監事ノ任期ハ三年トス但シ留任スルコトヲ得

第二十條 行長副行長ハ三百株以上ノ株主ヨリ董事ハ百株以上ノ株主ヨリ監事ハ五十株以上ノ株主ヨリ各之ヲ選舉ス

第二十一條 董事監事ノ車馬賃ハ株主總會ニ於テ定メ行長副行長ノ俸給ハ董事會ニ於テ定ム

第二十二條 董事監事ニ缺員ヲ生シ補缺選舉ヲ行フ場合ハ當選者ノ任期ハ前任者ノ任期ヲ繼續ス董事監事ニ缺員ヲ生スルモ董事尙三人以上アリ監事尙二人以上アリ且ツ董事會カ補缺選舉ノ必要ナシト認メタルトキハ補缺選舉ヲ延期スルコトヲ得但シ其決算期ヲ越ユルコトヲ得ス

第二十三條 行長副行長董事ハ選舉セラレタル後章程ニ定ムルコロノ株券ヲ監事ヲ經テ銀行ニ供託スヘシ改選後ハ前年度ノ營業決算報告作成後之ヲ返還ス

第六章 行長副行長

第二十四條 行長ノ職務左ノ如シ

一、全行ヲ代表シ行務ヲ總理ス

二、勸業銀行條例及各種規定ヲ遵守ス

後編 各銀行ニ關スル諸規定



- 三、議案ヲ董事會ニ提出ス
- 四、各種決議事項ヲ執行ス
- 五、株券及勸業債券ニ署名捺印ス
- 六、株主總會行務總會ノ主席トナル
- 七、株主總會ノ召集

第二十五條 副行長ハ行長ヲ補助シ行務ヲ掌理シ行長事故アルトキハ副行長其職務ヲ代理ス

### 第七章 董事會

第二十六條 董事會ノ權限左ノ如シ

- 一、勸業銀行條例及章程ノ各規定ヲ遵守シ銀行事務ヲ分掌ス
  - 二、年末營業決算報告ノ審査
  - 三、分行或ハ代理店ノ設立撤廢或ハ場所ノ變更
  - 四、特別貸付ノ決議
  - 五、對外重要契約ノ締結
  - 六、營業用土地家屋ノ借入建築買買
- 第二十七條 董事ハ董事長一人ヲ互選ス其職務左ノ如シ

一、董事會ヲ代表ス

二、董事會ヲ召集シ其議長トナル

三、株券及勸業債券ニ署名捺印ス

第二十八條 董事會議ハ出席董事ノ多數ヲ以テ可否ヲ決ス可否同數ナル場合ハ議長之ヲ決ス

出席董事數カ半數ニ充タサル場合ハ決議ヲ行フコトヲ得ス

董事會議ニ於ケル議事録ハ議長之ニ署名捺印ス

董事自身ニ關スル議案ニツキテハ該董事ハ議決權ヲ有セス

### 第八章 監事

第二十九條 監事ノ職務左ノ如シ

- 一、董事行長副行長ノ供託セル株券ノ保管
- 二、銀行業務ノ監査
- 三、董事會ノ作成セル株主總會ニ提出スヘキ各種帳簿ノ審査並ニ株主總會ニ於テ意見ヲ開陳ス

### 第九章 行務總會

第三十條 行務總會ハ行長副行長董事監事聯合シテ之ヲ組織ス

第三十一條 行務總會ノ會議範圍左ノ如シ

後編 各銀行ニ關スル諸規定



- 一、行長ノ提議セル事項
  - 二、董事監事ノ提議セル事項
  - 三、株主利益配當及行員獎勵金ノ分配
  - 四、董事會ニ於テ裁決シ能ハサル權限ニ關スル爭議
  - 五、總分行ノ毎年ノ豫算決算
  - 六、本行章程及各種規定ノ審査
  - 七、董事會及監事ニ屬セサル事項
- 第三十二條 行務總會ハ行長之ヲ召集シ多數決トス可否同數ナル場合ハ主席之ヲ決ス但シ出席董事監事ノ員數半數以上ニ達セサルトキハ決議ヲナスコトヲ得ス
- 其議事録ハ出席各員署名捺印ス

#### 第十章 株主總會

- 第三十三條 株主ハ總會開會前其株券ヲ最寄分行ニ提示シテ出席證ヲ受取り之ヲ總行ニ持參シテ入場券ト交換スヘシ
- 第三十四條 株主カ總會ニ主席シ能ハサルトキハ委任狀ニ署名捺印シ他ノ株主ニ代理ヲ委託スルコトヲ得但シ代理投票權ハ十票ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十五條 株主ノ投票權ハ一株ニツキ一トス

第三十六條 株主總會ハ開會三十日前ニ本銀行ノ指定セル新聞紙ニ廣告シ且ツ信書ヲ以テ其時日及議題ヲ各株主ニ通知スルコトヲ要ス

緊急事項アル場合ハ十五日前ニ各株主ニ通知スルコトヲ得

第三十七條 株主總會ニ附議スヘキ事項ハ行長董事會監事ヨリ提出ス

資本ノ十分ノ一以上ヲ有スル株主ノ連署ヲ以テ議案ヲ提出スルコトヲ得

第三十八條 株主總會ハ會員人數五分ノ一以上ニシテ且ツ資本半數以上ノ出席アルニアラサレハ開會スルコトヲ得ス

第三十九條 株主總會ニ於ケル議決事項ハ出席株主議決權ノ過半數ヲ以テ可否ヲ決ス可否同數ナル場合ハ主席之ヲ決ス

#### 第十一章 決算及利益分配

第四十條 毎年ノ決算期ヲ二期ニ分チ一月ヨリ六月マテテ上半期トシ七月ヨリ十二月マテテ下半期ト爲ス一年ノ決算報告ハ董事會通過後株主總會ニ提出シ其承認ヲ得ヘシ

本銀行ハ銀行通行則例第五第六兩條ノ規定ニ遵ヒ營業狀況ヲ公告シ且ツ各帳簿ヲ作成シ財政部ニ報告スヘシ

第四十一條 利益ハ勸業銀行條例第四十條第四十一條ノ規定ニ據リ其總額ノ中ヨリ十分ノ一ヲ積立金ト爲シ百分ノ



五、配當平均準備トス株式ニ對スル利息年五分優先株ニ對スル利息二分増トシテ差引キ尙殘額アル場合ハ之ヲ十分シテ左ノ如ク分配ス

一、特別積立金一割

二、株主利益配當五割

三、行長副行長董事監事各行員獎勵金四割

第十二章 附 則

第四十二條 本章程ノ改正ハ董事會議決後株主總會ノ通過ヲ經財政部ノ認可ヲ要ス

第四十三條 本章程ハ財政部認可ノ日ヨリ施行ス

中國農工銀行章程

民國十年十一月二日公布、現在資本一千萬元拂込五百萬元  
支店 上海、杭州、南京、天津

第一章 總 綱

第一條 本銀行ハ資金ヲ融通シテ農工業ヲ補助シ地方農工銀行ノ發展ヲ促進スルヲ以テ目的トス

第二條 本銀行ハ株式有限會社トシ大宛農工銀行ヲ改組セルモノニシテ中國農工銀行ト稱ス

第三條 本銀行ハ總行ヲ北京ニ置キ且ツ各重要ナル地方ニハ董事會ノ議決並ニ政府ノ認可ヲ得テ分行分號或ハ代理店ヲ設置ス

第四條 本銀行資本總額ハ國幣五百萬元トシ一株百元五萬株ニ分ツ二分ノ一拂込ノ後營業ヲ開始ス

前項株式ノ中政府ハ其五分ノ二ヲ引受ケテ援助獎勵ス但シ該株式ハ株主總會ノ議決ヲ經テ民間ニ讓渡スルコトヲ得

本銀行カ資本ヲ増加セントスル場合ハ株主總會ノ議決ヲ經政府ノ認可ヲ得テ之ヲ行フ

第五條 本銀行ノ營業年限ハ開業ノ日ヨリ六十年トス期限滿了後ハ認可ヲ得テ之ヲ延長スルコトヲ得

第二章 營 業

第六條 本銀行ノ營業ノ範圍左ノ如シ

一、各種貸付ノ經營

甲、五年以内ノ期限ニシテ割賦償還トシ農工業不動産ヲ抵當トスルモノ

乙、三年以内ノ期限ニシテ定期償還トシ農工業不動産ヲ抵當トスルモノ

前二種ノ期限ハ開業ノ始メニアリテハ當分割賦償還ハ二年以内定期償還ハ一年以内トス但シ特別ノ事情アリ本銀行カ期限延長ノ必要アリト認メタルモノハ此限ニ在ラス

丙、一年以内ノ期限ニシテ定期或ハ割賦償還トシ農工業ニヨル生産物ヲ擔保トスルモノ

丁、一年以内ノ期限ニシテ定期或ハ割賦償還トシ各種債券株券ヲ擔保トスルモノ

戊、二軒ノ商店ノ保證或ハ十人以上ノ農業或ハ工業者ノ連帶保證ニシテ本銀行カ信用確實ナリト認メタル場合

後編 各銀行ニ關スル諸規定



ハ一年以内ノ期限ノ定期償還ニヨル貸付ヲ行ヒ擔保ヲ徵セス

二、定期預金ノ取扱

三、農工銀行條例第十九條ノ規定ニヨリ中央金庫ノ委託ヲ受ケ徵稅其他各種金圓ノ收支ヲ取扱フ

四、農工銀行條例第二十一條ノ規定ニヨリ金銀塊其他貴重品ノ代理保管

五、農工銀行條例第二十二條ノ規定ニ依リ剩餘金ヲ以テ各種債券ヲ買入レ或ハ他銀行ニ貸付ケ或ハ預金シテ利子ヲ取得ス

六、農工銀行條例第二十四條ノ規定ニ依リ政府ノ認可ヲ經テ他ノ業務ヲ營ムコトヲ得

第七條 本銀行ハ本銀行ノ株券ヲ購入シ或ハ本銀行ノ株券ヲ擔保トシテ受入ル、コトヲ得ス

第三章 債 券

第八條 本銀行ハ農工銀行條例第二十五條乃至第三十二條ノ規定ニ依リ債券ヲ發行スルコトヲ得其章程ハ別ニ之ヲ定ム

第四章 株 券

第九條 本銀行ノ株券ハ總テ記名式ヲ用ヒ中華民國人民ノ外ハ之ヲ賣買讓渡スルコトヲ得ス

本銀行ノ株券ハ一株券五株券十株券五十株券百株券ノ五種ニ分ツ

第十條 總テ本銀行株券一株以上ヲ引受或ハ購入セルモノハ本銀行ノ株主トス數人カ一株ヲ引受ケ或ハ購入セル場

合ハ其中ノ一人ヲ株主ト見做ス

第十一條 株券ヲ賣買讓渡スル場合ハ賣主或ハ讓主ハ株券裏面ニ署名捺印シ買主或ハ受主ハ該株券ヲ銀行ニ送り登録名義變更ヲ爲スヘシ同時ニ買主或ハ受主ヨリ手数料一枚ニツキ銀二角ヲ納付スヘシ

第十二條 相續ニ因リ株券ノ名義變更ヲ要スル場合ハ相續人ハ株券及證明書ヲ銀行ニ送り登録名義變更ヲ爲スヘシ其手数料ハ前條ニ同シ

第十三條 株主ハ其署名或ハ印章ノ様式及ヒ其住所ヲ本銀行備付ノ用紙ニ依リ本銀行ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ其訂正ヲ請求スヘシ

第十四條 株主カ其株券ノ姓名ヲ變更シタル場合ハ其株券及證明書ヲ銀行ニ送付シ訂正ヲ請求スヘシ其手数料及署名印章ノ様式並ニ住所ニ關シテハ前條及第十一條ニ據ル

第十五條 株券ヲ遺失シ本銀行ニ其再發行ヲ請求スル場合ハ其請求書ニ二人以上ノ保證人ノ署名捺印ヲ得本銀行ニ請求スヘシ且ツ遺失人ノ負擔ヲ以テ政府公報及ヒ本行ノ指定スル新聞紙ニ廣告シニケ月ヲ經ルモ發見セザルトキ始メテ再發行ス但シ遺失人ヨリ受領證ヲ徵シ之ヲ銀行ニ保存ス且ツ手数料一枚ニツキ銀二角ヲ納付スヘシ

遺失セル株券カ廣告ノ日後二箇月以内ニ發見セラレタルトキハ本銀行ニ通告シ請求ヲ取消シ且ツ前項ニ依リ其旨廣告スヘシ

第十六條 株券ノ再發行ニ關シ紛糾生シタルトキハ確實ニ解決セル後ニ非サレハ再發行セス



第十七條 株券カ毀損汚染或ハ筆跡不明瞭トナリ或ハ裏面ニ署名捺印ノ餘地ナキニ至リタルトキハ株主ハ本行ニ對シ其交換ヲ請求スヘシ但シ手数料一枚ニツキ銀二角ヲ納付スヘシ其筆跡不明瞭ナル場合ハ第十五條第十六條ニ據リ處理スルコトアルヘシ

### 第五章 職員

第十八條 本銀行ニ董事九人監事五人ヲ置キ各分行ニハ經理副經理各一人ヲ置ク

全國農工銀行事務局ヨリ財政部ニ申請シ董事二人監事一人ヲ派遣ス百株以上ノ民間株主中ヨリ董事七人監事四人ヲ選舉シ此中ヨリ董事長一人常務董事三人ヲ互選ス

經理及副經理ハ總管理處ニ於テ董事會ト協議ノ上之ヲ聘任ス

第十九條 董事ノ任期ハ三年トシ監事ノ任期ハ二年トス但シ再選セラレタルトキハ留任スルコトヲ得

第二十條 董事長常務董事ノ車馬費ハ株主總會ニ於テ定ム

第二十一條 董事監事ノ選舉ノ場合董事ハ三人監事ハ二人ノ次點者ヲ定メ之ヲ各候補者ト爲シ缺員ヲ生シタル場合ハ之ヲ以テ補缺ス但シ其任期ハ前任者ノ任期ヲ繼續ス

第二十二條 民間株主ヨリ選舉セラレタル董事ハ選舉セラレタル後章程ニ定ムル株券ヲ監事ヲ經テ本行ニ供託スヘシ改選サレタル場合ハ前年度營業決算報告作成後之ヲ返還スヘシ

### 第六章 總管理處

第二十三條 總管理處ハ董事長及常務董事之ヲ組織ス

第二十四條 董事長ハ本行ヲ代表シ全行事務ヲ管理ス且各分行ヲ指揮監督ス

### 第七章 董事會

第二十五條 董事會ハ全董事ヲ以テ之ヲ組織シ其議スヘキ事項左ノ如シ

- 一、本銀行資本ノ分配
- 二、分行分號或ハ代理店ノ設立撤廢或ハ場所ノ變更
- 三、各種章程ノ制定改廢
- 四、對外重要契約ノ審議
- 五、年末營業決算報告ノ審議
- 六、營業用土地家屋ノ借入建築或ハ賣買
- 七、株主總會ノ召集

### 第八章 監事會

第二十六條 監事會ハ監事全體ヲ以テ之ヲ組織シ其職務左ノ如シ

- 一、董事ノ供託セル株券ノ保管
- 二、本銀行業務ノ監察並ニ全董事經理カ章程其他決議等ニ準據スルヤ否ヤノ監察

後編 各銀行ニ關スル諸規定



- 三、年末決算報告ノ審査
- 四、金庫其他一切ノ帳簿ノ検査
- 五、必要ト認ムルトキハ董事會ニ於テ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ表決ニ加ハルコトヲ得ス

第九章 經理副經理

- 第二十七條 經理ハ總管理處ノ指揮ヲ受ケ行務ヲ主持シ並ニ各種會議ニ於ケル議決事項ヲ執行ス
- 第二十八條 副經理ハ經理ヲ協助シテ行務ヲ處理シ經理事故アル場合ハ副經理之ヲ代理ス
- 第二十九條 經理副經理ハ董事會ニ列席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ表決ニ加ハルコトヲ得ス
- 第三十條 本銀行ハ左ノ各課ヲ設置スルコトヲ得
  - 一、文書課 文書ノ起案受付發送及各種支拂庶務債券發行等ヲ掌ル
  - 二、調査課 債務信用不動産所在地等ノ検査擔保品價格ノ審査等ヲ掌ル
  - 三、營業課 貸付預金擔保品及寄託品ノ保管等ヲ掌ル
  - 四、出納課 各種現金及債券證券ノ出納ヲ掌ル
  - 五、會計課 各種帳簿ノ作成各種科目ノ算定ヲ掌ル
- 第三十一條 各課ニ主任一人事務員事務助手及練習生若干人ヲ置ク事務ノ繁閑ニヨリ經理之ヲ任用シ總管理處ニ届出ツヘシ

第十章 行務會議

- 第三十二條 董事長常務董事董事監事經理副經理ノ聯合會議ヲ行務會議ト稱シ其爲スヘキ範圍左ノ如シ
  - 一、株主ノ利益配當案及行員獎勵金ノ分配案ノ制定
  - 二、董事會ニ於テ裁決シ能ハサル權限爭議ノ解決
  - 三、總分行ノ事務細則及各種規定ノ審議
  - 四、董事會監事會ニ屬セサル事項
- 第三十三條 行務會議ハ董事長召集ス但シ董事監事經理副經理五人以上ノ提議アルトキハ之ヲ召集スルコトヲ得
- 第三十四條 行務會議ハ過半数ノ出席者アルニアラサレハ開會スルコトヲ得ス其議事ハ出席者ノ過半数ヲ以テ決シ可否同數ナル場合ハ主席之ヲ決ス
- 行務會議ノ議事録ハ出席者ノ署名捺印ヲ經總管理處ニ於テ之ヲ保管ス

第十一章 株主總會

- 第三十五條 本銀行株主總會ハ左ノ二種トス
  - 一、通常株主總會 毎年一回董事會ニ於テ定期ニ召集ス
  - 二、臨時株主總會 董事或ハ監事カ必要ト認メタル場合或ハ株主十人以上ニシテ本銀行資本總額ノ十分ノ一以上ノ株式所有者カ其理由ヲ説明シ開會ヲ請求セル場合之ヲ召集ス



第三十六條 本銀行ノ政府並ニ民間各株主共一株ニツキ一議決權ヲ有ス但シ百株以上ハ二株ニツキ一議決權三百株以上ハ五株ニツキ一議決權五百株以上ハ十株ニツキ一議決權トシ一人ノ株主ノ議決權ハ三百ヲ過クルコトヲ得ス總會開會一箇月前ニ登録スルニアラサレハ總會ニ參加スルコト能ハス百株以上ノ株主ニシテ屋號等ヲ以テ其名義トセルモノハ一箇月前ニ本銀行ニ其姓名ヲ届出ツルニアラサレハ董事監事ノ被選舉權ヲ有セス

第三十七條 株主ハ總會開會前ニ其株券ヲ本銀行ニ提示シテ入場券及議題其他報告書ヲ受取ルヘシ

第三十八條 株主事故アリテ總會ニ出席シ能ハサル場合ハ委任狀ニ署名捺印シ他ノ株主ニ代理ヲ委託スルコトヲ得但シ株主ノ代理投票權ハ五票ヲ超ユルコトヲ得ス

會社商店或ハ公共機關カ本銀行株主タル場合ハ該會社商店或ハ公共機關ヨリ相當ノ證明書ヲ添ヘテ代表者ヲシテ出席セシメ或ハ前項ニ據リ處理ス

第三十九條 株主總會ハ通常ト臨時タルトヲ問ハス一箇月以前ニ信書ヲ以テ其開會期日及ヒ議題ヲ各株主ニ通知スルコトヲ要ス

緊急事項アル場合ハ十五日以前ニ各株主ニ通知スルコトヲ得

第四十條 株主總會ニ於ケル討論事項ハ通知書ニ記載セル議題ニ限ル

株主カ意見アリ之ヲ議題ト爲サントスル場合ハ開會五日前ニ意見書ヲ株主七人以上ノ連署ヲ經テ董事會ニ提出シ議題トシテ株主總會ニ提出スヘシ

第四十一條 株主總會ハ株主總數ノ過半數ニシテ且ツ資本總額ノ半數以上ヲ占ムル株主ノ出席アルニアラサレハ開會スルコト能ハス株主總議決權ノ過半數ノ出席アルニアラサレハ議決ヲ爲スコト能ハス代理ヲ委託セル株主ハ出席ト見做ス

第四十二條 董事長常務董事董事監事及分行經理副經理等カ行務ニ對シ違法行爲アリ或ハ職務ニ堪ヘスト認メタルトキハ株主總會ニ於テ前條手續ニ依リ別ニ選舉ヲ行ヒ或ハ聘任ス且ツ法律ニ依リ追訴スルコトヲ得

第四十三條 株主總會ニ於ケル決議錄ハ全董事監事之ニ署名捺印シ監事會之ヲ保存ス

## 第十二章 決算及分配

第四十四條 毎年ノ決算ヲ二期トシ一月ヨリ六月マテヲ上半期トシ七月ヨリ十二月マテヲ下半期ト爲ス

一年ノ決算報告ハ董事會ニ於テ法定ノ様式ニ依リ作成シ監事會ニ於テ其確實ナルコトヲ検査セル後株主總會ニ提出シ議決ス且ツ全國農工銀行事務局ニ報告シ並ニ財政部ニ届出ツヘシ

第四十五條 毎年ノ純利益ハ其十分ノ一以上ヲ法定積立金ト爲シ政府株民間株共ニ年六分ニ相當スル金額ヲ差引キ尙殘餘アルトキハ之ヲ百分シ左ノ如ク分配ス

一、特別積立金及民間株ニ對スル利益配當金百分ノ七十（其割合ハ株主總會ニ於テ議決ス）積立金ハ民間株ニ對スル配當ノ平均ヲ維持スルモノニシテ他ニ流用スルコトヲ得ス

二、董事長常務董事及監事ニ對スル慰勞金百分ノ七



三、經理副經理及各行員ニ對スル獎勵金百分ノ二十三

第四十六條 民間株ニ對スル利息配當率カ年六分ニ充タサルトキハ特別積立金ヲ以テ之ヲ補フ

第四十七條 毎年ノ利息配當金及利益配當金ハ通常株主總會ニ於テ議決ノ後之ヲ支拂フ

第十三章 附 則

第四十八條 本章程ニ不備ノ點アラハ農工銀行條例銀行通行則例公司條例ニヨリ處理ス

本章程改正ヲ要スル場合ハ公司條例第九十九條ニ據リ處理ス

第四十九條 本章程ハ全國農工銀行事務局ヨリ財政部ニ提出シ大總統ノ認可ヲ要ス

本章程ハ株主總會成立ノ日ヨリ施行ス

大陸銀行章程

民國八年ノ創立業ニシテ本章程ハ  
民國十二年二月十九日通常株主總會ニ於テ修正

第一條 本銀行ハ公司條例ニ從ヒ株式有限會社ノ組織ニヨリ大陸銀行株式會社ト稱ス

第二條 本銀行ハ總行ヲ天津ニ設ケ分行ヲ北京上海漢口哈爾濱南京濟南青島香港ノ各地ニ設置ス將來商業繁盛ナル

地方ニ分行ヲ設立スル場合ハ董事會ノ議決ヲ經財政部ノ認可ヲ得農商部ニ登錄ス

第三條 本銀行ノ營業ノ種類左ノ如シ

一、各種預金

二、各種貸出

三、各種爲替

四、商業手形割引

五、有價證券及地金銀ノ賣買

六、各種金員ノ代理取立

七、貴重物品ノ保管

八、信託業務ノ兼營

九、普通儲蓄

第四條 本銀行ノ資本金ハ通用銀元五百萬元トシ一株一千元五千株ニ分ツ

株券ハ總テ記名式トス

一株ヲ十小株ニ分ツコトヲ得一小株ノ金額ハ一百元トス

第五條 本銀行ノ營業年限ハ三十箇年トス期限滿了後ハ株主總會ノ議決ニヨリ財政部農商部ノ認可ヲ得テ延期スル

コトヲ得

第六條 本銀行ハ營業ノ發展上必要ナル場合ハ株主總會ノ議決ヲ經テ資本ヲ增加スルコトヲ得但シ公司條例ニヨリ

處理シ且ツ財政部農商部ニ届出ツルコトヲ要ス

第七條 本銀行ハ董事七人以上ヲ置キ董事會ヲ組織ス監察人二人ヲ置クイツレモ十株以上ノ株主ヨリ選出シ其職權

後編 各銀行ニ關スル諸規定



ハ別ニ之ヲ定ム董事ノ任期ハ三年監察人ノ任期ハ一年ニシテ再選サレタルモノハ留任スルコトヲ得

第八條 本銀行ニ總經理一人ヲ置キ董事會ノ聘任トス全行行員ハ總經理之ヲ選任ス分行ニハ經理副經理各一人ヲ置キ總經理ノ聘用トス但シ董事會ノ同意ヲ要ス

第九條 本銀行ノ株主總會ハ定期及ヒ臨時ノ二種トシ定期株主總會ハ毎年二月又ハ三月總行所在地ニ於テ一回召集シ臨時株主總會ハ董事會或ハ監察人カ必要アリト認メタルトキ或ハ本銀行資本總額十分ノ一以上ノ株主カ其事由ヲ具シ董事會ニ臨時株主總會ノ開會ヲ求メタルトキ董事會ハ定期株主總會ノ手續ニヨリ直チニ之ヲ召集スルコトヲ要ス

第十條 株主總會ハ拂込株金額二分ノ一以上ニ相當スル出席者アルニアラサレハ決議ヲ行フコトヲ得ス

第十一條 株主總會ニ於ケル議決權及ヒ選舉權ハ一株ニツキ一個トシ十一株以上ハ五株ヲ増ス毎ニ一個ヲ増ス他ノ株主ノ代理ヲ爲スモノ亦同シ

小株主ハ十株ヲ以テ一ノ議決權及ヒ選舉權ヲ有ス

第十二條 本銀行ハ毎年結算後利益ノ十分ノ一以上ヲ積立金ト爲ス

株式ニ對スル利息配當ハ年六分トシ拂込ノ日ヨリ起算ス株主利益配當金行員獎勵金ハ董事會ノ議決ニヨル

第十三條 本銀行ハ一年毎ニ總決算營業報告書資產負債表損益表及ヒ資產目錄ヲ作成シ監察人之ヲ監査シテ株主總會ニ提出シ其承認ヲ得テ後財政部ニ報告スヘシ尙資產負債表ハ新聞紙ニ廣告スヘシ

第十四條 本章程ニ規定セル以外ノ事項ハ銀行條例及ヒ公司條例株式有限會社ノ規定ニヨリ處理ス

第十五條 本銀行ノ細則ハ別ニ之ヲ定メ董事會ノ議決ヲ經テ實行ス

第十六條 本章程ヲ修改スル場合ハ株主總會ノ議決ヲ經テ財政部農商部ノ認可ヲ經テ實行ス

### 農商銀行章程

高凌蔚農商總長當時創設セル官商合辦ノ銀行ニシテ本店ヲ北京ニ置ク本章程ハ民國十一年四月二日公布

第一條 農商銀行ハ株式有限會社トシ全國實業ノ發展ヲ補助スルヲ以テ目的トス

第二條 農商銀行ハ總行ヲ設立シ各分行及爲替取扱所ノ事務ヲ管轄ス

國內外ニ於ケル農商業ノ繁盛ナル地方ニハ分行或ハ爲替取扱所ヲ設置スルコトヲ得但シ分行ノ設立ハ主管官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

第三條 農商銀行ノ營業年限ハ開業ノ日ヨリ六十箇年トス期限滿了後株主總會ノ議決ヲ經テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ主管官廳ノ認可ヲ要ス

第四條 農商銀行ノ資本總額ハ銀元一千萬元トシ先ニ五百萬元ヲ募集ス

一株ノ金額銀百元五萬株ニ分チ政府株民間株各半數トス但シ民間株カ豫定數ヲ超過シタルトキハ政府株ノ數ヲ減ス政府株四民間株六ヲ限度トス

前項ノ規定ニヨリ更ニ株式ヲ募集スルトキハ株主總會ノ議決ヲ經テ主管官廳ノ認可ヲ要ス

後編 各銀行ニ關スル諸規定



第五條 農商銀行政府株ハ農商部ニ於テ引受ケ民間株ハ人民ヲシテ之ヲ引受ケシム

第六條 農商銀行株券ハ總テ記名式ヲ用ヒ株主ハ中華民國人民ニ限ル

第七條 農商銀行ノ營業種類左ノ如シ

- 一、預金
- 二、實業貸付
- 三、割引
- 四、國內外爲替
- 五、地金銀ノ賣買
- 六、證券證書及貴重品ノ代理保管
- 七、債券ノ代理募集
- 八、其他一般銀行業及附帶業務

第八條 農商銀行ハ農商部ノ金庫ヲ保管ス

第九條 農商銀行ハ政府ノ委託ヲ受ケテ金庫事務ヲ取扱フコトヲ得

第十條 農商銀行ハ紙幣ヲ發行スルコトヲ得

第十一條 農商銀行ハ紙幣ヲ發行スル場合ハ監理官二人ヲ置ク一人ハ農商部ヨリ派遣シ一人ハ財政部幣制局ヨリ派

遣ス

第十二條 農商銀行ハ董事九人ヲ置キ株主總會ニ於テ二百株以上ノ株主ヨリ之ヲ選舉ス監察人三人ヲ置キ株主總會ニ於テ百株以上ノ株主ヨリ之ヲ選舉ス

イツレモ主管官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

第十三條 農商銀行ニ總裁一人副總裁一人ヲ置クイツレモ董事會ニ於テ四百株以上ノ株主ヨリ推選ス

總裁副總裁ノ辭職或ハ免職ハ正當ノ理由アルトキハ董事會ノ同意ヲ得株主總會ニ於テ之ヲ決ス

第十四條 農商銀行ノ總裁副總裁ノ任期ハ五年董事ノ任期ハ三年監察人ノ任期ハ一年トスイツレモ任期滿了後再選セラレタルトキハ留任スルコトヲ得

董事監察人其他重要職員ノ職務權限ハ別ニ規則ヲ以テ定ム

第十五條 農商銀行ハ毎年一回總行ノ所在地ニ於テ通常株主總會ヲ開會ス特別ノ事情アル場合ハ臨時株主總會ヲ開クコトヲ得

第十六條 株主ノ議決權及選舉權ハ一株ヨリ十株マテハ一株ニツキ一權利トシ十一枚以上八十株ニツキ一權利トシ百一株以上ハ三十株ニツキ一權利トス但シ各株主ハ一人ニテ五百以上ノ權利ヲ有セス

第十七條 農商銀行ハ毎年ノ營業純利益ノ十分ノ一以上ヲ積立金ト爲シ殘額ノ七割ヲ株主利益配當金トシ三割ヲ職員獎勵金ト爲ス但シ株主配當金カ年八分ニ達セサルトキハ董事會ノ決議ニヨリ先ニ株主配當ヲ行フ



支那銀行關係規定集

七〇

第十八條 農商銀行ノ廣告ハ政府公報及其指定セル新聞紙ヲ以テ之ヲ爲ス  
第十九條 本章程ハ認可ノ日ヨリ施行ス

金城銀行章程

民國六年五月資本金二百萬元拂込五十萬元ヲ以テ開業營業狀態極メテ良好ニシテ支店所在地上海漢口北平大連本章程ハ民國十二年改訂セルモノ

第一條 本行ハ株式有限會社トシ金城銀行股份有限公司ト稱ス財政部農商部ノ認可登錄ヲ經タリ

第二條 本行ハ總行ヲ天津ニ置キ董事會ノ決議ヲ經タル場合ハ財政部ノ認可ヲ經各都市ニ分行ヲ置キ或ハ他ノ銀行銀號商店ト代理店契約ヲ締結スルコトヲ得

第三條 本行ノ資本總額ヲ銀一千萬元トシ之ヲ一株百元十萬株ニ分ツ

株式ハ總テ記名式トシ中國人ニアラサレハ株主タルコトヲ得ス

第四條 本行ノ資本總額一千萬元ノ内拂込濟額五百萬元ヲ除ク殘額五百萬元ハ營業ノ狀態ニ應シ隨時拂込ヲ爲ス  
(民國十五年迄ノ既拂込額ハ六百五十萬元ナリ)

第五條 本行ノ存續期間ハ三十箇年トス但シ株主總會ノ決議ヲ經財政部農商部ノ認可ヲ經テ期間ノ延長ヲ爲スコトヲ得

第六條 本行ノ營業種目左ノ如シ

一、各種預金

二、擔保附貸付並ニ手形割引

三、内外爲替及荷爲替取扱

四、有價證券ノ賣買及ヒ地金銀ノ賣買

五、代理取立及有價證券ノ取扱

六、證券手形其他貴重品ノ保管

第七條 本行ハ財政部並ニ地方長官ノ許可ヲ經テ儲蓄部ヲ設置シ儲蓄事務ヲ兼營スルコトヲ得但シ此ノ場合ハ別ニ細則ヲ定ムルモノトス

第八條 本行ニ董事七人以上ヲ置ク株主總會ニ於テ五百株以上ノ株主中ヨリ之ヲ選任シ其任期ヲ三箇年トス  
本行ニ監察人二人以上ヲ置ク株主總會ニ於テ三百株以上ノ株主中ヨリ之ヲ選任シ其任期ヲ一箇年トス  
任期滿了後ハ何レモ再任スルコトヲ得

第九條 總經理一名ヲ置キ全行ノ事務ヲ統轄セシム協理一名ヲ置キ總經理ヲ補佐シテ一切ノ事務ヲ掌ラシム何レモ董事會ニ於テ聘任スルモノトス

第十條 本行株主總會ハ定期及ヒ臨時ニ分チ定期總會ハ毎年一回之ヲ開ク  
其召集ハ一箇月前ニ各株主ニ通知スルコトヲ要シ行務ノ一切ヲ議決ス  
臨時總會ハ董事會ノ決議ニ因リ必要ニ應シ之ヲ召集ス

後編 各銀行ニ關スル諸規定

七一



株式總數ノ十分ノ一以上ニ當ル株主カ會議ノ目的タル事項ヲ具シテ臨時總會ノ召集ヲ董事會ニ請求シタルトキハ  
董事會ハ適法ノ手續ニ依リ之ヲ召集スルコトヲ要ス

株主カ事故ノタメ總會ニ出席シ能ハサル場合ハ他ノ株主ヲシテ之ヲ代理セシムルコトヲ得

第十一條 株主ノ總會ニ於ケル決議權ハ一株ニツキ一箇トシ五十株以上ノ場合ハ二株ニツキ一箇ヲ増加スルモノトス

第十二條 本行ハ毎決算期ニ於テ總利益金ノ十分ノ一以上ヲ法定積立金トシ其殘額ヨリ株式ニ對スル利息配當金及  
諸經費ヲ控除シ更ニ其殘額ノ百分ノ七十ヲ株主利益配當金及配當平均積立金トシ百分ノ三ヲ董事及監察人ノ報酬  
トシ百分ノ二十七ヲ全行員獎勵金ト爲ス

第十三條 本行ハ半年毎ニ決算ヲ行ヒ一年毎ニ一回總決算ヲ行フ其都度營業報告書資產負債表及損益表ヲ作成シ監  
察人ノ監查署名ヲ經テ各株主ニ通知シ且ツ新聞紙ニ廣告シ財政部ニ届出ツヘシ

第十四條 本行章程ハ株主總會ノ議決ヲ經テ財政部農商部ノ認可ヲ經テ之ヲ實施スル場合亦同シ

### 永衡官銀錢號總分支號章程

光緒二十四年創設シタル官帖局ト光緒三十四年附設  
シタル官錢局トヲ宣統元年十一月合併シテ現名ニ改  
メ吉林省中央銀行ト爲ス  
本章程ハ民國十年四月二十八日附ヲ以テ同年五月三  
日吉林公報ニ掲載セルモノデアル

第一條 本號ハ吉林永衡官銀錢號ト稱ス

第二條 本號ハ吉林省城ニ設置ス各商埠地各縣並ニ商業ノ繁盛ナル各都市ニハ分號或ハ支號ヲ設置スルコトヲ得

第三條 本號ノ基金ハ從來ノ資本金ヲ以テ定額ト爲ス本號營業上ノ必要アルニ非レハ如何ナル場合ト雖モ之ヲ他ニ

流用スルコトヲ得ス

第四條 本號營業ノ種類左ノ如シ

一、信用當座定期及擔保付貸付

二、預金

三、爲替

四、各種金銀貨幣ノ期限付交換

五、各種約束手形ノ割引

六、各種實業ノ兼營

七、他銀行號業務ノ代理

八、金庫事務ノ代理

第五條 本號ハ舊章程ニ違ヒ各種官帖及大小銀元票ヲ發行ス但シ毎月各種報告書二部ヲ作成シ一部ハ省長公署ニ送  
附シテ其審査ニ供シ一部ハ監理官ヲ經テ財政部幣制局ニ送附スヘシ

第六條 本號ニ督辦一名ヲ置キ財政廳長之ヲ兼任ス總辦一名會辦二名ハ何レモ省長之ヲ委任ス  
第七條 總會辦ハ總號内ニ事務所ヲ設置ス其組織次ノ如シ

一、文書處 總文書一名副文書一名文書司事若干名ヲ置ク文書司事ノ人數ハ事務ノ繁簡ニ依リ之ヲ定ム專ラ公文

後編 各銀行ニ關スル諸規定



書通信文書ノ取扱報告書ノ編輯統計事務並ニ文書ノ受取發送等ヲ掌ル

二、稽核處 總稽核一名副稽核一名稽核司事若干名ヲ置ク稽核司事ノ人數ハ事務ノ繁簡ニ依リ之ヲ定ム專ラ總分支號ノ一切ノ營業狀態ヲ考査シ或ハ各分支號其他ニ赴キ必要ナル調査ヲ行フ

三、司庫處 總司庫一名司庫司事若干名ヲ置ク司庫司事ノ人數ハ事務ノ繁簡ニ依リテ之ヲ定ム專ラ一切ノ現金鈔票有價證券擔保品ノ保管ニ任ス

四、庶務處 庶務一名副庶務一名庶務司事若干名ヲ置ク庶務司事ノ人數ハ事務ノ繁簡ニ依リ之ヲ定ム專ラ他處ニ屬セサル事項號員ニ對スル俸給手當ノ給與食堂ノ管理雜用物品ノ購入號有器物ノ保管ニ任ス

五、實業整理處 主任一名副主任一名事務員若干名ヲ置ク事務員ノ人數ハ事務ノ繁簡ニ依リテ之ヲ定ム專ラ本號所有森林鑛山ノ整理ニ任ス總テ本銀號ノ營業範圍内ニ屬セサル各種實業ハ皆之ニ屬ス

以上ノ各員ハ總會辦ヨリ之ヲ委任ス

第八條 本號ニ總經理一名副經理三名ヲ置キ總分支號ノ營業ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム何レモ總會辦之ヲ選任ス

第九條 總副經理ヨリ以下ノ各係主任ハ總會辦ニ推薦シテ之ヲ任用シ主任以下ノ各係員ハ總會辦ヨリ之ヲ選任ス其職務左ノ如シ

(甲) 總號ニ三係ヲ設ケ各係ニ主任一名ヲ置キテ主管事務ヲ處理セシム主任以下ハ適宜執事助理練習生ヲ置クモ定員ヲメ定ス

一、營業係 營業範圍内ノ一切ノ業務勘定及ヒ金融商況ノ調査ヲ主管ス

二、出納係 現金ノ出納各種證券ノ保存並ニ各種紙幣ノ製造收發鎖却等ノ事務ヲ主管ス

三、管業係 一切ノ土地建物各產業契約小作人ノ招致小作料其他ノ徵收等ヲ主管ス

(乙) 分號ニハ管理一名ヲ置キ支號ニハ經理一名ヲ置ク事務ノ繁要ナル地方ニハ副管理副經理各一名ヲ置クコトヲ得營業範圍内ノ各種業務ヲ處理セシム執事助理練習生ヲ置クモ其定員ヲ定メス事務ノ繁簡ニ依リ之ヲ定ム

第十條 本號ノ出入勘定ハ毎日及毎月清算ス半年毎ニ決算報告ヲ爲シ年末ニ總決算ヲ爲ス各種經費ヲ支拂ヒタル殘額ハ之ヲ十分シ六割ヲ省庫ニ納入シ二割ヲ積立金ト爲シ二割ヲ從事員ニ對スル獎勵金ト爲ス

(本號ハ民國十年八月巨額ノ缺損ヲ生シタルヲ以テ毎年純益中ヨリ二割ヲ支出シテ其填補ニ充テ殘額ヲ更ニ十分シテ本條規定ニヨリ分配ス舊損失ノ填補ヲ終ルヲ俟テ此支出ヲ停止ス)

第十一條 總分支號ノ執務細則ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 本章程ハ省長認可ノ日ヨリ實施ス不備ノ點アルトキハ隨時申請シテ之ヲ改正スルコトヲ得

### 浙江興業銀行章程

光緒三十二年全浙鐵路公司附設金融機關トシテ創設シ本店ヲ杭州ニ置ク  
後株式組織ニ改メ其株式ノ一半ハ鐵路公司ニテ引受ケケ一半ハ民間ヨリ募  
集ス鐵道國有トナルニ及シテ全部民間ニ於テ買收セリ資本百萬元四分ノ  
一拂込  
民國四年本店ヲ上海ニ移シ定款ヲ改正本章程ハ民國十三年二月十七日株  
主總會ニ於テ修正同年三月二十六日農商部認可同四月一日財政部認可

後編 各銀行ニ關スル諸規定



第一條 本銀行ハ公司條例ニ違ヒ株式有限會社ノ組織トシ浙江興業銀行株式有限會社ト稱ス

第二條 本銀行ノ營業範圍左ノ如シ

- 一、各種預金
  - 二、各種貸出
  - 三、各種爲替
  - 四、各種割引
  - 五、有價證券並ニ地金銀買賣
  - 六、兌換券ノ發行
  - 七、代理取立及ヒ各種有價證券ノ經理
  - 八、證券證書及ヒ貴重品ノ代理保管
- 第三條 本銀行ハ左ノ各項ヲ禁止ス
- 一、無擔保ニヨル個人貸付及貸越
  - 二、營業上必要以外ノ不動產買入或ハ擔保受入レ
  - 三、本銀行株券ノ買入或ハ擔保受入レ

四、本銀行所在地外ニ於ケル信用貸付

五、本銀行ノ名義ヲ以テ他ノ擔保ヲ爲スコト

但シ已ムヲ得サル場合ハ第三項ハ公司條例第三百三十二條ニ據リ處理シ其他各項ハ董事及ヒ監察人全體ノ同意ヲ得且ツ共同ノ責任ヲ負フテ之ヲ變更處理スルコトヲ得

第四條 本銀行ハ總行ヲ上海ニ設ケ董事駐在ス總行ニハ總事務所ヲ設ク

其他分行支行及附屬各行ノ營業機關ヲ設ク總テ董事會ノ議決ニヨル

第五條 本銀行ノ公告ハ總分支行所在地ノ新聞紙一種又ハ二種ヲ指定シテ之ヲ爲ス但シ信書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第六條 本銀行營業年限ハ前清農工商部核准成案ニ據リ五十年トス期限滿了後繼續スルヤ否ヤハ株主總會ニ於テ決ス

第二章 株 式

第七條 本銀行ノ資本金ハ二百五十萬元トシ之ヲ一株ノ金額百元ニ萬五千株ニ分ツ

第八條 本銀行ノ株式ノ増減及ヒ金額ハ株主總會ノ決議ニ依ツテ之ヲ決ス其株金ノ收支細則ハ董事會之ヲ決ス

第九條 本銀行ノ株券ハ記名式トシ公司條例第二百二十九條ニ依リ處理ス

第十條 本銀行株券ノ發行ニ當リ株主ハ其印鑑ヲ銀行ニ交附シ置キ配當金ノ受取或ハ本銀行ト關係アル事件ノアル

後編 各銀行ニ關スル諸規定



場合ハ該印鑑ヲ以テ證憑ト爲ス

第十一條 本銀行ニ株主名簿ヲ備ヘ公司條例第四百十條ニ據リ之ヲ處理ス

第十二條 株主カ家號商號ヲ以テ株主名義トスル場合ハ別ニ代表者ノ姓名住所ヲ銀行ニ明示シテ通信ニ備フヘシ

第十三條 本銀行ノ株主ハ本國國籍ヲ有スル者ニ限ル賣買相續贈與其他ニヨリ株式ヲ讓渡スル場合ハ保證人ヲタテ株式移轉證書及登錄請求書ニ該株券ヲ添ヘ總事務所ニ提出シテ名義書換或ハ登錄ヲ受クヘシ

第十四條 株券ヲ遺失シタル場合ハ保證人ヲタテ遺失證書ヲ總事務所ニ提出シテ其認可ヲ受クヘシ且ツ本行ノ指定スル新聞紙二種ニ各三日間以上公告シ三箇月ヲ經ルモ何等ノ事故ナキトキハ再發行ス

第十五條 株券ノ名義書換登錄再發行分轄或ハ合併ニハ各手数料ヲ徵收ス

第十六條 凡テ株主總會一箇月前本銀行ノ公告ニ因リ名義書換ヲ停止ス

### 第三章 株主總會

第十七條 本銀行ノ株主總會ハ定期及ヒ臨時ノ二種トス

第十八條 定期總會ハ每年下半年期決算後董事會ノ議決ニヨリ開會シ其一箇月前ニ各株主ニ通知ス

第十九條 臨時株主總會ハ董事或ハ監察人カ重要事項アリト認メタル場合及ヒ本銀行株式總數ノ二十分ノ一以上ニ相當スル株主カ其理由ヲ説明シテ總事務所ニ召集ヲ請求セル場合之ヲ開ク但シ定期總會ノ前後一箇月内ハ之ヲ開クコト能ハス

第二十條 株主總會ニ於ケル議案ハ董事ヨリ開會一箇月前ニ通知セラレタル事項ニ限ル

株主カ總會ニ附議セントスル事項アルトキハ株主十人以上ノ同意ヲ得テ開會七日前迄ニ其理由ヲ説明シテ總事務所ニ提議シ議案トシテ印刷配布セシムルコトヲ得

第二十一條 開會三日前株主ハ其株券ヲ本銀行ニ提示シテ入場證ヲ受取ルヘシ

他ノ株主ヲ代理スル者ハ本銀行株主ニ限ル且ツ被代理株主ノ委託書及ヒ印鑑ヲ要ス但シ法人ヲ株主トスル場合ハ

其代理人ハ本銀行株主タルコトヲ要セス

第二十二條 株主總會ノ主席ハ董事長之ニ任ス董事長事故アルトキハ董事中ノ一人ヲシテ之ニ代ラシム

第二十三條 株主總會ハ本銀行株式總數十分ノ四以上ノ出席アルニアラサレハ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第二十四條 株主總會ニ於ケル決議權及選舉權ハ一株ニツキ一箇ノ權利トス

十一株以上ハ二株ニツキ一箇ノ權利トス代理人ニヨル場合亦同シ

第二十五條 左記ノ中第一款ハ議決權無ク第五款第六款ハ被選舉權ナク第二第三第四各款ハ選舉權ナシ

一、議事ノ自己ニ及フ株主

二、開會前三箇月以内ニ株主トナリタル者

三、未成年者

四、破産ノ宣告ヲ受ケタル者

後編 各銀行ニ關スル諸規定



五、女子  
六、法人

第二十六條 株主總會ハ出席議決權ノ過半數ヲ以テ可否ヲ決ス可否同數ナルトキハ主席之ヲ決ス

第二十七條 左記各款ニ關シテハ公司條例第百九十九條ニ據リ處理スヘシ

一、定款ノ改正

二、株式ノ増減

三、解散及合併

四、積立金ノ停止及ヒ積立金ヲ他會社ノ株式ヲ以テナスコト

第二十八條 出席株式カ第二十三條及ヒ第二十七條ニ規定スル數ニ達セサルトキハ會議ノ狀況ヲ株主ニ通知シ一箇

月經過後臨時總會ヲ開キテ之ヲ再議スヘシ此場合ハ出席株式ノ多寡ニ拘ラス決議スルコトヲ得

第二十九條 株主總會ニ於ケル議決事項ハ決議録トシ主席及ヒ監察人之ニ署名スヘシ

第四章 董事及監察人

第三十條 本銀行ハ董事十一人監察人三人ヲ置キ株主總會ニ於テ五十株以上ノ株主ニシテ總會開會前三箇月ニ株主

トナリタルモノ、中ヨリ投票ニヨリ之ヲ擧ク

第三十一條 董事ノ任期ハ三箇年トシ任期滿了後投票ニヨリ舊董事三人ヲ互選シテ之ヲ留任セシム監察人ノ任期ハ

一年トシ再選セラレタルモノハ留任ス

第三十二條 董事ハ就任後被選資格タル株券ヲ監察人ヲ經テ本銀行ニ供託スヘシ

第三十三條 董事ハ十一人中ヨリ專務董事五人ヲ選舉シ總事務所ニ於テ本銀行各種事務ヲ執行セシム五人ノ中ヨ

リ一人ヲ互選シテ董事長ト爲ス

第三十四條 本銀行ノ對外行爲ハ董事長之ヲ代表ス

第三十五條 董事ノ執行スル事務及ヒ帳簿書類各種財産ハ監察人總事務所ニ常駐シテ之ヲ監察ス

第三十六條 董事ハ本銀行ノ他ノ職員ヲ兼スルコトヲ得ルモ監察人ハ本銀行董事及他ノ職員ヲ兼任スルコトヲ得ス

第三十七條 總事務所及總分支行ノ組織職員ノ名稱及ヒ員數ハ董事會ニ於テ之ヲ決ス

第三十八條 董事會ハ每週一回開會ス開會前總事務所ヨリ會議事項ヲ各董事及監察人ニ通告スヘシ

第三十九條 重要事項アル場合ハ總事務所ヨリ臨時董事會議ヲ召集スルコトヲ得

第四十條 會議ノ場合ハ董事長ヲ以テ主席トシ董事長事故アルトキハ董事中一人ヲ推シテ之ニ代ラシム

第四十一條 會議事項ハ董事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ主席之ヲ決ス

第四十二條 會議事項カ董事自身ニ及フトキハ該董事ハ會議ヨリ迴避スヘシ

第四十三條 本銀行各種事務以外ハ董事會ノ議決ヲ俟ツテ之ヲ實行ス

第四十四條 左記各款ノ事項ハ監察人ノ同意アリテ始メテ決議スルコトヲ得

後編 各銀行ニ關スル諸規定



- 一、董事長ノ推舉
  - 二、對外行爲
  - 三、重要職員ノ任免
  - 四、一口五萬元以上ノ信用貸付及ヒ十萬元以上ノ擔保貸付
  - 五、國家公債券以外ノ有價證券ノ買入
  - 六、董事ニ對スル擔保貸付
  - 七、營業上必要ナル不動産ノ買入
  - 八、株金ノ取立
  - 九、分支行ノ設立及ヒ閉鎖
- 第四十五條 會議事項ニ若シ章程ニ違反セル事項アリタルトキハ監察人ハ會議ノ中止ヲ勸告スヘシ董事之ヲ聽カスシテ決議ヲ爲ストキハ監察人ハ臨時株主總會ヲ開キテ之ヲ各株主ニ報告スルコトヲ得
- 第四十六條 前條ノ決議事項ハ臨時株主總會ノ後ニアラサレハ實行スルコトヲ得ス
- 第四十七條 董事會ニ於ケル決議事項ハ決議録トシ主席及ヒ監察人之ニ署名スヘシ
- 第四十八條 事務董事ハ日常各種事務及ヒ董事會ノ議決ニヨリ事務董事ニ其執行ヲ託セル事務ニ對シ全責任ヲ負フ
- 第四十九條 事務董事缺員ヲ生シタルトキハ他ノ董事ヨリ之ヲ補充ス他ノ董事及監察人カ三人ノ缺員ヲ生シタルト

キハ臨時株主總會ヲ開キテ之ヲ補充ス

第五十條 董事監察人ニ對スル諸費用ハ株主總會ニ於テ之ヲ定ム事務董事及ヒ監察人ノ俸給ハ董事會議ニ於テ之ヲ定ム董事カ本銀行ノ職員ヲ兼ネタル場合職員ニ對スル俸給ヲ支給セス

### 第五章 會 計

第五十一條 本銀行ハ每年上下二期ニ分チ決算ヲ行フ決算後總事務所ニ於テ左記ノ各書類ヲ作成シ監察人ノ監査ヲ經テ決算報告書ヲ作ルヘシ

上半期報告書ハ各株主ニ送附シ下半期報告書ハ決算後株主總會開會ノ際之ヲ提示スヘシ

- 一、財産目錄
- 二、貸借對照表
- 三、營業報告書
- 四、損益計算書

第五十二條 利益ハ各種支拂財產償却及ヒ特別積立ニ引當テ尙餘リアルトキハ之ヲ純利益金トシ二十等分シテ左ノ如ク分ツ

甲、其二十分ノ一ヲ法定積立金トシ其二十分ノ二ヲ損失填補積立金トシ其二十分ノ一ヲ利益平均配當積立金トシ其二十分ノ一ヲ職員慰勞積立金トス

後編 各銀行ニ關スル諸規定



乙、前項外ノ二十分ノ十五ノ中次期繰越金ヲ差引キ殘額ヲ四十等分シ其三十二ヲ株主利益配當トシ其一ヲ董事監察人ノ賞與金トシ其七ヲ總事務所及ヒ各職員ノ賞與金ト爲ス

第五十三條 本銀行ノ純利益ハ每年下半年期決算後株主總會ノ承認ヲ得テ分配ス

第五十四條 本銀行ハ決算後株主總會ノ承認ヲ經タル後財產目錄貸借對照表ヲ地方官廳ヲ經テ財政部ニ送リ其査閱ヲ受クヘシ且ツ其貸借對照表ハ總行ノ指定スル新聞紙ニ三日間公告スヘシ

第六章 附 則

第五十五條 以上各條ニ關シ必要ナル細則ハ總事務所ニ於テ制定ス

第五十六條 本章程ハ民國十三年二月十七日定期株主總會ノ議決ニヨリ修正施行ス

東三省官銀號現行章程

光緒三十一年當時ノ奉天將軍趙爾巽カ幣制統一ノ目的ヲ以テ奉天官銀號ヲ創設シ資本金滿平銀三十萬兩官統元年徐世昌カ東三省總督トナルニ及シテ現名ニ改稱シ東三省中央銀行ト爲ス且資本六十萬兩ニ增加其後資本一十萬元ニ增加民國十三年七月奉天興業東三省兩銀行ヲ合併シ新章程ヲ定ム現章程ハ民國十五年四月改訂セルモノ  
一等支店所在地上海  
二等支店所在地長春哈爾濱  
三等支店所在地天津錦縣開原營口安東公主嶺吉林大連  
四等支店四十五箇所

第一章 總 則

第一條 東三省官銀號ハ奉天省政府ノ官有營業ニシテ金融ヲ調整スルヲ以テ業務トシ資本金總額奉大洋二千萬元ト

ス

第二條 東三省官銀號ハ省政府ノ監督ヲ受ケ省政府ニ對シ公金整理ノ責ヲ有ス

第三條 東三省官銀號ハ省政府及ヒ金庫ノ委託ヲ受ケ金庫事務ノ代理並ニ省公債ノ募集償還代理ヲナス

第四條 東三省官銀號ハ總號ヲ奉天省城ニ設ケ其省内外ノ各重要ナル場所ニハ其情形ヲ斟酌シ一、二、三、四等ノ分號ヲ設置スルコトヲ得

第二章 營業範圍

第五條 東三省官銀號ノ業務ハ左ノ如シ

- 一、省内外ノ爲替
- 二、地金銀及ヒ各種貨幣ノ賣買
- 三、各種貸出
- 四、各種預金
- 五、倉庫金融
- 六、約束手形爲替手形割引
- 七、證券書類其他一切ノ貴重品保護預リ

第六條 東三省官銀號ハ第五條列記ノ各業務ノ外他ノ業務ヲ兼營スルコトヲ得ス但シ左記事由アル場合ハ此限り

後編 各銀行ニ關スル諸規定



ニアラス

一、債權者カ債務者ノ財産ヲ債務ノ抵當ト爲シ且ツ未タ債務辨濟ノタメニ之ヲ賣拂ハサルトキ其營業ヲ引續キ經營スルコトニ依リ巨額ノ缺損ヲ免ル、コトヲ得ル場合

但シ此種ノ營業ハ一時經營スルト雖モ至急買主ヲ求メテ賣拂フヘク之ヲ長期ノ兼營業トナスコトヲ得ス

二、地方或ハ奉天省ノ金融調節ノ必要ニ依リ官ノ命ヲ受ケテ經營スル場合

第七條 東三省官銀號ハ政府ノ認可ヲ經テ奉天省内ニ通用セシムル紙幣ヲ發行ス但シ毎月省政府ニ報告シ其審査ヲ受クヘシ

前項ノ紙幣發行ハ各種納稅並ニ公私ノ取引ニ總テ通用セシムルコトヲ得

### 第三章 組織及職掌

第八條 東三省官銀號ハ督辦一名ヲ置キ奉天財政廳長之ヲ兼任ス

第九條 東三省官銀號ハ總辦一名會辦三名ヲ置キ共ニ省政府之ヲ委任ス

第十條 總辦ハ號務ヲ總理シ外部ニ對シハテ銀號ヲ代表ス會辦ハ號務一切ヲ助理ス凡ソ業務上ノ施設人員ノ進退ハ總會辦ノ協議ニ依リ處理ス

第十一條 總號ニハ業務部及稽核文書ノ兩處ヲ置ク

第十二條 業務部ハ總經理一名ヲ置キ總會辦ノ命ヲ受ケ一切ノ號務ヲ處理ス

副經理ヲ置キ總會辦ノ命ヲ受ケ總經理ヲ輔佐シテ一切ノ號務ヲ處理セシム

第十三條 業務部ニ總務、營業、會計、審覈、發行、出納ノ六係ヲ置ク各係ニ係長一名ヲ置キ職務ヲ分掌セシム事務多忙ナル場合ハ副係長一名ヲ置クコトヲ得

第十四條 各處ノ一等分號ニハ經理一名副經理一名ヲ置キ總務、營業、出納、會計ノ四係ヲ置ク

二、三、四等ノ各分號ニハ經理或ハ主任一名ヲ置キ分號ノ業務ヲ處理シ總號ノ監督指揮ヲ受ク

第十五條 稽核處ニハ總稽核一名稽核員若干名ヲ置キ總分號一切ノ業務ヲ監督セシム事務多忙ナル場合ハ助員ヲ置クコトヲ得

第十六條 文書處ニハ總文書一名文書員若干名ヲ置キ總號一切ノ文書事務ヲ處理セシム事務多忙ナル場合ハ助員ヲ置クコトヲ得

第十七條 業務部及稽核文書ノ兩處並ニ分號等ノ職員ハ總テ總會辦之ヲ任用ス

### 第四章 利益分配

第十八條 毎年末一回決算ヲ行ヒ營業狀態ヲ省政府ニ報告スヘシ

第十九條 省政府ノ出資ニ對シテハ年六分ノ利息ヲ附シ純益金中ヨリ優先シテ之ヲ納付スヘシ

第二十條 毎年決算後純益ヨリ政府上納金特別積立金公益補助費ヲ差引キ其殘額ヲ十分シ内四割ハ積立金トシ五割ハ政府投資金ニ對スル利益配當金トナシ一割ハ獎勵金トシテ各從事員ニ分與ス且省政府ニ報告スルコトヲ要ス



公益補助費ハ省政府ノ命ニ依ルニアラサレハ擅ニ支出スルコトヲ得ス

第二十一條 本章程ニ必要ナル附屬細則ハ別ニ之ヲ定ム

第二十二條 本章程ハ省政府ノ認可ヲ經テ施行ス尙不備ノ點ハ隨時申請シテ訂正スルコトヲ得

### 東三省官銀號職務通則 民國十三年十月改訂

#### 第一節 總 則

第一條 本通則ハ東三省官銀號現行章程第二十一號ニ依據シテ之ヲ規定ス

第二條 總分號一切ノ事務ハ別ニ規定有ルモノヲ除ク外本通則ニ依リ處理ス

但シ總號發布ノ文書及ヒ命令モ亦須ク之ヲ遵守スヘシ

第三條 總號業務部各係事務繁多ナルトキハ正副係長ノ外ニ副係長一名ヲ添置スルコトヲ得

一、二、三、四各等分號事務繁多ナルトキハ經理副理主任ノ外副理襄理若クハ助理ヲ添置スルコトヲ得

第四條 總號稽核處事務繁多ナルトキハ總稽核ノ外副稽核一名若シクハ二名文書處事務繁多ナルトキハ總文書ノ外

副文書ヲ添置スルコトヲ得

第五條 凡ソ業務部ニ屬スル人員ハ本通則内ニ於テ總テ號商ト簡稱シ委任狀ヲ給スヘキ場合ニ於テ總號及一等分號

ノ總副經理ハ勿論總テ號ノ名義ヲ以テ之ヲ行フ

第六條 凡ソ稽核文書兩處ニ屬スル人員ハ本通則内ニ於テ總テ號員ト簡稱シ總會辦ヨリ之ヲ委任ス但シ兩處ノ助員

ハ委任狀ヲ用ヒサルコトヲ得

第七條 左記ノ資格アルモノハ委任狀ヲ與フルコトヲ得

一、各正副係長

二、各經理襄理主任助理

三、月俸賞與ヲ受クル資格アル者

第八條 號商ノ月俸二十五元以上ノ者ハ始メテ賞與ヲ受クルコトヲ得

第九條 凡ソ號商ノ任命進退ハ總號ノ職權ニ屬ス

第十條 凡ソ業務上ノ施設ニ付キテハ總號ニ在リテハ總會辦ヲ始メ總副經理正副係長共同シテ責ヲ負ヒ各分號ニ在

リテハ各主管者ニ於テ責ヲ負フハ勿論總テ號ノ指揮監督ヲ受ク

#### 第二節 號務會議

第十一條 總號ニ於テ重要事項ニ遭遇セル場合ハ總會辦ハ隨時號務會議ヲ召集スルコトヲ得此議ニ與ル號員號商ハ

左記ノ者ニ限ル

一、業務部ノ總副經理

二、稽核處ノ總副稽核

後編 各銀行ニ關スル諸規定



三、文書處ノ總副文書

但シ主管係長ニ付諮詢ノ要アルトキハ該係長モ亦議ニ與ルコトヲ得

第十二條 會議ノ場合ハ總辦ヲ以テ主席ト爲シ總辦缺席ノ場合ハ會辦之ヲ代理ス

第十三條 凡ソ會議ヲ行ハントスル事件ハ總會辦ヨリ豫メ協議スル一方各部處ニ於テモ全號事務ニ對シ改革發展ノ意見ヲ有スルモノ、爲ニ均シク隨時提議シ得ヘキコトヲ認ム

第十四條 會議ノ決定事項ハ隨時概略ノ調書ヲ作成シ總會辦ノ校閱ヲ經タル後主管部處ニ渡シテ實行ス

第三節 組織及職掌

第十五條 業務部ハ現行章程ニ照シ總務營業發行出納審覈會計ノ六係ヲ設ケ稽核文書ノ兩處モ亦事務ノ便宜上係ヲ分ツコトヲ得

第十六條 庫金ノ出納及物品ノ保管ニ關シテハ總テ司庫ニ於テ出納係ト共同シテ之ヲ處理シ發行係ニ於テ所用アリ開庫スル際ハ司庫ヨリ發行係ト共ニ其責ニ任ス

第十七條 計畫調査(籌調)事項ニ關シテハ籌調課ヲ設クルコトヲ得業務部ノ營業係ニ類屬ス

第十八條 金庫省庫ヲ處理スル事柄ニ關シテハ代辦處ヲ設ケ委任サレタル專員主トシテ之ニ任ス

第十九條 業務部ノ職掌左ノ如シ

一、現行章程第五條ノ營業事項

二、營業上ノ文書及電報ノ收發及ヒ器具ノ保管事項

三、號商ノ請假及賞罰ノ記錄並ニ其進退指揮使役ノ事項

四、業務ノ施設及計畫調査準備ノ事項

五、會計表簿ノ記入及其決算ノ編成事項

六、紙幣發行及保管並ニ準備金ノ分配事項

七、業務上ノ收入並ニ在庫ノ現金紙幣及貴重品ノ保管事項

八、一切ノ審査及各處ニ屬セサル事項

前項金員ニ關スル規定ノ職掌ハ各分號ニ之ヲ準用ス

第二十條 稽核處ノ職掌左ノ如シ

一、金融狀況ノ調査及總分號業務ノ檢查事項

二、業務部ノ計畫ヲ協助シ營業ヲ擴張スル事項

三、全號豫算及ヒ各種統計表ノ檢查事項

四、各種調査及營業報告書ノ編輯事項

五、總會辦ノ檢查及各部處ニ屬セサル事項

第二十一條 文書處ノ職掌左ノ如シ

後編 各銀行ニ關スル諸規定



- 一、號務計畫及成績ノ上申事項
- 二、對外公文書及電報ノ起案事項
- 三、印鑑ノ捺用及保管事項
- 四、文書ノ收發及案文書ノ保管事項
- 五、取消ノ上申事項
- 六、編纂及登記記錄ノ事項
- 七、起案及各種規則ノ審査事項
- 八、報告書ノ審査事項
- 九、號員ノ請假及賞與ノ記載事項
- 十、總會辦ノ處理ニ屬セサル事項

第四節 服務及請假

- 第二十二條 總分號ノ營業時間ハ春夏秋冬三季間ハ毎日午前九時ヨリ午後三時マデ冬季ハ毎日午後三時マデトス號員號商ノ服務時間ハ規定營業時間ノ前後約一時間ヲ加ヘテ終始ス若シ内部ニ事件未了ノモノアル場合ハ此服務時間ノ前後ニ拘ラス執務スヘシ但シ特別ノ事情アル分號ハ慣習ニヨリ處理スルコトヲ得
- 第二十三條 各處各係各課ハ總テ出勤簿ヲ作り號員號商ハ出勤ノ際自カラ署名スヘシ

第二十四條 服務時間中公務以外ノ訪問客ト接見スルヲ許サス

第二十五條 毎日事務終了後號内ニ宿泊スルモノ所用アリテ外出スル場合ハ主管人ニ事情ヲ陳ヘ其際之ヲ請假簿内ニ記入ノ上出門證ヲ受取り歸號ノ時返還スヘシ

但シ夜間ノ歸號ハ午後十一時限リトス

第二十六條 前條ノ規定ハ日曜祭日共ニ之ヲ適用ス

第二十七條 日曜祭日ハ各部處係課ニ於ケル號員號商總テ交代ニ當直スヘシ

第二十八條 總分號ニ於ケル號員號商ノ休暇ヲ分チテ左ノ三種トス

- 一、事故及病氣ニヨル休暇(事病假)
- 二、結婚及服喪ニヨル休暇(婚喪假)
- 三、定規休暇(例假)

第二十九條 號員號商ノ事故病缺ハ毎年七日ヲ越ユルコトヲ得スモシ一日ヲ越ユルモノハ將來ノ定規休暇二日ヲ控除ス

第三十條 一年中事故病缺セサルモノト雖モ次年ニ互リテ之ヲ計算スルコトヲ得ス若シ一年ノ事故病缺六十日ニ及ヒタルモノハ將來二年ノ定規休暇ヲ給セス

第三十一條 特別ノ事情ニヨリ病缺シテ期限ヲ越ユルモノアル場合各主管人ヨリ申請書ヲ以テ總會辦ノ許可ヲ得定



規休假ノ控除ヲ免除スルコトヲ得

第三十二條 號員號商ニシテ冠婚葬祭ノ事故ニ遭遇セル場合ハ二十一日間請暇スルコトヲ得此期日ヲ越ヘタル日數ハ事故ヲ以テ論ス

第三十三條 號員號商ノ勤務滿一年以上ニ及ヒタルモノハ定規休假六十日ヲ給スルコトヲ得期日ヲ越ヘタルモノハ事故ヲ以テ論ス

第三十四條 定規休假ニハ旅費ヲ給セス特別ノ事情アルモノハ出張ヲ以テ論スルコトヲ得

第三十五條 總號ノ號員號商ハ請暇ノトキ規定ノ請暇證書ヲ主管人ニ差出シ總會辦又ハ總副經理ノ許可ヲ得タル後離號スルコトヲ許ス

第三十六條 請暇證書ハ二通ヲ作り一通ヲ處係ニ存置ス

第三十七條 各分號ノ號員號商ハ規定ノ請暇證書二通ヲ主管人ニ差出シ總會辦ヨリ許可ト同時ニ一通ヲ返還サレタル後離號スヘシ

第三十八條 返還サレタル一通ハ分號ニ存置ス

第三十九條 文書處及業務部ノ總務係ハ各請暇簿一冊ヲ備フヘシ號員ノ請暇證書ハ總會辦ノ許可ヲ經タル後文書處ニ交附シテ請暇簿ニ記入ス號商ノ請暇願書及請暇報告書ハ總會辦又ハ總副經理ノ決裁後總務係ニ交付シテ請暇簿ニ記入ス

第四十條 號員號商ニシテ請暇一日ニ滿タサルモノハ其事務ヲ自ラ他ニ委託シ滿一日以上ノモノハ主管人ヨリ代理者ヲ指定シ事務引繼ノ後ニ非レハ離號スルコトヲ得ス

第四十一條 請暇ノ期限後已ムヲ得スシテ續暇スル時モ尙請暇手續ニ照シテ處理スヘシ

第四十二條 定規休假ハ日曜祭日ヲ含ム本地ニ在ラサル號員號商ノ日程モ亦同シ

### 第五節 戒約及懲獎

第四十三條 號員號商ハ左ノ戒約ヲ遵守スヘシ

- 一、任地ニ於テ自ラ他業ヲ兼營スルコトヲ得ス
- 二、總會辦ノ許可ナクシテ兼務スルコトヲ得ス
- 三、號務ノ機密及顧客ト本號トノ取引上ノ秘密ヲ漏洩スルコトヲ得ス
- 四、本號ヨリ若クハ本號ト取引先ノ銀行商店ヨリ無利ノ金員ヲ借用スルコトヲ得ス
- 五、他人名義又ハ別ニ店舗ノ名ヲ假リ本號ト私ニ取引シ又ハ他人ノタメ保證ヲ爲シ本號ヨリ貸付クルコトヲ得ス
- 六、本號ノ名義ヲ用ヒ外部ニ對シ私事ヲ辨スルコトヲ得ス
- 七、酒ニ泥酔シ阿片ヲ吸飲シ遊女ヲ買ヒ賭博ヲ爲ス等一切不規律ノ行爲アルヲ許サス
- 八、私ヲ營ミ弊害ヲ生シ瀆職等ノコトアルヲ許サス

第四十四條 懲罰ノ種類左ノ如シ

後編 各銀行ニ關スル諸規定



一、記過

二、罰俸

三、減俸

四、免職

五、免職及賠償命令

第四十五條 懲罰ノ標準左ノ如シ

一、戒約第一、二、三、四、五、六各號ノ規定ニ違反シタル場合ハ罪ノ輕重ヲ酌量シ前條一、二、三各號ノ懲罰ニ處ス

二、戒約第三、七、八各號ノ規定ニ違反シタル場合ハ罪ノ輕重ヲ酌量シ前條第四、五兩號ノ懲罰ニ處ス

第四十六條 戒約ニ違反スル件ナクトモ曠職怠惰若シクハ夜間外出シテ門限内ニ歸還セサル事實ニ對シテハ罪ノ輕重ヲ酌量シ第一、二、三各號ノ懲罰ニ處スルコトヲ得

第四十七號 第一ノ懲罰ヲ受クルコト三回ニ至ルモノハ第四號ノ懲罰ニ處ス

第四十八號 號員號商ニシテ刑事處分又ハ破産宣告ヲ受ケタルモノアル場合ハ懲罰第四號ヲ採用シテ之ニ處ス

第四十九號 號員號商ニシテ若シ第五號ノ懲罰ヲ受クルモ賠償ノ力ナキトキハ保證人其責ニ任シ併テ歷年ノ賞與金ヲ返還セシム

第五十條 獎勵ノ種類左ノ如シ

一、記功

二、加俸

三、進級

第五十一條 號員號商ニシテ勤務半ケ年ヲ經過シ未タ戒約各號ノ規定ニ違反セス勤勞見ルヘキモノアル際ハ記功一回ヲ與フルコトヲ得

第五十二條 記功二回以上又ハ職務確實ニシテ成績顯著ナルモノハ加俸スルコトヲ得

第五十三條 加俸三回以上又ハ特別ノ才能アリ號務ニ對シ直接間接ノ利益ヲ與ヘタルコト顯著ナルモノハ加俸スルハ固ヨリ又進級セシムルコトヲ得

第五十四條 號員號商ノ懲獎ニ關シテハ總テ主管人ヨリ隨時總會辦若クハ總副經理ニ申請シテ之ヲ決定シ文書處總務係ニ於テ記録ス

第五十五條 主管人ニ於テ懲獎ヲ蒙ルヘキ號員號商ヲ隱蔽セルトキハ稽核處之ヲ摘發シ又主管人ハ第四十四條第一二、三各號ノ懲罰ニ處ス

此種ノ懲罰二回ヲ蒙ル者ハ第四十四條第四號ノ懲罰ニ處ス

第六節 身分及保證

後編 各銀行ニ關スル諸規定



第五十六條 號員號商ハ入號ノ始メ自己ノ身分各種ニ付履歷書ヲ認メ又信用アル商店ノ保證ヲ得主管人査閲ノ後再ヒ保證書ヲ認メ文書處又ハ總務係ニ送ツテ存置ス

右商店ハ號内三人以上ノ保證ヲ爲スコトヲ得ス

第五十七條 現金ヲ手ニ觸レサル號員ニシテ若シ相當ナル商店ノ保證人無キ場合ハ資望アル個人ノ保證ヲ以テ之ニ更ルコトヲ得

第五十八條 各分號ニ於テ記サレタル履歷書及保證書ハ各々正副二通ヲ備ヘ決裁ノ後正本ヲ總號ニ送り副本ヲ分號ニ存置ス

第七節 俸給及旅費

第五十九條 號員號商ノ俸給ハ就職ノ日ヨリ起算シ總テ毎月十六日之ヲ支給シ前渡シスルコトヲ得ス

第六十條 號員號商ニシテ當月ノ俸給支拂ノ後自ラ辭職シ又ハ第四十四條第四、五各號ノ懲罰ニ處セラレタルトキハ既ニ支給セル俸給ヲ計算シテ本人ヨリ返還セシム其第二、三各號ノ懲罰ニ處セラレタルモノハ翌月ノ俸給ヨリ

控除ス

第六十一條 總號ノ總副經理正副係長主任及稽核文書兩處ノ人員又ハ各分號ノ經副理襄理主任助理ノ俸給ハ總テ總會辦ニ於テ之ヲ査定ス

第六十二條 總分號係員助員及練習生ノ俸給ハ總テ各主管人ヨリ適當ニ申請シテ總會辦之ヲ査定ス

第六十三條 第五十條加俸進級ノ獎勵規定ハ總會辦ヨリ特許サル、モノヲ除ク外總テ毎年一、七兩月ニ於テ之ヲ行

フ

第六十四條 號員號商ニシテ公務上出張スル際ハ旅費ヲ給ス

第六十五條 旅費ハ出發ノ日ヨリ歸號ノ日ニ至リ毎日計算ス但シ途中私用ニヨリ遷延セルモノニ付テハ支給セス

第六十六條 旅費ハ分ツテ船車費日用費郵電費ノ三種トス

第六十七條 總號ノ總副經理總副稽核總副文書及一等分號經副理ハ總テ一等船車費ヲ支給スルコトヲ得若シ交通不便ニシテ車馬賃ヲ要シタルモノハ總テ實費ニ依ル日用費郵電費モ亦同シ

第六十八條 公務ニ依リ出張スル號員號商ハ出發前概算書ヲ業務部又ハ稽核處ニ提出シ審査係ニ轉送シテ査閲シ總會辦又ハ總副經理決裁ノ後旅費ヲ支給ス用務終了歸號ノ上ハ旅費明細表ヲ作り領取證ヲ添ヘテ業務部又ハ稽核處ヨリ審核係ニ渡シテ始末ス

審核係カ右書類ヲ處理スルトキ稽核處ハ處印ヲ押シテ共同ノ責ニ任ス

第六十九條 號員號商ノ内外移轉ニ要スル旅費ハ右ニ依リ之ヲ支給ス

第八節 附 則

第七十條 各處及各係課ノ執務細則ハ各處各係課ニテ自ラ之ヲ作り文書處ニ送ツテ審査ノ後總會辦ノ認可ヲ經テ之ヲ施行ス右細則ハ現行章程及本通則ト抵觸スルコトヲ得ス



- 第七十一條 凡ソ備ヘ置クヘキ請暇願請暇報告請暇記錄簿懲獎記錄簿履歷書保證書ノ様式ハ總テ別ニ之ヲ定ム
- 第七十二條 本通則ニ未タ盡サ、ル事柄アラハ訂正増補スルコトヲ得
- 第七十三條 本通則ハ奉天省長公署認可ノ日ヨリ施行ス

(關東廳財務部編東三省官銀號論所載)

### 浙江實業銀行章程

宣統元年浙江官銀局ヲ改組シ浙江省銀行トシテ開業官民合同經營ニシテ  
資本百萬元ノ中六十萬元ハ官ノ出資四十萬元ハ民間出資民國四年六月浙  
江地方實業銀行ト改稱更ニ民國十一年浙江地方銀行及浙江實業銀行ノ兩  
行ニ分立ス前者ハ官營後者ハ民營トス本店上海支行及浙江實業銀行ノ兩  
本章程ハ民國十七年三月四日定期株主總會ニ於テ修正

#### 第一章 總 綱

- 第一條 本銀行ハ公司條例ニ依リ株式有限會社トシ浙江實業銀行株式有限會社ト稱ス
- 第二條 本銀行ハ銀行通行則例公司條例ニ依リ辦理ス
- 第三條 本銀行ノ營業ノ範圍左ノ如シ
  - 一、各種預金
  - 二、各種貸付
  - 三、各種爲替及荷爲替
  - 四、手形割引及買入

- 五、國家銀行其他各銀行ト特約セル事項
- 六、有價證券ノ賣買或ハ代理賣買
- 七、地金銀ノ賣買或ハ代理賣買
- 八、代理取立
- 九、證券證書及貴重品ノ保管
- 第四條 本銀行ハ資本金ノ一部ヲ支出シテ儲蓄處ヲ附設シ儲蓄ヲ取扱フ其章程ハ別ニ定ム
- 第五條 本銀行ハ左ノ事項ヲ禁止ス
  - 一、無擔保ニヨル個人貸付及貸越
  - 二、期限一年以上ニ互ル貸付
  - 三、營業上必要ニアラサル不動産ノ購入或ハ擔保ト爲スコト
  - 四、本銀行株券ノ購入或ハ其ヲ擔保トスルコト
  - 五、本銀行ノ名義ヲ以テ他人ノ擔保ヲ爲スコト

- 第六條 前條第一款第二款ハ已ムヲ得サル場合ニ限り董事會ノ同意ヲ經テ變更處理スルコトヲ得
- 第七條 本銀行ノ貸付ニ對シ債務者及其保證人カ償還ノ能力ヲ失ヒ又ハ相當ノ擔保物件無キニ至リタルトキハ其不  
動產或ハ本銀行ノ株券ヲ以テ債務ノ辨濟ニ充ツルコトヲ得

後編 各銀行ニ關スル諸規定



但シ該不動産或ハ株券ハ直チニ買却スルコトヲ要ス

第八條 本銀行ハ總管理處ヲ上海ニ設ケ之ヲ總行ト爲ス其他董事會ノ議決ニ依リ分行及ヒ附屬ノ各行ノ營業機關ヲ設置ス

第九條 本銀行ノ設置セル各分行ハ業務ノ繁簡ニ依リ一、二、三、四ノ四等ニ分ツ

第十條 本銀行ハ書信及新聞紙ヲ以テ公告ヲ爲ス

第十一條 本銀行ノ營業年限ハ三十年トス期限滿了後繼續スルヤ否ヤハ株主總會ニ於テ決ス

第二章 株 式

第十二條 本銀行ノ資本額ヲ銀二百萬元トシ一株ノ金額百圓ニ萬株ニ分ツ

第十三條 本銀行ハ株主總會ノ議決ヲ經テ資本ノ增加ヲ行フコトヲ得

第十四條 本銀行ノ株券ハ記名式トシ公司條例第二百二十九條ニ依リ處理ス

第十五條 本銀行ノ株主ハ中華民國人ニ限ル

第十六條 法人或ハ團體カ本銀行ノ株主タル場合ハ代表者一人ヲ推シ株主ノ權利ヲ行使セシムヘシ

第十七條 株式カ二人以上ニヨリ共有サル、場合ハ一人ノ名義ヲ以テ株主トス

第十八條 株主カ屋號別名ヲ以テ表サレタル場合ハ其實際ノ姓名ヲ本銀行ニ届出ツヘシ

第十九條 株券ノ讓渡名義書換分轄合併遺失汚損等ニ關スル手續ハ別ニ規則ヲ以テ定ム

第三章 株主總會

第二十條 本銀行ノ株主總會ハ定期總會及臨時總會ノ二種トス

第二十一條 定期總會ハ毎年一回ノ決算後董事會之ヲ召集ス

第二十二條 臨時總會ハ董事或ハ監察人或ハ資本總額ノ二十分ノ一以上ノ株主カ重要事項アリト認メ且ツ定期總會ノ開會ヲ待ツコト能ハサルトキ董事會ニ其召集ヲ要求シテ之ヲ開クコトヲ得

株主カ前項ノ要求ヲ爲ストキハ提議事項及其理由ヲ總管理處ニ申出ツヘシ

第二十三條 定期總會ハ開會一箇月前ニ各株主ニ通告スルコトヲ要シ臨時總會ハ十五日前ニ各株主ニ通告スルコトヲ要ス且ツ新聞紙ニ其旨公告スヘシ

通告ニ際シ議題ヲモ通知スヘシ

第二十四條 株主ハ通告書ニ記載セル議題以外ニ提議スヘキ事項アル場合ハ十人以上ノ贊同ヲ得開會五日前其事由ヲ具シテ總管理處ニ申出議題ト爲スコトヲ得

第二十五條 株主總會ハ董事長ヲ以テ議長ト爲ス董事長事故アルトキハ董事ノ中一人ヲシテ之ニ代ラシム

第二十六條 株主ハ一株ニツキ一議決權及選舉權ヲ有ス但シ十一株以上ハ二株ニツキ一權利トス

第二十七條 株主カ事故ノタメ總會ニ出席シ能ハサルトキハ他ノ株主ニ代理ヲ委託スルコトヲ得但シ被代理人ノ議決權數及ヒ選舉權數ハ代理人自身ニ有スル權數ト合算ス



第二十八條 代理ヲ委託セントスルモノハ委託書ヲ開會三日前ニ總管理處ニ送付スヘシ

第二十九條 株主總會ニ於ケル議事カ株主個人ニ關スルトキハ該株主ハ議決權ヲ有セス

第三十條 株主總會ハ本銀行株式總額ノ二分ノ一以上ノ株主出席シテ始メテ決議ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 左記各項ハ本銀行株式總額ノ四分ノ三以上ニシテ且ツ株主總數ノ二分ノ一以上ノ株主ノ出席アルニアラサレハ決議ヲ行フコト能ハス

一、本章程ノ改正

二、資本ノ増減

三、解散及合併

第三十二條 出席株主ノ株式額カ前二條規定ノ數ニ達セサルトキハ會議ノ情況ヲ各株主ニ通告シ一箇月經過後更ニ臨時總會ヲ召集シ再議ス此場合ニ於ケル株式總額ハ前二條ノ制限ヲ受ケス

第三十三條 株主總會ニ於ケル決議ハ出席株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナル場合ハ議長之ヲ決ス

第三十四條 株主總會ニ於ケル議決事項ハ決議録ト爲シ議長及監察人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

#### 第四章 董事及監察人

第三十五條 本銀行ハ董事十三人監察人五人ヲ置キ株主總會ニ於テ五十株以上ノ株主ヨリ記名單記ノ方法ニヨリ之ヲ選舉シ得票多キモノヲ以テ當選トス

第三十六條 董事ノ任期ハ三年トシ任期滿了後ハ舊董事三人ヲ選ヒテ之ヲ留任セシム

監察人ノ任期ハ一年トシ再選セラレタルトキハ留任ス

第三十七條 董事ハ十三人ノ中五人ヲ互選シテ駐行董事ト爲シ又駐行董事五人ノ中一人ヲ互選シテ董事長ト爲ス

第三十八條 駐行董事ニ缺員ヲ生シタル場合ハ他ノ董事ヨリ補缺選舉ス他ノ董事四人ノ缺員ヲ生シ或ハ監察人三人ノ缺員ヲ生シタルトキハ臨時株主總會ヲ召集シテ之ヲ補缺選舉ス

補缺選舉ニ於テ當選セルモノ、任期ハ前任者ノ任期ヲ繼續ス

第三十九條 董事會ハ議スヘキ事項アルトキハ隨時召集ス總管理處ヨリ議スヘキ事項ヲ各董事ニ通告ス

第四十條 董事會議ハ董事長ヲ以テ議長ト爲ス董事長事故アルトキハ董事ノ一人ヲシテ之ニ代ラシム

第四十一條 董事會ノ議スヘキ事項左ノ如シ

一、各種規則

二、支出豫算

三、營業決算

四、株主總會ノ召集

五、株主總會ニ提出スヘキ議案

六、總經理經理副經理襄理四等分行主任ノ任免

後編 各銀行ニ關スル諸規定



七、各分行ノ設立撤廢及移轉

八、營業上必要ノ不動産ノ賣買

九、其他必要事項

第四十二條 董事會ノ決議ハ董事過半数ノ出席アリ且ツ出席董事ノ過半数ノ同意ニ依リ決ス可否同數ナル場合ハ議長之ヲ決ス

第四十三條 董事事故ノタメ出席シ能ハサルトキハ他ノ董事ニ代理ヲ委託スルコトヲ得

第四十四條 董事會ニ於ケル議事カ董事個人ニ及フトキハ該董事ハ迴避スヘシ

第四十五條 董事會ニ於ケル議決事項ハ決議録ト爲シ議長及各董事署名捺印スヘシ

第四十六條 駐行董事ハ常ニ總管理處ニ駐在シテ各種事務ヲ執行スヘシ

第四十七條 董事長ハ外部ニ對シ本行ヲ代表ス

第四十八條 監察人ハ駐行董事及職員ノ執ル事務ヲ監察シ且ツ各種帳簿及財産ヲ検査ス

第四十九條 監察人ハ董事會ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ採決ニ加ハルコトヲ得ス

第五十條 監察人ハ本銀行ノ董事或ハ其他職員ヲ兼任スルコトヲ得ス

### 第五章 行 員

第五十一條 總管理處ニ總經理一人ヲ置キ駐行董事ト協議シテ全行ノ事務ヲ管理セシム

第五十二條 各分行ニ經理一人副經理若干人ヲ置ク事務繁盛ナルトキハ襄理ヲ置キ事務單簡ナルトキハ副經理ヲ置カサルコトヲ得四等分行ニハ主任一人ヲ置ク

第五十三條 經理及四等分行主任ハ各分行ノ各種事務ヲ主持シ且ツ各行員ヲ指揮監督シテ事務ヲ處理セシム

第五十四條 副經理及ヒ襄理ハ經理ヲ助ケテ各種事務ヲ處理シ經理事故アルトキハ之ヲ代理ス副經理二人以上アルトキハ總管理處或ハ經理ハ其一人ヲ指定ス

第五十五條 前四條以外ノ各行員ノ任免其他ニツキテハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

### 第六章 決算及報告

第五十六條 本銀行ハ毎年二回決算ヲ行フ六月末半期決算ヲ行ヒ年末ニ全期決算ヲ行フ

第五十七條 各分行ハ決算毎ニ資金ニ對スル利息ヲ差引キ殘餘ノ利益ヨリ總管理處ノ定ムル割合ニヨリ財産償却金ヲ控除シ次ニ各經費ヲ支出スヘシ尙殘額アルトキハ之ヲ二分シ一ハ該分行員ノ慰勞金ト爲シ他ハ之ヲ總管理處ニ交付スヘシ

第五十八條 總管理處ハ總決算ヲ行ヒ剩餘アルトキハ其ノ二十分ノ一以上ヲ法定積立金ト爲シ殘額ノ二十分ノ三以上ヲ豫備積立金ト爲ス更ニ殘額ノ百分ノ六ヲ董事監察人ノ慰勞金ト爲シ其他ヲ株主配當金トシ或ハ次期繰越金ト爲ス

總經理及總管理處行員ノ慰勞金ハ上海分行ヲ標準トシ先ニ殘額ヨリ支給ス







- 二、爲替業務及ヒ約束手形ノ發行
- 三、地金銀及ヒ各國貨幣ノ賣買
- 四、各種預金ノ取扱並ニ證券手形契約書及ヒ其他貴重物品ノ代理保管
- 五、金銀貨及地金銀ヲ擔保トスル貸付
- 六、各種勘定ノ代理受領及ヒ送達
- 七、國民政府財政部ノ發行又ハ保證セル證券ヲ擔保トスル期限付又ハ無期限ノ貸付但シ其金額及ヒ利率ハ理事會ノ議定ヲ必要トス

第八條 中央銀行ハ投機ノ性質ヲ有スル營業及左ニ掲クル各項ノ業務ヲナスコトヲ得ス

一、不動産ノ購入又ハ不動産擔保貸付但シ業務上必要ノ不動産ハ此限ニアラス

二、各種會社ノ株券又ハ社債券ノ購入又ハ引受

三、商品擔保貸付

四、各種商工業ノ直接又ハ間接經營

五、無擔保又ハ市價ナキ物品ヲ擔保トスル貸付及ヒ當座貸越

第九條 中央銀行ニ理事會ヲ設ケ國民政府ヨリ理事九人ヲ任命シテ之ヲ組織ス九人ノ中實業界商界銀行界ヲ代表スルモノ各一人ヲ舉ケ任期ハ均シク三年ト爲シ任期滿了後重任ヲ命スルコトヲ得理事會ハ常務理事五人ヲ置キ國民

政府理事中ヨリ之ヲ指定ス常務理事ハ在職期間中他ノ職務ヲ兼任スルコトヲ得ス

前項理事ノ數及選任方法ハ株式公募ノ後別ニ定ム

第十條 中央銀行ニ總裁一人ヲ置キ國民政府之ヲ簡任シ任期ハ均シク三年トス任期滿了後重任ヲ命スルコトヲ得

總裁副總裁ハ常務理事中ヨリ之ヲ選選ス

第十一條 總裁ハ全行事務ヲ總理シ副總裁ハ總裁ヲ輔佐シテ全行ノ事務ヲ處理ス總裁ハ理事會ノ主席トナリ總裁缺

席スルトキハ副總裁ヲ以テ之ニ代フ

第十二條 中央銀行ニ監事會ヲ設ケ國民政府監事七人ヲ任命シテ之ヲ組織ス

七人ノ中實業界商界銀行界ヲ代表スル者各二人國民政府審計機關ヲ代表スルモノ一人ヲ舉ク

監事ノ任期ハ審計機關代表ヲ國民政府ヨリ隨時任命スル外其他ノ六人ハ均シク二年トシ毎年國民政府ニ於テ各界

代表者中一人ヲ交迭ス但シ第一回ニ任命セラレタル監事ノ任期ヲ一年トシ國民政府之ヲ指定ス

監事會ノ主席ハ監事ノ互選トス

第九條第二項ノ規定ハ之ヲ本條ニ準用ス

第十三條 中央銀行ニ業務發行ノ二局ヲ置キ營業發行ノ事務ヲ分掌ス業務局ニ總經理一人ヲ置キ發行局ニ總發行一人ヲ置キ均シク總裁ノ申請ニヨリ國民政府之ヲ簡任ス

第十四條 左ニ掲クル事項ハ理事會ニ於テ議決シ總裁ニ交付シテ之ヲ執行セシム

後編 各銀行ニ關スル諸規定



- 一、業務方針ノ審定
- 二、發行額ノ審定
- 三、回收準備ノ規則
- 四、各種規則ノ制定
- 五、分店支店ノ設立及ヒ廢止
- 六、資本ノ増加
- 七、其他總裁ヨリ議決ヲ求メタル事項

第十五條 監事會ノ職務左ノ如シ

- 一、全行帳簿ノ検査
- 二、準備金ノ検査
- 三、豫算決算ノ検査

第十六條 中央銀行ハ毎年十二月末ヲ以テ總決算期トナシ左ニ掲クル表冊ヲ作成シ理事會ノ査定ヲ經テ國民政府ニ

呈報スヘシ

- 一、財産目錄
- 二、資産負債表

- 三、營業報告書
- 四、損益計算書
- 五、利益分配表

第十七條 中央銀行ハ毎年純益ノ中ヨリ百分ノ五十以上ヲ控除シテ本行ノ積立金ト爲スヘシ

第十八條 本條例ハ理事會ノ議決ヲ經テ總裁ヨリ國民政府ノ査定ヲ申請シ之ヲ修正スルコトヲ得

第十九條 中央銀行ハ本條例ニヨリ定款ヲ定メ國民政府ノ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ定款ハ國民政府ニ申請シテ之ヲ改正スルコトヲ得

第二十條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(滿鐵調査課國民政府ノ產業政策所載)

### 中央銀行章程 民國十七年十月二十五日國民政府認可

#### 第一章 總 則

第一條 中央銀行ハ國家銀行トシ國民政府ニ於テ之ヲ設置經營ス

第二條 中央銀行ハ上海ニ設置ス中央銀行ハ各地ニ分行ヲ設立シ或ハ其他銀行ト代理契約或ハ爲替契約ヲ締結スルコトヲ得本行ト代理契約或ハ爲替契約ヲ締結シタル銀行ハ本行ノ代理處トス

後編 各銀行ニ關スル諸規定



- 第三條 中央銀行分支行ノ設立廢止或ハ移轉ハ理事會ノ議決ヲ經總裁ヨリ國民政府ニ届出スヘシ
- 第四條 中央銀行ノ營業年限ハ中央銀行條例第四條ノ規定ニ依リ開業ノ日ヨリ起算シ三十箇年トス期限滿了ノ後ハ國民政府ノ認可ヲ得テ之ヲ延長スルコトヲ得

第二章 資本

- 第五條 中央銀行ノ資本總額ヲ國幣二千萬元ト爲シ國庫ヨリ一時ニ之ヲ支出シテ營業ヲ開始ス
- 第六條 中央銀行ハ業務上必要アリテ資本ヲ増加スル場合ハ理事會ノ議決ヲ經監事會ノ同意ヲ得總裁ヨリ國民政府ニ申請シテ之ヲ爲ス民間株ハ資本總額ノ百分ノ四十九ヲ越ユルコトヲ得ス

第三章 營業及ヒ特權

- 第七條 中央銀行ハ左記各種業務ヲ爲スコトヲ得
- 一、國庫證券及ヒ確實ナル商業手形ノ賣買割引或ハ再割引
  - 二、爲替ノ取扱及ヒ約束手形ノ發行
  - 三、地金銀及ヒ各國貨幣ノ賣買
  - 四、各種預金並ニ證券證書契約書其他貴重品ノ代理保管
  - 五、金銀貨及ヒ地金銀ヲ擔保トスル貸付
  - 六、各種金錢ノ代理取立

七、國民政府財政部ノ發行或ハ保證セル證券ヲ擔保トスル當座或ハ定期ノ貸付

但シ其金額及ヒ利率ハ理事會ノ議定ニ依ル

第八條 中央銀行ハ中央銀行條例第五條第一項ノ規定ニ依リ國民政府ヨリ兌換券發行ノ特權ヲ附與セラル中央銀行發行兌換券ハ國民政府ノ發布セル兌換券條例ヲ遵守スヘク該條例發布以前ニアリテハ國民政府ノ認可セル中央銀行兌換券章程ニ依ル

第九條 中央銀行ハ國民政府ト協力シ弊制ヲ統一シ金融ヲ調節スル責ヲ有ス中央銀行條例第五條第二項ノ規定ニ依リ國幣ノ發行鑄造ノ特權ヲ附與サル

第十條 中央銀行ハ中央銀行條例第五條第三項第四項ノ規定ニ依リ國庫ヲ經理シ及國內外公債ノ募集取扱ヲ爲スコトヲ得

第十一條 中央銀行ハ第九條第十條ノ事務ヲ取扱フニ際シ依ルヘキ法令明文ナキトキハ國民政府ノ指圖ヲ請フヘシ

第十二條 中央銀行ハ投機ノ性質ヲ有スル營業及ヒ左記各事務ヲ爲スコトヲ得ス

- 一、不動産ヲ購入シ或ハ不動産ヲ貸付ノ擔保トナスコト但業務上必要アル不動産ハ此限ニアラス
- 二、各種會社ノ株券或ハ債券ヲ購入シ或ハ之ヲ擔保トシテ受入ル、コト
- 三、各種貨物ヲ貸付ノ擔保ト爲スコト
- 四、商工業ノ直接或ハ間接經營



五、無擔保或ハ市價ナキ擔保品ニヨル貸付及貸越

第四章 組織

第十三條 中央銀行ハ國民政府ヨリ理事九人ヲ特派シテ理事會ヲ組織ス九人ノ中實業界商界銀行界ヲ代表スルモノ各一人ヲ有スヘシ任期ハ總テ三年トシ任期滿了後留任スルコトヲ得

理事會ニ常務理事五人ヲ置キ國民政府ノ指定ニ依ル常務理事ハ在職期間内ハ其他銀行ノ職務ヲ兼任スルコトヲ得ス

前項理事ノ定員及選出方法ハ民間株式募集後國民政府ニ申請シテ別ニ之ヲ定ム

第十四條 中央銀行ハ總裁一人ヲ置ク國民政府ヨリ特任ス副總裁一人ヲ置キ國民政府ヨリ簡任ス任期イツレモ三年トシ任期滿了後ハ留任スルコトヲ得

總裁副總裁ハ常務理事中ヨリ之ヲ選任ス

第十五條 中央銀行ハ國民政府ヨリ監事七人ヲ特派シ監事會ヲ組織ス七人ノ中實業界商界銀行界ヲ代表スルモノ各二人ヲ有スヘク國民政府審計機關ヲ代表スルモノ一人ヲ有スヘシ

監事ノ任期ハ審計機關代表ハ政府ニ於テ隨時選派シ其他ノ六人ハ均シク二年ト爲ス毎年國民政府ニ於テ各界代表ノ中一人ヲ改選ス但第一期監事ノ中三人ノ任期ハ一年ト爲シ國民政府ニ於テ之ヲ指定ス

前項監事ノ定員及選出方法ハ民間株式募集後國民政府ニ申請シテ別ニ之ヲ定ム

第十六條 中央銀行ハ業務發行ノ二局ヲ設置シ營業並ニ發行ノ事務ヲ分掌ス業務局ニ總經理一人ヲ置キ發行局ニ總發行一人ヲ置ク總裁ヨリ國民政府ニ申請シ之ヲ簡任ス業務局ニ副經理一人ヲ置キ發行局ニ副發行一人ヲ置ク但シ

事務ノ都合ニ依リ各若干人ヲ置クコトヲ得均シク總裁之ヲ派充ス

第十七條 中央銀行ハ稽核處ヲ設置シ總稽核一人事務員若干人ヲ置ク總裁之ヲ派充シ全行ノ稽核事務ヲ掌ル

第十八條 中央銀行内部事務ニシテ第十六條第十七條ノ規定ノ範圍内ニ屬セサルモノハ總裁ニ於テ適宜人員ヲ定メテ之ヲ處理セシム

第十九條 理事會ハ秘書一人事務員若干人ヲ置ク主席ノ命ヲ受ケ理事會ノ事務ヲ處理ス

第二十條 監事會ハ稽核一人事務員若干人ヲ置ク主席ノ命ヲ受ケ監事會ノ事務ヲ處理ス

第五章 理事會

第二十一條 理事會ハ左記事項ヲ議決ス

- 一、業務方針ノ審定
- 二、發行數量ノ審定
- 三、準備集中ノ規劃
- 四、豫算決算ノ審定
- 五、各種規定ノ編訂

後編 各銀行ニ關スル諸規定



六、分支行ノ設立或ハ廢止

七、資本ノ増加

八、其他總裁ノ附議セル事項

第二十二條 理事會ハ毎月少クモ一回開會シ主席之ヲ招集ス

第二十三條 理事會ハ過半数ノ理事出席スルニアラサレハ開會スルコトヲ得ス

第二十四條 理事會ノ議事ハ出席理事ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナル場合ハ主席之ヲ決ス理事會ハ議事録ヲ

作成シ主席之ニ署名シテ保存スルコトヲ要ス

理事ハ討論カ自身ニ關スル場合ハ退席スヘシ

第二十五條 理事會ノ議事規程ハ理事會ニ於テ之ヲ定ム

第二十六條 常務理事ハ毎日銀行ニ出勤シテ事務ヲ執ルヘシ其執務細則ハ理事會ニ於テ別ニ定ム

#### 第六章 總裁副總裁

第二十七條 總裁ハ全行事務ヲ總理シ副總裁ハ總裁ヲ輔佐シテ全行事務ヲ處理ス

第二十八條 總裁ハ理事會ノ主席ト爲ル總裁缺席セル場合副總裁之ニ代ル

第二十九條 總裁ハ全行ノ代表ト爲リ且理事會ノ議決事項ヲ執行ス

#### 第七章 監事會

第三十條 監事會ノ主席ハ監事中一人ヲ互選シ之ニ充任ス

第三十一條 監事會ノ職務左ノ如シ

一、全行帳簿ノ審査

二、準備金ノ検査

三、豫算決算ノ審査

第三十二條 監事會ハ毎月少クモ一回開會シ主席之ヲ召集ス

第三十三條 監事會ハ監事過半数ノ出席アルニアラサレハ開會スルコトヲ得ス

第三十四條 監事會ノ議決ハ出席監事ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナル場合ハ主席之ヲ決ス監事會ハ議事録ヲ作成シ主席之ニ署名シ保存ス

第三十五條 監事會ノ議事規程ハ監事會ニ於テ別ニ之ヲ定ム

第三十六條 監事ハ行務ニツキ必要アリト認メタルトキハ理事會ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ表決權ナシ

#### 第八章 業務局發行局

第三十七條 業務局總經理及發行局總發行ハ總裁ノ命ヲ受ケ營業及發行ノ事務ヲ分掌ス

第二十八條 總經理及總發行ハ均シク各規定ニ遵ヒ行員ヲ督率シテ行務ヲ進行セシムル責任ヲ有ス

第三十九條 總經理及總發行ハ行務ニツキ隨時總裁ニ建議シ審核ヲ請フコトヲ得



第九章 決算及純利益ノ分配

第四十條 中央銀行ハ毎年十二月末ヲ總決算期ト爲シ左記各表冊書類ヲ作成シ理事會監事會ノ審査ノ後總裁ヨリ國民政府ニ届出ツヘシ

- 一、財産目錄
- 二、資産負債表
- 三、營業報告書
- 四、損益計算書
- 五、剩餘分配案

第四十一條 中央銀行ハ中央銀行條例第十八條ノ規定ニヨリ毎年純益ノ中ヨリ其百分ノ五十以上ヲ本行積立金ト爲スヘシ

第四十二條 純益ノ中積立金ヲ差引キタル殘額ノ分配ハ理事會ノ議決ヲ經總裁ヨリ國民政府ノ認可ヲ申請シテ之ヲ決ス

第十章 附 則

第四十三條 本章程ハ理事會ノ議決ヲ經總裁ヨリ國民政府ノ認可ヲ申請シテ之ヲ修改ス

第四十四條 中央銀行ハ本章程ノ規定ニ依リ理事會ニ於テ各種規程及執務細則ヲ制定ス

第四十五條 本章程ハ國民政府認可ノ日ヨリ施行ス

中央銀行兌換券章程

民國十七年十月十二日理事會通過

第一條 中央銀行ハ中央銀行條例第五條第一項及第十三條ノ規定ニ依リ發行局ヲ設ケ兌換券ヲ發行シ國幣ヲ以テ之ヲ兌換ス

第二條 中央銀行兌換券ノ發行ハ全額準備ヲ要シ百分ノ六十ヲ現金準備トシ百分ノ四十ヲ保證準備ト爲ス  
現金及生金銀ハ現金準備トシ國民政府財政部發行或ハ保證ノ有價證券及短期確實ナル商業手形ハ保證準備ト爲ス

コトヲ得

第三條 中央銀行兌換券ハ一元五元十元五十元百元ノ五種ニ分ツ

中央銀行ハ市面ノ需要ニ應シ補助券ヲ發行スルコトヲ得

第四條 中央銀行兌換券ハ租稅公金ノ納入債務ノ辨濟其他一切ノ取引ニ使用スルコトヲ得

第五條 中央銀行兌換券ノ格式ハ圖樣ヲ以テ國民政府ニ届出テ且發行前國民政府ヨリ之ヲ公布ス

第六條 中央銀行ノ發行準備ハ完全ニ公開シ毎旬兌換券發行額準備全額ヲ公布スヘシ

第七條 中央銀行兌換券カ汚損シテ通用不便トナリタルトキハ其持參人ハ中央銀行ニ於テ隨時新券トノ交換ヲ請求スルコトヲ得



- 第八條 中央銀行兌換券ヲ偽造シ或ハ兌換券ノ信用ヲ破壞セルモノハ均シク法律ニ依リ處罰ス
- 第九條 本章程ハ中央銀行總裁ヨリ國民政府ニ認可ヲ申請ス
- 第十條 本章程ハ認可ノ日ヨリ施行ス

### 國華銀行章程

民國十六年九月二十五日創立本章程ハ同日ノ創立總會ニ於テ通過  
民國十七年十月二十三日全國註冊局ニ登錄支店所在地南京蘇州廣東

#### 第一章 總 綱

- 第一條 本銀行ハ公司條例ニ遵ヒ組織セル株式有限會社ニシテ國華銀行股份有限公司ト稱ス
- 第二條 本銀行ノ營業範圍左ノ如シ
  - 一、各種預金
  - 二、各種ノ確實ナル擔保貸付
  - 三、國內外ノ各種爲替及手形割引
  - 四、有價證券及地金銀ノ賣買
  - 五、他地銀行ノ代理取立
  - 六、貴重物品及ヒ證券ノ代理保管
  - 七、各種有價證券ノ代理賣買及利息受領

八、各種儲蓄業務

九、當座貸付

第三條 本銀行ハ左ノ事項ヲ爲スコトヲ得ス

- 一、本銀行株券ノ購入及擔保受入
- 二、本銀行ノ名義ヲ以テ擔保スルコト
- 三、公債及有價證券ニ對シ絕對ニ空賣買ヲ爲スコトヲ得ス
- 四、營業上必要以外ノ不動産ノ買入但シ已ムコトヲ得サル場合ハ第一項ハ公司條例ニ依リ處理シ其他ノ場合ハ總經理ヨリ董事會ニ提議シ其承認ヲ得テ變更スルコトヲ得
- 第四條 本銀行ハ總行ヲ上海ニ設置ス其他各處ニ分支行ヲ設クルトキハ董事會ノ議決ヲ經テ之ヲ爲ス
- 第五條 本銀行ノ公告ハ總分支行所在地ノ新聞紙一種或ハ二種ヲ指定シテ之ヲ爲ス但シ書信ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第六條 本銀行ノ營業年限ハ開業ノ日ヨリ起算シ三十年トス期限滿了後繼續スルヤ否ハ株主總會ニ於テ決ス

#### 第二章 株 式

第七條 本銀行ノ資本總額ハ國幣二百萬元トス一株百元合計二萬株トス五十萬元ヲ拂込ミテ營業ヲ開始シ其餘ハ引續キ拂込マシム



- 第八條 本銀行株式ノ増減ハ株主總會ニ於テ決ス
- 第九條 本銀行株券ニハ本銀行印ヲ捺捺シ董事長及ヒ總經理署名捺印ス
- 第十條 本銀行株券ハ記名式ヲ用ヒ家號商號或ハ法團ヲ以テ株主名義ト爲ストキハ其代表者ノ住所姓名ヲ銀行ニ通知シ株主名簿ニ記入シ且通信ニ便スヘシ
- 第十一條 本銀行カ株券ヲ發行スルトキ株主ハ其印鑑ヲ銀行ニ提出シ配當金ノ受領及ヒ株主ト本銀行ト關係アル事件ニ關シ之ヲ證據ト爲スヘシ
- 第十二條 本銀行株券ノ名義變更ヲ爲ス場合ハ賣買相續贈與或ハ擔保流レタルトヲ問ハス保證人連署ノ名義書換請求書及ヒ登錄請求書ニ所有株券ヲ添付シテ本銀行ニ送付シ書替登錄ヲ爲スヘシ
- 第十三條 株券ヲ遺失セル場合ハ保證人連署ノ遺失證書ヲ本行ニ送附シ且ツ本銀行ノ指定スル新聞紙二種ニ各三日以上其旨廣告スヘシ三箇月ヲ經ルモ何等ノ事故ナキトキハ再發行ス
- 第十四條 株券ノ名義變更登錄再發行或ハ分轄ノ場合ハ各手数料一枚ニツキ國幣一元ヲ要ス
- 第十五條 定期或ハ臨時ノ株主總會開會一箇月前ニ本銀行ハ公告シテ株式名義變更ヲ停止ス

第三章 株主總會

- 第十六條 本銀行ノ株主總會ハ定期及臨時ノ二種トス
- 第十七條 定期株主總會ハ每年下半年期決算後董事會ノ議決ヲ經一ヶ月前通告シテ之ヲ召集ス

第十八條 臨時株主總會ハ董事會或ハ監察人カ重要事項アリト認メタル場合或ハ本銀行株式總數ノ二十分ノ一以上ノ株主カ事由ヲ説明シテ董事會ニ開會ヲ請求セル場合之ヲ召集ス

第十九條 株主總會開會ニ際シ株主カ提議スヘキ事項アルトキハ本銀行株主三人以上ノ同意ヲ得開會十日前ニ其事由ノ説明書ヲ董事會ニ送附シ之ヲ議案ニ加フルコトヲ得

第二十條 開會三日前株主ハ其株券ヲ本銀行ニ提示シテ入場券ヲ受取り會議ニ出席スヘシ他人ニ代理ヲ委託セル場合亦前項ニ依リ處理ス但シ代理人ハ本銀行ノ株主タルコトヲ要シ且ツ本人ノ委託書及印鑑ヲ要ス

第二十一條 株主總會ニ於ケル主席ハ董事長之ニ任ス董事長缺席セル場合ハ董事中ノ一人ヲ推シテ代理セシム

第二十二條 株主總會ハ本銀行株式總額ノ二分ノ一以上ノ出席アルニ非レハ開會スルコトヲ得ス

第二十三條 株主ノ議決權ハ一株ニツキ一個ノ權利トス但シ十一株以上百株迄ハ二株ニツキ一個ノ權利トシ百株以上ハ三株ニツキ一個ノ權利トス

第二十四條 左記第一款ニ該當スルモノハ議決權ナシ第四款ニ該當スルモノハ被選舉權ナク第二第三款ニ該當スルモノハ選舉權モナシ

- 一、議事カ自己ニ及フ株主
- 二、未成年者
- 三、破産ノ宣告ヲ受ケタルモノ及精神病者



四、法人

第二十五條 株主總會ニ於ケル議決ハ出席議決權ノ過半数ヲ以テ決ス可否同數ナル場合ハ主席之ヲ決ス

第二十六條 左記各事項ニ關シテハ株主總會ノ過半数ニシテ且ツ株式總額ノ過半額ノ株主出席シ其議決權ノ過半数ヲ以テ決ス

一、章程ノ改正

二、株式ノ増減

三、解散及合併

四、積立金ノ停止或ハ積立金ヲ他ノ會社株式ヲ以テスルコト

第二十七條 出席株主カ定數ニ滿タサル場合ハ出席株主議決權ノ過半数ヲ以テ草案ヲ議定シ各株主ニ通告シテ一月内ニ臨時株主總會ヲ召集シ之ヲ再附議ス此場合ハ出席株主議決權ノ過半数ヲ以テ草案ヲ承認スルヤ否ヤヲ決定ス但シ會社ノ解散及合併ニ關シテハ必ス第二十六條ニ依ル

第二十八條 株主總會ニ於ケル議決事項ハ決議録トシ主席及監察人之ニ署名スヘシ

第四章 董事及監察人

第二十九條 本銀行ニ董事十一人乃至十五人監察人二人ヲ置ク株主總會ニ於テ五十株以上ノ株主ヨリ記名連記法ニ依リ選任ス

第三十條 董事ノ任期ハ三年トス任期滿了後舊董事中三人ヲ選ンテ留任セシム其他再選セラレタルモノハ留任スル

コトヲ得監察人ノ任期ハ一年トシ再選セラレタルモノハ留任スルコトヲ得

第三十一條 董事ハ董事長一人副董事長一人ヲ互選ス董事會ハ董事長ヲ代表トシ一切ノ行務ヲ畫策セシム

第三十二條 董事會議ノ場合ハ董事長ヲ以テ主席ト爲シ主席缺席セル場合ハ副董事長ヲ以テ之ニ代フ兩者缺席セルトキハ董事中ノ一人ヲ推シテ之ニ代ラシム

第三十三條 監察人ハ董事會議ニ參加スルコトヲ得但シ表決ニ加ハルコトヲ得ス

第三十四條 董事會議ハ過半数ヲ以テ可否ヲ決ス可否同數ナル場合ハ主席之ヲ決ス

第三十五條 監察人ハ本銀行資産負債及ヒ各種擔保品ニ對スル審査ノ責任ヲ負フ

決算後ノ各種報告書ハ其審査署名捺印ヲ要ス

第三十六條 監察人ハ本銀行ノ董事其他ノ職務ヲ兼任スルコトヲ得ス

第三十七條 通常董事會ハ毎月第一日曜日ニ開會ス重要事項アリト認ムルトキハ董事長ハ臨時之ヲ開クコトヲ得

第三十八條 董事會ニ於ケル議決事項ハ董事會議事録ニ記載シ主席及監察人之ニ署名捺印シテ保存ス

第三十九條 董事長副董事長及監察人ノ車馬賃ハ株主總會ニ於テ決定ス

第五章 職員

第四十條 本銀行ニ總經理一人ヲ置ク董事會ニ於テ招聘シ全行ノ業務ヲ管理セシム

後編 各銀行ニ關スル諸規定



第四十一條 本銀行總行ノ經理ハ總經理之ヲ兼任ス

第四十二條 本銀行總行副經理及分行經理ハ總經理ニ於テ之ヲ招聘シ董事會ノ承認ヲ得ヘシ

第四十三條 總經理以下ノ各職員ハ總經理ヨリ任用ス但シ各職員ハ在職中他ノ商業ヲ兼營シ或ハ他ノ銀行ノ職務ヲ兼任スルコトヲ得ス

第六章 決算及利益分配

第四十四條 本銀行ハ半年毎ニ一回決算ヲ行ヒ一年毎ニ總決算ヲ行フ

財産目錄貸借對照表營業報告書損益計算書及ヒ利益分配案ヲ作成シ董事會通過後監察人ノ審査ヲ經次ノ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムヘシ

第四十五條 本銀行ハ營業純利益金ノ中其十分ノ一以上ヲ積立金ト爲ス

株主配當年七分ヲ差引キ尙剩餘金アルトキハ左記ニ依リ董事會ヨリ株主總會ニ提議シ其承認ヲ經テ之ヲ分配ス

一、發起人ノ中特殊功勞者ニ對スル慰勞金

二、特別積立金

三、株主利益配當金

四、財産償却

五、董事監察人ニ對スル慰勞金

六、總副經理ニ對スル慰勞金

七、職員慰勞金

八、殘額ハ次年度利益ニ繰入ル

第七章 儲蓄部

第四十六條 本銀行ハ儲蓄部ヲ特設シ各種儲蓄業務ヲ兼營ス本銀行資本總額ノ中ヨリ五萬元ヲ支出シ儲蓄部ノ基本金ト爲ス

第四十七條 本銀行儲蓄部ハ毎年決算ニ際シ各種預金總額ノ中其四分ノ一ヲ現金或ハ有價證券ヲ以テ本行所在地ノ國家銀行或ハ確實ナル銀行ニ預ケ入レ以テ各種儲蓄預金ニ對スル拂出準備金ト爲ス

第四十八條 本銀行總經理副經理ハ其任期内ニ於テ發生セル一切ノ債務ニ對シ無限責任ヲ負フ退任後滿二年ハ責任ヲ免ル、コト能ハス

第四十九條 本章程改正ノ必要アル場合ハ本章程第二十六條ニ依リ處理ス

第五十條 本章程不備ノ點アルトキハ銀行通行則例儲蓄銀行則例公司條例ノ各規定ニ依リ處理ス

第五十一條 本章程ハ十六年九月二十五日株主總會ヲ通過シ十七年十月二十三日全國註冊局ノ認可登錄ヲ經タリ

中國銀行條例

中國銀行ハ光緒三十一年戶部銀行章程制定セラレタルニハシマル後同行ハ度支部  
銀行ト改稱光緒三十四年七月大清銀行則例及詳細章程ヲ制定シテ大清銀行ト改稱民  
國二年四月十六日中國銀行條例ヲ制定公布シテ中國銀行ト改稱シ國民政府ノ中央銀  
行ト爲ス同條例ハ其後數度修正セラレ國民政府十七年十月二十六日國民政府行政院ニ  
ヨリ新條例ヲ公布シ直チニ中國銀行ノ整理改組ニ着手シ純然タル爲替銀行ト爲ス



第一條 中國銀行ハ國民政府ノ特許ヲ經國際爲替銀行トシテ株式會社ノ規定ニ準據シテ之ヲ組織ス

第二條 中國銀行ノ資本總額ヲ國幣二千五百萬元トシ之ヲ二十五萬株ニ分チ一株國幣百元トス政府五萬株ヲ引受ケ餘ハ國民ノ引受ト爲ス

中國銀行カ業務ノ必要上資本ヲ增加スルトキハ株主總會ノ議決ヲ經テ財政部ニ申請シ許可ヲ得テ之ヲ爲スコトヲ得

第三條 中國銀行ハ總行ヲ上海ニ設ケ國內國外ニ於ケル貿易上必要ノ土地ニ分支行ヲ設ク各地ノ銀行ト代理契約又ハ爲替取組契約ヲ締結スルコトヲ得

第四條 中國銀行株券ハ總テ記名式ヲ用ヒ株主ハ中華民國ノ國籍ヲ有スル者ヲ以テ限リトナス

第五條 中國銀行ノ營業年限ハ本條例公布ノ日ヨリ起算シテ三十箇年トシ期間滿了スルトキハ株主總會ノ決議ニヨリ財政部ノ許可ヲ經テ之ヲ延長スルコトヲ得

第六條 毎年ノ營業純利益ハ其總額ノ十分ノ一以上ヲ控除シテ積立金トシタル後始メテ利益ノ配當ヲナスコトヲ得前項積立金及利益配當ハ株主總會ノ決議ヲ經テ財政部ニ報告スルコトヲ要ス

第七條 前條積立金ノ用途左ノ如シ

- 一、資本ノ損失填補
- 二、利益配當ノ平均維持

第八條 中國銀行ハ政府ノ委託ヲ受ケ左ニ掲クル各項ノ事務ヲ辦理ス

- 一、政府ノ代理トシテ海外國債ノ發行及ヒ元利金ノ償還支拂事務取扱
- 二、政府ノ在外各種公金ノ管理及ヒ出納事務
- 三、海外貿易ノ發展援助事務
- 四、國庫事務ノ一部代理

第九條 中國銀行ハ財政部ノ特許ヲ經テ兌換券ヲ發行スルコトヲ得但シ兌換券條例ニ準據シテ辦理スルコトヲ要ス

第十條 中國銀行ノ營業種類左ノ如シ

- 一、國內外爲替及ヒ荷爲替
- 二、確實ナル商業上ノ約束手形及ヒ爲替手形ノ割引又ハ買入
- 三、地金銀及ヒ各國貨幣ノ賣買
- 四、各種預金ノ取扱並ニ證券類及ヒ其他一切ノ貴重品ノ代理保管
- 五、平素取引アル銀行會社銀號及ヒ個人ノ各種金員ノ代理取立
- 六、確實ナル物品ヲ擔保トスル貸付
- 七、政府ノ委託ニヨル內國公債ノ募集又ハ其事務ノ取扱
- 八、營業狀況ヲ酌量シテ公債證券ヲ賣買スルコトヲ得



第十一條 中國銀行ハ第十條ニ掲クル各項營業ノ外左記諸項及ヒ其他ノ事業ヲ經營スルコトヲ得ス

一、各種ノ無擔保貸付及ヒ保證

二、本銀行ノ株券買入並ニ本銀行ノ株券ヲ貸付ノ擔保品ト爲スコト

三、營業上必要ナル不動産以外ノ不動産ノ購入又ハ受入

四、各種商工業ノ直接經營

第十二條 中國銀行ニ董事十五人監察人五人ヲ置キ財政部ヨリ董事三人監察人一人ヲ任命シ其餘ノ董事十二人監察人四人ハ株主總會ニ於テ百株以上ヲ所有スル民間株主中ヨリ之ヲ選任ス董事ノ任期ハ四年監察人ノ任期ハ三年トシ任期滿了ノ時選舉又ハ命令ニヨリ重任スルコトヲ得

第十三條 中國銀行ニ常務董事五人ヲ置キ董事之ヲ互選シ並ニ財政部ヨリ常務董事ノ一人ヲ指命シテ董事長トス中國銀行ニ總經理一人ヲ置キ常務董事之ヲ互選シテ財政部ニ呈請ス總經理事故アリテ職務ヲ執行スル能ハサルトキハ常務董事中ヨリ一人ヲ互選シテ之ヲ代理セシム

第十四條 中國銀行ノ株主總會ハ左ノ二種ニ分ツ

一、通常株主總會

二、臨時株主總會

第十五條 通常總主總會ハ毎年一回總行所在地ニ於テ開會シ董事會之ヲ召集ス

第十六條 董事會カ重要事件ト認メタルモノアリテ會議ヲ必要トスルトキハ臨時株主總會ヲ召集スヘシ

第十七條 董事會ニ於テ董事ノ過半数又ハ監察人全員又ハ株主總會ニ於テ會員五十人以上並ニ全株ノ百分ノ十以上ヲ所有スルモノカ重要事件ノ爲メニ會議ヲ要求スルトキハ臨時株主總會ヲ召集スヘシ

第十八條 株主總會開會ノトキ十株以上ヲ所有シ又ハ十株以上ノ株主ヲ代表スル株主ハ開會日ノ六十日以前ニ登録シタルモノニアラサレハ會員トシテ會議ニ列席スル資格ヲ有セス

第十九條 株主總會ニ於ケル會員ノ議決權ハ十株ニツキ一票トシ百株以上ハ三十株ヲ増ス毎ニ一票ヲ遞増ス

第二十條 株主總會ノ會員カ事故アリテ會議ニ出席スルコト能ハサルトキ其代理ヲ委託スルモノハ會員ヲ以テ限リトス

第二十一條 中國銀行ニ於テ本條例及ヒ本行ノ定款ニ違反スル行爲アルトキ又ハ政府ニ不利ナル行爲アルトキハ財政部之ヲ制止スルコトヲ得

第二十二條 中國銀行ハ本條例ノ主旨ニ依リテ詳細ニ定款ヲ定メ株主總會ニ提出シテ之ヲ議決シ財政部ニ申請シテ認可ヲ得ヘシ之ヲ改正スルトキ亦同シ

第二十三條 本條例ハ株主總會ノ議決ヲ經董事長ヨリ財政部ニ査定修正ヲ申請スルコトヲ得

第二十四條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(滿鐵調査課編國民政府ノ產業政策所載)



## 中國銀行章程

本章程ハ民國七年一月二十日始メテ制定公布セラレ  
民國十七年十一月十七日株主總會ニ於テ新條例ニヨル新章程ヲ制定シ本店ヲ  
北京ヨリ上海ニ移ス同章程ハ民國十八年六月七日財政部ノ認可ヲ得

### 第一章 總 綱

- 第一條 中國銀行ハ國民政府ノ特許ヲ經タル國際爲替銀行トス
- 第二條 中國銀行ハ株式會社トシ株主ノ責任ハ出資額ヲ以テ限度トス
- 第三條 中國銀行ハ上海ニ總行ヲ設ク國內外貿易上必要ナル地ニハ其情形ヲ斟酌シ行務總會ノ議決ヲ經テ分支行ヲ設立シ或ハ他行ト代理契約又ハ爲替取組契約ヲ締結スルコトヲ得
- 前項各行ノ撤廢或ハ移轉ハ行務總會ノ議決ニ依リテ行フ
- 第四條 中國銀行ノ營業年限ハ中國銀行條例第五條ノ規定ニヨリ民國十七年十月二十六日ヨリ滿三十箇年トス期限滿了ノ際ハ株主總會ノ議決ニ由リ財政部ノ認可ヲ得テ之ヲ延長スルコトヲ得

### 第二章 資 本

- 第五條 中國銀行ノ資本總額ハ國幣二千五百萬元トシ二十五萬株ニ分チ一株國幣一百元トス政府五萬株ヲ引受ケ餘ハ國民ニヨリ引受ケシム
- 中國銀行ハ業務上資本ノ増加ヲ必要トスル場合ハ株主總會ノ議決ニ由リ財政部ノ認可ヲ經テ之ヲ増加スルコトヲ得

前項増加株ハ先ツ民間株主ヲシテ引受ケシム

- 第六條 中國銀行株券ハ中國銀行條例第四條ノ規定ニ依リスヘテ記名式トシ中華民國人民ノ外ハ之ヲ賣買讓渡スルコトヲ得ス
- 第七條 家號或ハ商店名ヲ以テ株主トセル場合ハ印鑑票ニ於テ其代表者ノ姓名ヲ明カニスルコトヲ要ス
- 第八條 數人カ一株ヲ所有スル場合ハ其中一人ヲ以テ株主ト定ム
- 第九條 中國銀行株券ハ一株券五株券十株券五十株券百株券ノ五種ニ分ツ株主ハ隨時其株券ノ種類ノ變更ヲ銀行ニ請求スルコトヲ得但シ書換手数料一枚ニツキ國幣二角ヲ納ムルコトヲ要ス
- 第十條 株券カ賣買讓渡サレタル場合ハ賣主或ハ讓主ハ株券裏面ニ署名捺印シ買主或ハ讓受主ハ該株券ヲ銀行ニ提出シ名義書換ノ手續ヲ爲スヲ要ス但シ書換手数料一枚ニ付國幣一角ヲ納ムルコトヲ要ス
- 第十一條 相續ニ因リテ株券ノ名義書換ヲナス場合ハ相續人ハ株券並ニ證明書ヲ銀行ニ提出シ書換ヲナスヘシ但シ書換手数料一枚ニ付國幣一角ヲ納ムルコトヲ要ス
- 第十二條 株主ハ署名或ハ印章樣式及ヒ住所姓名ヲ記入シタル印鑑票ヲ銀行ニ提出スヘシ變更シタル場合隨時訂正ヲ行フヘシ
- 第十三條 株主カ其株券面ノ姓名ヲ變更セル場合ノ手續ハ前二條ニ依リ處理ス
- 第十四條 株主ハ株券ヲ遺失シ其再交付ヲ請求セントスル場合ハ其請求書ニ二人以上ノ相當保證人ノ署名捺印ヲ經



テ銀行ニ請求シ且ツ遺失人ハ本行ノ指定スル新聞紙ニ聲明書ヲ載スヘシ滿二箇月ヲ經ルモ發見セサルトキ始メテ之ヲ再交付ス但シ株券遺失人ヨリ證據書類ヲ差出サシムヘシ

株券ノ再交付ヲ請求スルモノハ一枚ニツキ國幣二角ノ手数料ヲ納ムヘシ遺失セル株券カモシ二箇月以内ニ發見セラレタルトキニ速カニ銀行ニ通知シ前項請求及新聞紙所載聲明ヲ取消スヘシ但シ再交付手数料ハ返還セス

第十五條 株券ノ再交付請求ニツキ紛糾アルトキハ該請求人ニヨリ確實ニ解決サル、ニアラサレハ再交付セス

第十六條 株券汚損シ或ハ署名捺印ノ餘地ナキニ至リタルトキハ銀行ニ對シ其交換ヲ請求スルコトヲ得但シ株券一枚ニ付キ國幣二角ヲ納付スヘシ

株券ノ文字不分明トナリタルトキハ銀行ニ對シ其交換ヲ請求スルコトヲ得但シ第十四條ノ規定ニ依リ處理ス

### 第三章 業務

第十七條 中國銀行ハ政府ノ委託ヲ受ケテ左ノ各項事務ヲ行フ

- 一、政府ノ代理ニヨル海外公債ノ發行及ヒ其元本利息ノ償還支拂事務
- 二、政府在外ノ各種公金ノ經理並ニ受拂事務
- 三、海外貿易ノ發展助成事務
- 四、國庫ノ一部代理

第十八條 中國銀行ノ營業種類左ノ如シ

- 一、内外爲替及荷爲替
  - 二、確實ナル約束手形及ヒ爲替手形ノ割引或ハ買入レ
  - 三、地金銀及ヒ各國貨幣ノ賣買
  - 四、各種預金及ヒ證券書類其他一切ノ貴重品ノ代理保管
  - 五、取引關係アル銀行會社商店或ハ個人ニ代リ各種金錢ノ取立
  - 六、確實ナル擔保物件ヲ有スル貸出
  - 七、政府ノ委託ヲ受ケ内債ノ募集經理
  - 八、營業狀態ヲ酌量シテ公債證券ヲ賣買スルコトヲ得
- 第十九條 中國銀行ハ第十八條列舉ノ營業ノ外左記ノ諸項及其他事業ヲ營ムコトヲ得ス
- 一、無擔保ニヨル貸出及ヒ保證
  - 二、本銀行株券ノ買入並ニ本銀行株券ヲ貸出ノ擔保トスルコト
  - 三、營業上必要ナル不動産ノ外不動産ヲ買入レ或ハ抵當トスルコト
  - 四、各種商工業ノ直接經營
- 第二十條 前條第三項ノ制限ハ若シ已ムヲ得サル場合ハ行務總會全體ノ同意ヲ經テ後之ヲ變更スルコトヲ得但シ本銀行ノ名義ヲ以テ擔保トナスヲ得ス



第二十一條 貸出ノ期限到來スルモ債務者及其保證人ニ辨濟ノ資力ナク又提供スヘキ相當動産ナキ場合ハ董事會ノ同意ヲ經テ本行株券或ハ不動産ヲ受入ル、コトヲ得但シ受入後速カニ金錢ニ變ヘテ債務ノ償還ニ充ツヘシ

第二十二條 中國銀行ハ中國銀行條例第九條ノ規定ヲ遵守シテ兌換券ヲ發行スルコトヲ得

第四章 組織

第二十三條 中國銀行ハ董事十五人監察人五人ヲ置ク内董事三人監察人一人ハ財政部ヨリ派遣シ其餘ノ董事十二人監察人四人ハ株主總會ニ於テ百株以上ノ民間株主中ヨリ之ヲ選任ス

第二十四條 中國銀行ハ常務董事五人ヲ置ク董事ノ互選トシ且ツ財政部ハ常務董事中ノ一人ヲ指定シテ董事長ト爲ス

第二十五條 中國銀行ハ總經理一人ヲ置ク常務董事中ヨリ之ヲ互選シ財政部ニ届出ツヘシ總經理事故アリテ其職務ヲ執行シ能ハサルトキハ常務董事中ヨリ一人ヲ推シテ之ヲ代理セシム

總經理其職ヲ退クトキハ即チ董事トナル

第二十六條 中國銀行ハ常駐監察人一人ヲ置ク監察人ヨリ之ヲ互選ス

第二十七條 中國銀行董事長ハ全行ヲ代表シ董事會執行務總會ノ主席トナル

第二十八條 中國銀行總經理ハ董事會ノ議決事項ヲ執行ス董事長常務董事ト協議シテ全行ノ事務ヲ處理ス

第二十九條 中國銀行董事ノ任期ハ四年監察人ノ任期ハ三年トス

任期滿了後財政部派遣ノ董事並ニ監察人ハ留任スルコトヲ得其他ノ董事及監察人モ再選留任スルコトヲ得

第三十條 民間株主ヨリ董事及監察人ヲ選舉スルニハ記名聯記法ヲ用ヒ出席會員選舉權ノ三分ノ二以上ヲ得タルモノヲ當選トス若シ三分ノ二ニ充タサルトキハ得票ノ最モ多キモノヨリ選ハルヘキ人數ノ二倍ニ相當スル人數ヲ限リ更ニ決選投票ヲ行フ得票同シキモノハ抽籤ニヨリ之ヲ定ム

第三十一條 民間株主ヨリ選ハレタル董事ハ其當選後章程ニ定ムルトコロノ被選資格タル株券ヲ監察人ニ供託スヘシ

其改選後ハ前年度營業決算報告カ株主總會ノ承認ヲ經タル後該株券ヲ返還ス

第三十二條 常務董事ハ董事會ヲ代表シ常駐監察人ハ監察人會ヲ代表シ均シク銀行ニ出勤シテ其職務ヲ執ルヘシ

第三十三條 董事長總經理常務董事常駐監察人ノ俸給ハ均シク執行務總會ニ於テ之ヲ決ス

董事長總經理ノ交際費ハ執行務總會ニ於テ之ヲ決ス

第三十四條 常務董事常駐監察人ニ缺員ヲ生シタルトキハ董事會監察人會ハ互選シテ之ヲ補フ

第三十五條 民間株主ヨリ選ハレタル董事及監察人ニ缺員ヲ生シ補缺選舉ヲ行ヒタル場合當選者ノ任期ハ前任者ノ任期ヲ繼續スルニ止マル

民間株主ヨリ選ハレタル董事及ヒ監察人ニ缺員ヲ生スルモ尙董事ハ八人以上監察人ハ三人以上在職スル場合ハ董事會或ハ監察人會カ必要ナシト認メタルトキハ補缺選舉ヲ延期スルコトヲ得



總經理カ民間株主ヨリ選ハレタル董事ナル場合ハ補缺ノ問題ハ生セス

### 第五章 董事會

第三十六條 董事會ノ議スヘキ事項左ノ如シ

- 一、總分支行ノ業務方針ノ審定
- 二、兌換券發行數量ノ審定
- 三、年末決算報告ノ整理
- 四、總分支行ノ詳細ナル諸規則ノ制定
- 五、營業用土地建物ノ借入建築或ハ賣買ノ議定
- 六、兌換券條例公布以前ハ發行兌換券ノ樣式種類數量ノ議定
- 七、兌換券準備金ノ種類或ハ品質ノ檢查
- 八、本行各種支拂ノ豫算決算ノ檢查
- 九、代理店ノ委託及他行或ハ他商店ノ委託ヲ受ケタル代理債券株ノ募集等ノ審議
- 十、債務ノ辨濟ニ充テラレタル擔保物件及ヒ期限經過ノ貸出金ノ處理
- 十一、對外重要契約ノ締結
- 十二、各部分ニ於ケル權限爭議ノ裁決

第三十七條 董事會議ハ董事長之ヲ召集シ出席董事ノ多數決ニ依ル可否同數ナル場合ハ主席之ヲ決ス但シ出席董事

數カ全董事數ノ半數ニ滿タサルトキハ決議スルコトヲ得ス

董事會議カモシ主席カ事故ノタメ召集シ能ハサル時或ハ列席シ能ハサル時ハ董事三人以上カ之ヲ召集開會シ並ニ  
董事中一人ヲ臨時會長ニ推スコトヲ得

董事會議ノ議事録ハ出席セル各董事之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

董事自身ニ關スル議案ニツキテハ當該本人ハ議決權ヲ有セス

### 第六章 監察人會

第三十八條 監察人會ノ職權左ノ如シ

一、董事ノ供託セル株券ノ保管董事長總經理及ヒ董事等ノ執務カ規則及ヒ株主總會ノ決議ニ適合スルヤ否ヤヲ監  
查ス

二、年末決算報告ノ審查

三、營業狀況及財産狀態ヲ調査シ必要ニ應シ董事會ニ於テ意見ヲ陳述ス

四、銀行業務ヲ監視シ一切ノ帳簿證券及現金ヲ檢查ス

第三十九條 監察人會ノ主席ハ監察人中ヨリ之ヲ互選ス

第四十條 監察人會ハ主席之ヲ召集シ其會議事項ハ第三十八條ニ依ツテ辦理ス



第七章 行務總會

第四十一條 董事及ヒ監察人ノ聯合會議ヲ行務總會ト稱ス

第四十二條 行務總會ノ會議ノ範圍左ノ如シ

- 一、株主配當及ヒ行員慰勞金ノ分配案
- 二、董事會ノ裁決シ能ハサル權限爭議
- 三、本行章程規則ノ審査
- 四、分支行ノ設立並ニ撤廢
- 五、本章程第二十條ニ關スル事項
- 六、董事會並ニ監察人會ノ範圍外ノ事項

第四十三條 行務總會ハ主席之ヲ召集シ多數決トス可否同數ナル場合ハ主席之ヲ決ス但シ董事監察人ノ出席者數各半數以上ニアラサレハ決議ヲ爲スコトヲ得ス其議事録ハ出席各員ノ署名捺印ヲ要ス

第八章 株主總會

第四十四條 株主總會ハ中國銀行條例第十四條ノ規定ニ依リ左ノ二種トス

- 一、通常株主總會
- 二、臨時株主總會

第四十五條 通常株主總會ハ中國銀行條例第十五條ノ規定ニ依リ毎年一回總行ノ所在地ニ於テ開キ董事會之ヲ召集ス

第四十六條 臨時株主總會ハ中國銀行條例第十六條及ヒ第十七條ノ規定ニ依リ董事會之ヲ召集ス

第四十七條 株主總會ノ召集場所ヲ株主ニ通知セル後已ムヲ得サル事故ニ因リ變更セントスルトキハ最モ適當ノ方法ニヨリ速カニ株主ニ通知スルコトヲ要ス

第四十八條 株主總會ニ於テ審議未了ノ場合ハ會議ヲ延期スルコトヲ得其期日ハ株主總會ノ決定ニ依ル

第四十九條 株主ハ株主總會開會ノ日ヨリ六十日以前ニ登録シ且ツ十株以上ヲ所有スルニアラサレハ會員トシテ會議ニ列席スルコトヲ得ス

第五十條 株主總會ニ列席スル資格アル株主ハ會期前ニ其株券ヲ總行或ハ最寄ノ分支行ニ提示シテ總會列席ノ證ヲ得開會五日乃至一日前マテニ總行ニ到リテ入場券並ニ議案報告書ヲ受取ルヘシ

第五十一條 株主總會會員カ事故ノタメ列席シ能ハサル場合ハ中國銀行條例第二十條ノ規定ニ據リ委任狀ニ署名捺印シテ他ノ會員ニ代理ヲ委任スルコトヲ得但シ會員ノ代理投票權ハ十票ヲ超ユルコトヲ得ス

會社商店其他公共機關カ本行株主タル場合ハ該會社商店或ハ公共機關ハ相當證明書ヲ具シ代表者ヲシテ會議ニ列席シ株主ノ職權ヲ行使セシムルコトヲ得前項ニ依リ他會員ニ委任シテ代理セシムルコトヲ妨ケス  
會員中若シ未成年者或ハ精神病者アル場合ハ本條第一項ニ依リ他會員ニ委任代理セシム



第五十二條 株主總會ニ於ケル會員ノ投票權ハ十株ニツキ一權利トス百株以上ハ三十株ニツキ一ノ權利トス凡テ會員ノ投票ハ一人一票ヲ以テシ其權利數ニ應シ一票ノ中ニ各別ニ明記ス但シ代理ノ票數並ニ權利數モ亦一票ノ中ニ各別ニ記入スルコトヲ得

株主總會ノ會議事項ト特別ノ利害關係ヲ有スル株主ハ表決ニ加ハルコトヲ得ス又他人ヲ代理シテ議決權ヲ行使スルコトヲ得ス

株主總會ノ議決事項ニツキ其表決ノ方法ハ主席カ臨時ニ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十三條 株主總會ハ其通常ト臨時タルトヲ問ハス其開會三十日前ニ新聞紙ニ廣告シ並ニ書信ヲ以テ其期日及ヒ議題ヲ各株主ニ通知スルコトヲ要ス若シ緊急已ムヲ得サル場合ハ十五日前ニ開會ヲ通知スルコトヲ得通知發送後ハ株主名簿ヲ總行ニ備ヘ置キ株主ノ閱覽ニ供スヘシ

第五十四條 株主ハ株主總會ニ於テ適法ニ議決セラレタル事項ニ對シテハ異議アリト雖モ或ハ出席セサル者ト雖モ之ヲ否認スルコトヲ得ス

第五十五條 株主總會ニ於テ討論スヘキ事項ハ通知書記載ノ議題ニ限ル

會員中若シ意見アルモノハ遅クとも開會十日以前ニ意見書ヲ作成シ會員十人以上ノ連署ヲ經テ董事會ニ提出シ議題トシテ株主總會ニ附議スヘシ

董事會或ハ監察人會ハ重要事項アリト認メタルトキハ議題ヲ臨時ニ提出スルコトヲ得

第五十六條 株主總會ハ總會員ノ七分ノ一以上資本金額ノ三分ノ一以上ノ出席アルニアラサレハ開會スルコトヲ得ス

第五十七條 株主總會ノ議決事項ハ出席株主議決權ノ過半數ヲ以テ決ス

章程ノ改訂ハ出席株主投票權三分ノ二以上ノ同意アルニアラサレハ議決スルコト能ハス且ツ財政部ノ認可ヲ必要トス

第五十八條 董事會ハ株主總會開會前五日間監察人ノ監査ヲ經タル左記書類及ヒ監察人ノ報告書ヲ總行ニ備置キ各

株主ノ閱覽ニ供スヘシ

一、財産目錄

二、貸借對照表

三、營業報告書

四、損益計算書

五、積立金及剩餘利益分配案

第五十九條 株主總會開會ノ時董事會ハ前條ノ各書類ヲ提出シテ其承認ヲ得ヘシ

第六十條 株主總會ハ前條各書類ニ對シ疑義アルトキハ検査人ヲ選舉シテ之ヲ検査スルコトヲ得其選舉方法及ヒ人數ハ株主總會ニ於テ臨時之ヲ決ス



第六十一條 民間株主ヨリ選ハレタル董事及ヒ監察人カ行務ニ對シ情弊アリ或ハ其職務ニ背反セル實證アル場合ハ株主總會ハ出席株主ノ議決權ノ過半數ノ決議ヲ以テ別ニ之ヲ選舉シ且ツ法律ニヨリ追訴スルヲ妨ケス  
 政府ヨリ派遣セラレタル董事監察人ニ前項ノコトキコトアル場合ハ株主ハ確實ナル證據ヲ舉ケ前項ニヨル決議ヲ以テ財政部ニ其更迭ヲ請求スルコトヲ得且ツ法律ニヨリ之ヲ追訴スルヲ妨ケス

第六十二條 株主總會ノ會議録ハ會議ノ場所時日主席ノ姓名決議方法ヲ列記シ且ツ出席株主名及ヒ其權利數ヲ明記シ主席之ニ署名捺印スヘシ

第九章 決算及ヒ利益ノ分配

第六十三條 毎年ノ決算期ヲ二期ニ分チ一月ヨリ六月マテテ上半年期トシ七月ヨリ十二月マテテ下半年期トス一年ノ決算報告ハ通常株主總會ニ提出スル外財政部ニ報告シ且ツ公告スヘシ

第六十四條 毎年得ル所ノ利益ハ中國銀行條例第六條ノ規定ニヨリ總額ノ中先ツ其十分ノ一以上ヲ積立金トシ殘額ヲ株主配當金トス

第六十五條 本行ノ株主ニ對スル利息配當金ハ年七分トス

第六十六條 利益金中積立金及ヒ株主配當金ヲ控除シテ尙剩餘アルトキハ株主利益配當金及ヒ行員慰勞金並ニ特別積立金ト爲ス其分配方法ハ株主總會ノ議決ニヨリ財政部ノ認可ヲ受クヘシ但シ行員慰勞金ハ本年度利益金ノ三割ヲ超ユルコトヲ得ス

第六十七條 本銀行ノ公告方法ハ總分支行並ニ代理店所在地ノ一種又ハ二種ノ新聞紙ヲ指定シテ公告ス或ハ地方ノ習慣ニ從ツテ之ヲ爲スコトヲ得

第十章 附 則

第六十八條 本章程ハ株主總會ノ議決ヲ得財政部ノ認可ヲ經テ施行ス改正スル場合亦同シ

上海商業儲蓄銀行章程

民國四年六月資本金十萬元ヲ以テ創立外人資本モ加ハリ外人ヨリ監査役ヲ選出セリ業績極メテ良好本章程ハ民國十八年二月改正

第一章 總 綱

第一條 本銀行ハ公司條例股份有限公司ノ規定ニ依リ組織シ上海商業儲蓄銀行股份有限公司ト稱ス財政部及ヒ工商部ノ認可登錄ヲ經タリ

第二條 本銀行ノ資本金ハ民國九年拂込濟ノ株式銀百萬元民國十年増加セル株式銀百五十萬元ニシテ現在ノ資本金總額ハ銀二百五十萬元トス全額拂込濟ニシテ將來資本ヲ増加スル場合ハ株主總會ノ議決ヲ經財政工商兩部ノ認可ヲ經テ之ヲ行フ

第三條 本銀行ハ總行ヲ上海ニ設ケ分行ヲ蘇州無錫常州南京南通漢口天津香港ニ設ケ分理處ヲ蚌埠臨淮關濟南徐州鄭州長沙市蕪湖其他地方ニ設ク

分理處ヲ設置スル場合ハ董事會ノ議決ヲ經財政工商兩部ノ認可ヲ得ヘシ

後編 各銀行ニ關スル諸規定



第四條 本銀行ノ營業年限ハ登錄ノ日ヨリ三十年トス期限滿了後ハ株主總會ノ議決ヲ經財政工商兩部ノ認可ヲ得テ之ヲ延期スルコトヲ得

第二章 株式

第五條 本銀行ノ株式ハ百元ヲ以テ一株トシ二萬五千株二百五十萬元トス

第六條 本銀行ノ株券ハ記名式ヲ用ヒ本銀行ノ行印ヲ押捺ス且ツ董事長及事務董事兼總經理之ニ署名捺印ス

第七條 本銀行ノ株券ヲ讓渡或ハ賣却スル場合ハ讓主或ハ賣主ハ株券裏面ニ署名捺印シ本銀行ニ對シ名義書換及ヒ株主名簿ノ訂正ヲ請求スヘシ受主或ハ買主ハ手数料一枚ニツキ銀五十錢ヲ納付スヘシ若シ相續ニヨリ名義書換ヲ行フ場合ハ相續人ハ株券及合法ノ證明書ヲ本行ニ提出シ其正確ナルコトヲ證明シテ之ヲ行フ但シ手数料一枚ニツキ銀五十錢ヲ納付スルコトヲ要ス

第八條 本銀行ハ株券發行ニ際シ株主ノ署名或ハ印章ノ様式ヲ本銀行ニ提出セシメ利息支拂名義書換株主名簿ノ訂正及ヒ本銀行ト關係アル事件ノ場合ノ證據トス

第九條 屋號商號或ハ團體ヲ株主名義トスル場合ハ其代表者ノ姓名住所ヲ本銀行ニ届出ツヘシ

第十條 株券ヲ遺失或ハ毀損シ本銀行ニ對シ其再發行ヲ請求スル場合ハ其請求書ニ二人以上ノ保證人ノ署名捺印ヲ經本銀行ニ送附シ且ツ該株主ハ自己ノ費用ヲ以テ本銀行ノ指定スル新聞紙ニ其旨公告シ三箇月ヲ經ルモ發見セス又ハ紛糾ナキトキハ該株主ハ受領書ヲ本銀行ニ提出シテ株券ノ再交付ヲ受ク但シ一枚ニ付銀五十錢ヲ納付スルコ

トヲ要ス

第十一條 本銀行ノ通告ノ方法ハ信書ヲ以テスル外本銀行總分行所在地ノ新聞紙ノ廣告ヲ以テス

第十二條 定期株主總會開會一箇月前ニ株券ノ名義書換ヲ停止ス

第三章 營業

第十三條 本銀行ノ營業範圍左ノ如シ

- 一、國內爲替及荷爲替
- 二、國外爲替及荷爲替
- 三、擔保貸付及利益確實ナル特別ノ貸付
- 四、割引及短期貸付
- 五、預金及ヒ貴重品ノ保管
- 六、各種債券ノ代理募集
- 七、地金銀ノ賣買
- 八、有價證券ノ賣買
- 九、儲蓄業務

第十四條 本銀行ハ本銀行ノ株券ヲ貸付金ノ擔保ト爲スコトヲ得ス

後編 各銀行ニ關スル諸規定



第四章 株主總會

第十五條 株主總會ハ通常臨時ノ二種トス

第十六條 毎年四月通常株主總會ヲ開ク開會一箇月前信書ヲ以ツテ通知シ且ツ總行所在地ノ新聞紙ニ之ヲ公告シテ各株主ニ通知ス

第十七條 臨時株主總會ハ董事會或ハ監察人カ特別重要ナル事項アリト認メタル場合或ハ株式總數ノ二十分ノ一以上ノ株主カ其理由ヲ具シ董事會ニ其召集ヲ請求セル場合之ヲ開ク

第十八條 株主總會ハ本銀行株式總額ノ二分ノ一以上ノ株主ノ出席アルニアラサレハ議決ヲナスコト能ハス

第十九條 左記各款ノ事項ニ關シテハ本銀行株式總額ノ四分ノ三以上ノ株主出席セルニアラサレハ議決ヲ爲スコト能ハス

一、章程ノ改正

二、株式ノ増減

三、解散及合併

四、積立金ノ停止或ハ積立金ヲ他ノ會社株券トナスコト

第二十條 株主總會ニ於ケル議決權ハ一株ニツキ一箇ノ權利トス但シ十一株以上百株迄ハ二株ニツキ一箇ノ權利トシ百株以上五百株迄ハ三株ニツキ一箇ノ權利トシ五百株以上ハ四株ニツキ一箇ノ權利トス

第二十一條 株主總會ニ於ケル主席ハ董事長之ニ任シ董事長缺席セルトキハ副董事長之ヲ代理ス皆缺席セルトキハ

株主ハ董事ノ中ヨリ臨時之ヲ推ス

第二十二條 株主總會ニ於ケル株主ハ開會五日前ニ出席ヲ通知シ會議證ヲ受取ルヘシ他ノ株主ヨリ代理ヲ委託サルル者ハ本銀行株主ニ限ル

第二十三條 株主總會ニ於ケル會議錄ハ議事ヲ記載シ主席及事務董事之ニ署名捺印シテ保存ス

第五章 董事及監察人

第二十四條 本銀行ニ董事會ヲ設ケ本行ノ重要事務ヲ主持ス

株主總會ニ於テ五十株以上ノ株主ヨリ十七人ヲ選ヒ之ヲ董事ニ任ス

第三十五條 本銀行ニ監察人三人ヲ置キ本行ノ事務ヲ監察ス

株主總會ニ於テ五十株以上ノ株主ヨリ之ヲ選任ス

第二十六條 董事ノ任期ハ三年トス任期滿了後投票ニヨリ舊董事ヨリ七人ヲ選ヒ之ヲ留任セシム監察人ノ任期ハ二年トシ再選セラレタルモノハ留任スルコトヲ得

第二十七條 董事ハ董事長一人副董事長一人事務董事一人ヲ互選ス

董事會ハ董事長ヲ以テ代表ト爲シ副董事長及事務董事ト協議シテ本行ノ營業方針ヲ畫策ス

第二十八條 董事ハ就任後被選資格タル株券數ヲ監察人ニ交付シ本銀行金庫ニ保管ス



第二十九條 董事會ノ會議ハ董事長ヲ主席ト爲ス董事長缺席セル場合ハ副董事長之ヲ代理シ共ニ缺席セル場合ハ董事中ヨリ一人ヲ推シテ之ニ代ラシム

第三十條 董事會議ノ場合監察人ハ之ニ参加スルコトヲ得但シ表決ニ加ハルコトヲ得ス

第三十一條 董事會議ニ於ケル議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナル場合ハ主席之ヲ決ス

第三十二條 監察人ハ本銀行ノ財産及貸付金擔保品ヲ審査シ決算後各種報告書ヲ審査シテ之ニ署名ス

第三十二條 監察人ハ本銀行ノ董事或ハ他ノ職務ヲ兼任スルコトヲ得ス

第三十四條 董事ハ議決事項ヲ董事會議錄ニ記載シ主席及ヒ監察人ノ檢印ヲ得テ保存スヘシ

第三十五條 董事ノ車馬賃ハ毎年各銀二百トス董事長事務董事監察人ニ關スル諸經費ハ董事會議ニ於テ決ス

#### 第六章 總分行職員

第三十六條 本銀行ハ總經理一人ヲ置ク事務董事之ヲ兼任シ全行業務ヲ管理ス

第三十七條 本總行經理ハ總經理兼任シ副經理ヲ置ク總經理ノ推薦ニヨリ董事會之ヲ聘任ス

第三十八條 本銀行分行經理ハ均シク總經理任用シ董事會ニ報告ス

第三十九條 總經理以下各職員ハ在職中他ノ商業ヲ兼營シ或ハ他ノ銀行ノ職務ヲ兼任スルコトヲ得ス但シ總經理ヲ經テ董事會ニ報告シ其特許ヲ得タル者ハ此限ニ非ス

#### 第七章 決算及利益分配

欠



# 欠

第三條 交通銀行ハ總行ヲ上海ニ設ケ實業上必要ナル區域ニ分支行ヲ設ケ又ハ他銀行ト代理契約ヲナスコトヲ得

第四條 交通銀行ノ株券ハ總テ記名式ヲ用ヒ其ノ賣買讓渡ハ中華民國ノ國籍ヲ有スル者ヲ以テ限リトス

第五條 交通銀行ノ營業年限ハ本條例公布ノ日ヨリ起算シ滿三十箇年トス

期間滿了シタルトキハ株主總會ノ議決ヲ經テ財政部ニ申請シ許可ヲ得テ之ヲ延長スルコトヲ得

第六條 交通銀行ハ政府ノ委託ヲ受ケテ左ニ掲クル各項ノ事務ヲ經理スルコトヲ得

一、公共實業機關ノ債券發行ヲ代理シ並ニ元利支拂事務ヲ經理ス

二、交通事業ノ公金出納事務ヲ代理ス

三、其他ノ實業ノ獎勵及ヒ發展事務ヲ辦理ス

四、國庫事務ノ一部分ヲ經理ス

第七條 交通銀行ハ財政部ノ特許ヲ經テ兌換券ヲ發行スルコトヲ得但シ兌換券條例ニ準據シテ辦理スルコトヲ要ス

第八條 交通銀行ハ左ニ掲クル各項ノ業務ヲ營ムコトヲ得

一、國家地方又ハ會社ノ債券ノ募集又ハ引受取扱

二、國家地方又ハ會社ノ債券及ヒ確實ナル株券擔保ノ貸付

三、實業ニ用フヘキ動産不動産及ヒ實業繁盛ナル土地ノ不動産ヲ擔保トスル貸付但シ貸付總額ハ拂込資本ノ二分

ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス



四、確實ナル商業手形割引

五、預金ノ取扱

六、信託業務

七、各種勘定ノ代理受領及ヒ送達

第九條 交通銀行ハ第八條ニ掲クル各項營業ノ外左ニ掲クル各項及ヒ其他ノ事業ヲ營ムコトヲ得ス

一、各種ノ無擔保貸付及ヒ保證

二、本銀行ノ株券買入並ニ本銀行ノ株券ヲ擔保トスル貸付

三、不動産ノ賣買但シ業務上必要ナル不動産ハ此限ニアラス

第十條 交通銀行ニ董事十五人監察人五人ヲ置キ財政部ニ於テ董事三人監察人一人ヲ任命シ其餘ノ董事十二人監察人四人ハ株主總會ニ於テ百株以上ヲ所有スル民間株主中ヨリ之ヲ選任ス

董事ノ任期ハ四年トシ監察人ノ任期ハ三年トス任期滿了ノ時ハ選舉又ハ命令ニヨリ重任スルコトヲ得

第十一條 交通銀行ニ常務董事五人ヲ置キ董事之ヲ互選シ並ニ財政部ヨリ常務董事ノ一人ヲ指定シテ董事長トス

交通銀行ニ總經理一人ヲ置キ常務董事ヨリ之ヲ互選シ財政部ニ呈請ス總經理事故アリテ職務ヲ執行スルコト能ハサルトキハ常務董事中ヨリ一人ヲ互選シテ之ヲ代理セシム

第十二條 交通銀行ノ株主總會ヲ左ノ二種ニ分ツ

一、通常株主總會

二、臨時株主總會

第十三條 通常株主總會ハ毎年一回總行所在地ニ於テ開會シ董事會之ヲ召集ス

第十四條 董事會カ重要事項ノタメ總會ノ開會ヲ必要ト認メタルトキハ臨時株主總會ヲ召集スヘシ

第十五條 董事會ハ董事ノ過半数又ハ監察人全部又ハ株主總會ノ會員五十人以上並ニ資本總額ノ百分ノ十以上ヲ所有スル株主カ重要事項ノ爲メ總會ノ開會ヲ請求スルトキハ株主總會ヲ召集スヘシ

第十六條 株主總會ノトキ十株以上又ハ十株以上ノ株主ヲ代理スル株主ハ開會前六十日以内ニ登録ヲナスニアラサレハ會員トシテ會議ニ出席スルノ資格ヲ有セス

第十七條 株主總會會員カ事故アリテ會議ニ出席スル能ハサルトキ其代理人ハ會員ヲ以テ限リトス

第十八條 毎年ノ營業利益ハ其總額ノ十分ノ一ヲ控除シテ積立金トシ殘餘ヲ配當スルコトヲ得

前項ノ積立金及ヒ配當金ハ株主總會ノ議決ヲ經財政部ニ呈報シテ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第十九條 前項積立金ノ用途左ノ如シ

一、資本ノ損失填補

二、利益配當ノ平均維持

第二十條 交通銀行ニ於テ本例條及ヒ本行ノ章程ニ違反スル行爲アリ又ハ政府ニ不利ナル行爲アルトキハ財政部之



ヲ制止スルコトヲ得

第二十一條 交通銀行ハ本條例ノ主旨ニ從ヒ詳細ナル章程ヲ定メ株主總會ノ議決ヲ經テ財政部ニ申請シ許可ヲ得ヘシ之ヲ改正スルトキ亦同シ

第二十二條 本條例ヲ改正スルトキハ株主總會ノ議決ヲ經董事會ヨリ財政部ニ申請シテ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第二十三條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(滿鐵調查課編國民政府ノ產業政策所載)

### 交通銀行組織規程

民國十七年十二月十二日董事會ノ修正議決ヲ經テ施行

#### 第一章 總 則

第一條 本行ハ總管理處ヲ設ケ全行ノ事務ヲ總攬ス單ニ總處ト略稱ス

第二條 總管理處ハ條例第二十一條第二十二條ノ規定ニ依リ常務董事ニヨリ之ヲ組織ス

第三條 總管理處ハ總經理カ董事長常務董事ト協議シテソノ事務ヲ處理ス

常務董事ノ行務ニ關スル意見ニ差異アルトキハ多數ニヨリ之ヲ決ス

總經理事故アリテ職務ヲ執行スルコト能ハサルトキハ常務董事中ヨリ一人ヲ互選シテ之ヲ代理セシム

第四條 本行ハ條例第三條ノ規定ニ依リ營業上必要ナル地域ニ分支行或ハ辦事處ヲ設置ス

第五條 本行ノ分行ヲ分チテ二等ト爲シ總管理處ニ直屬セシム支行ヲ分チテ四等ト爲シ分行ノ管轄ニ歸セシム但シ

四等支行ハ便宜上三等以上ノ支行ノ管轄ニ歸セシムルコトヲ得特別ノ事情アル場合ハ支行ヲ總管理處ニ直屬セシムルコトヲ得

第六條 業務上必要アル場合ハ總管理處ハ分支行ニ命シ或ハ分支行ヨリ總管理處ニ申請シ其認可ヲ經テ適當ナル地方ニ辦事處ヲ設ケ指定セル業務ヲ處理セシムルコトヲ得

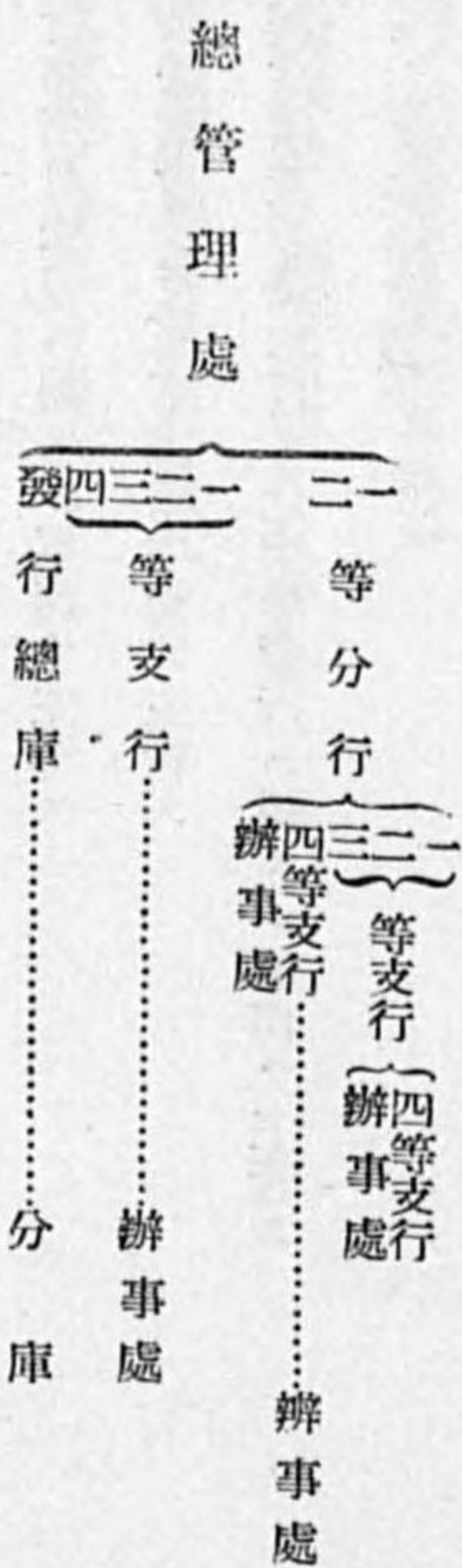
第七條 本行分支行ノ等級ハ業務ノ繁閑區域ノ廣狹ニ依リ總管理處ヨリ董事會ニ提議シ之ヲ決定ス

第八條 本行ハ發行總分庫ヲ設ケ兌換券ノ發行準備ノ保管等ノ事務ヲ掌ラシム

第九條 凡ソ分支行ハ外ニ對シテハ某處交通銀行ト稱シ辦事處ハ某處交通銀行辦事處ト稱シ發行總分庫ハ交通銀行

第何區發行總庫或ハ交通銀行第何區第何分庫ト稱ス

第十條 本行ノ組織ヲ表示スレハ左ノ如シ



#### 第二章 總管理處

後編 各銀行ニ關スル諸規定



第十一條 總管理處ニ左ノ三部ヲ置ク

甲、總務部 本行總務及株券ニ關スル事務ヲ主管ス

乙、業務部 本行營業會計及國庫代理事務ヲ主管ス

丙、券務部 各種有價證券及本行ノ兌換券發行ニ關スル事務ヲ主管ス

第十二條 總務部ニ左ノ各組ヲ置ク

第一組 左ノ各事項ヲ掌ル

全行ノ文書ノ受取發送

本部ノ文書規則電報ノ起案受取發送並翻譯

圖書其他重要書類ノ整理購入保管

董事會監察人會ノ會議記錄及通知事項

其他他部ニ屬セサル事項

第二組 左ノ各事項ヲ掌ル

行員ノ進退給與轉任賞罰請假救濟並ニ其記錄通知

行員ノ保證書ノ審査及保管

行員儲蓄金ノ取扱

本行文書ノ編輯印刷

各種調査材料ノ蒐集編輯及印刷

第三組 左ノ事項ヲ掌ル

本部帳簿書類ノ印刷保管及發送

本處ノ庶務及各種支拂記帳

本處ノ保管庫及行員寄宿舎ノ管理

第四組 左ノ事項ヲ掌ル

本行株券ニ關スル一切ノ事項

第十三條 業務部ニ左ノ各組ヲ置ク

第一組 左ノ各事項ヲ掌ル

本部文書電報ノ起案受取發送及翻譯

會計規則及記帳書類ノ編纂印刷

本部各種書類ノ整理保管

第二組 左ノ各事項ヲ掌ル

分支行庫ノ設立或ハ變更ノ規畫

後編 各銀行ニ關スル諸規定



支那銀行關係規定集

一七六

各分支行トノ營業上ノ協議及指導

各分支行ニ對スル資金融通ニ關スル事項

各地實業及財政金融狀況ノ調査

各種統計及營業報告ノ編成

全行ノ各種支拂預算ノ審査

第三組 左ノ各事項ヲ掌ル

本處及各分支行ノ帳簿

辛亥以前ノ舊帳簿

決算ノ編成

本處有價證券ノ保管

本部帳簿書類ノ保管

第四組 左ノ事項ヲ掌ル

總處及上海所屬各分支行ノ帳簿書類ノ検査

第五組 左ノ事項ヲ掌ル

天津北平奉天哈爾濱ノ各所屬分支行ノ帳簿書類ノ検査

第六組 左ノ各事項ヲ掌ル

政府ノ金錢出納

國庫ノ代理

交通事業ニ關スル公金ノ出入

實業ノ獎勵發展ニ關スルコト

第十四條 券務部ニ左ノ各組ヲ置ク

第一組 左ノ各事項ヲ掌ル

本部ノ文書電報ノ起案受取發送翻譯

發行規則及帳簿書類ノ編訂印刷

本部各種書類ノ整理及保管

第二組 左ノ各事項ヲ掌ル

各種公債及社債ノ代理發行並ニ其元利ノ償還

國庫證券ノ代理及其元利ノ償還

第三組 左ノ各事項ヲ掌ル

發行ニ關スル計劃

後編 各銀行ニ關スル諸規定

一七七



各分支行庫ノ發行狀況ノ考察

發行ニ關スル他行トノ契約ノ審査

兌換券ノ印刷及發行回收保管

發行準備ノ調達融通及審査

第四組 左ノ各事項ヲ掌ル

本處ノ發行帳簿ノ記載

各分支行庫ノ發行帳簿ノ審査

發行決算ノ編製成

發行統計ノ作製

本部帳簿ノ保管

第五組 左ノ事項ヲ掌ル

兌換券ノ點檢及銷燬

第十五條 各部ニ主任一人ヲ置キ總經理ノ命ヲ承ケ所屬各組ヲ指揮シテ其部ノ事務ヲ管理セシム各部主任ハ總管理

處ヨリ董事會ニ提議シテ之ヲ決定任命ス

第十六條 各組ニ領組一人ヲ置キ該部主任ノ命ヲ承ケテ其組ノ事務ヲ分掌セシム

第十七條 領組ハ本部主任或ハ他組領組カ之ヲ兼任スルコトヲ得

第十八條 各組ハ事務ノ繁簡ニヨリ辦事員助員練習生ヲ置ク

第十九條 總管理處ニ稽察及秘書ヲ置キ總經理ニ直屬セシメテ事務ヲ執ラシムルコトヲ得

第三章 分支行及辦事處

第二十條 分支行ニ經理一人ヲ置ク分行ニハ副理及襄理ヲ置クコトヲ得支行ニハ其狀況ニヨリ副理ヲ置クコトヲ得

其人數ハ各分支行ノ事務ノ繁簡ニヨリ隨時之ヲ定ム

經理ハ該行事務ヲ主持シ副理ハ經理ヲ補助シテ行務ヲ執行シ襄理ハ經副理ノ命ヲ承ケテ事務ヲ處理ス

經理公務ノタメ不在ノ場合或ハ事故アル場合ハ副理之ニ代リテ其職務ヲ行ヒ副理ナキ支行ニ於テハ經理ヨリ委託

シ主任ナキ支行ニ於テハ辦事員一人ニ代理ヲ委託ス但隨時總管理處ニ報告スルコトヲ要ス

第二十一條 辦事處ニ主任一人ヲ置キ該處ノ事務ヲ主持セシム

第二十二條 分支行ノ經理副理襄理辦事處ノ主任ハイツレモ總管理處ヨリ選任派遣ス但分行ノ經副理ノ任免ハ總管

理處ヨリ董事會ニ提議シテ之ヲ決定ス

四等支行ノ經理及辦事處ノ主任ハ其管轄分行ニ於テ總管理處ニ申請シテ選任スルコトヲ得

第二十三條 分行及一、二、三等支行ニ左ノ四係ヲ置キ事務ヲ掌ラシム

一、營業係 營業事務ヲ掌ル

後編 各銀行ニ關スル諸規定



二、文書係 文書庶務及其他各係ニ屬セサル事務ヲ掌ル

三、會計係 會計事務ヲ掌ル

四、出納係 現金ノ出入及擔保品ノ保管ヲ掌ル

關稅ノ代理取扱ヲ爲ス各所ニハ收稅處ヲ置クコトヲ得

第二十四條 各種有價證券ニ關スル事務ノ繁多ナル分支行ニ於テハ經理ハ總管理處ノ認可ヲ經テ別ニ公債係ヲ置クコトヲ得

第二十五條 國際收支ノ繁多ナル分支行ニ於テハ總管理處ノ認可ヲ經テ別ニ外務係ヲ置クコトヲ得

第二十六條 分行及一、二、三各等支行ノ各係ニ主任一人ヲ置ク會計主任ハ總管理處ヨリ派遣シ營業主任ハ經副襄理中ノ一人ヲシテ兼任セシム其他各係主任ハイツレモ經副襄理各別ニ之ヲ兼任ス

第二十七條 分支行ニ辦事員助員練習生ヲ置キ事務ヲ分掌セシム經副理之ヲ配置シ總管理處ノ認可ヲ受クヘシ但シ支行ニ在リテハ其管轄分行ヲ經由スヘシ

第二十八條 辦事員助員ハ會計出納ノ兩係ヲ兼務スルヲ得サルモ其他係ハ一人ニテ兩係ノ事務ヲ兼ヌルコトヲ得

第二十九條 分支行ノ營業文書出納ノ主任及辦事員助員練習生ハイツレモ經副理ヨリ總管理處ニ申請シテ任命ス但シ支行ニ於テハ管轄分行ヲ經由スルコトヲ要ス

第三十條 四等支行及辦事處ニ營業員文書員會計員出納員ヲ置キ係ヲ置カス別ニ辦事員助員練習生ヲ置ク會計員ハ

總管理處ヨリ派遣シ營業員ハ經理兼任シ或ハ之ヲ指定ス其他ハ前條ノ手續ニヨル

第三十一條 管轄分支行ハ總管理處ノ命ヲ受ケ所屬支行及辦事處ヲ指揮監督ス

第三十二條 管轄分支行ハ所屬支行及辦事處ノ設置撤廢合併ニツキテハ詳細ナル意見書ヲ總管理處ニ提出シ董事會ノ決定ヲ俟ツヘシ

#### 第四章 發行總分庫

第三十三條 總庫ニ總發行一人ヲ置キ本區内總分庫ノ發行及準備ニ關スル事務ヲ主持セシム總庫ニ副發行ヲ置クコトヲ得

總發行カ公務ノタメ不在或ハ事故アルトキハ副發行カ其職務ヲ代理ス副發行ヲ置カサル場合ハ總發行ハ適任者ヲ選ンテ之ヲ代理セシム但豫メ總管理處ノ認可ヲ經ルヲ要ス

第三十四條 分庫ニ主任一人ヲ置キ分庫ノ事務ヲ主持セシム

第三十五條 總庫ノ總發行副發行及分庫ノ主任ハイツレモ總管理處ヨリ任命ス但シ總副發行ノ任免ハ總管理處ヨリ董事會ニ提議シテ之ヲ決ス

第三十六條 總庫ニ左ノ二係ヲ置キ事務ヲ分掌ス

第一係 文書庶務及兌換券ノ發行保管並ニ兌換券及準備ニ關スル記帳ヲ掌ル

第二係 現金及證券ノ保管並ニ其帳簿ノ記載

後編 各銀行ニ關スル諸規定



第三十七條 總庫ノ各係ニ主任一人ヲ置キ其係ノ事務ヲ主管セシム總管理處ヨリ任命ス

第三十八條 總分庫ニ辦事員助員練習生ヲ置キ事務ヲ分掌セシム總發行或ハ主任ヨリ任命シ總管理處ノ認可ヲ經ヘシ但分庫ニ於テハ總庫ヲ經由スヘシ

第三十九條 總庫ハ所屬分庫ニ對シテハ第三十一條第三十二條ノ規定ヲ準用ス

### 第五章 附 則

第四十條 本規程ハ民國十七年十二月十二日董事會決議ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四十一條 本規程ニ不備ノ點アラハ隨時總管理處ヨリ董事會議ニ提議シ之ヲ修改ス

### 交通銀行董事會規定

第一條 本會ハ交通銀行條例及章程ニ據リ財政部派遣董事三人株主選出董事十二人ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條 本會ニ附議スヘキ事項左ノ如シ

- 一、總分支行ノ業務方針ノ審定
- 二、兌換券ノ發行數量ノ審定
- 三、總分支行及總分庫ノ組織及詳細規則ノ規定
- 四、分支行庫ノ設立或ハ撤廢ノ議決

五、代理店ノ委託及他行號ノ代理受託ノ審議

六、總處各部ノ主任及分行經副理及總庫總副發行ノ任免ノ決定

七、對外的重要契約ノ審議或ハ締結

八、債券株券等ノ代理募集ノ審議

九、不動産ヲ擔保ト爲ス貸付ノ審議

十、擔保物件ノ處理及債務ノ督促

十一、兌換券準備金ノ種類成分ノ檢査

十二、兌換券ノ樣式種類及印刷ノ審査

十三、營業用土地家屋ノ租借建築或ハ賣買ノ議決

十四、各種支拂預算決算ノ審査

十五、年末決算報告ノ整理

十六、通常或ハ臨時株主總會召集期日ノ議定

十七、各部分ニ於ケル權限爭議ノ裁決

第三條 本會ニ董事長一人ヲ置ク財政部ニ於テ常務董事中ヨリ指名任命ス

第四條 本會ニ常務董事五人ヲ置ク銀行ニ常駐シテ事務ヲ執ルヘシ事故ノタメ銀行ニ出勤シ能ハサル場合ハ事前ニ

後編 各銀行ニ關スル諸規定



總處ニ通知シテ休暇ヲ乞フヘシ

第五條 本會ハ董事長之ヲ召集ス

第六條 本會ハ董事長ヲ以テ主席トス董事長列席シ能ハサル時ハ董事中一人ヲ互選シテ臨時主席トス

第七條 本會ノ議事ハ出席者ノ多數ニヨリ之ヲ決ス可否同數ナル場合ハ主席之ヲ決ス但出席董事ノ員數カ半數ニ達

セサルトキハ決議ヲ爲スコト能ハス

第八條 董事事故ノタメ出席シ能ハサル場合ハ他ノ董事ニ代理ヲ委託スルコトヲ得但一人ノ董事ニシテ二人ヲ代理スルコト能ハス

第九條 董事自身ニ關スル議案ニツキテハ當該董事ハ議決權ヲ有セス必要アル場合ハ退席迴避スヘシ

第十條 本會ハ對外的ニハ董事長ノ名義ヲ以テ特殊對外行爲ニツキテハ會議ヲ開キテ決定スルコトヲ得

常務董事ノ一人或ハ二人ヲ代表トシテ推薦セル場合ハ其他ノ董事ノ對外行爲ハ效力ヲ生セス

第十一條 董事ハ本行章程ヲ遵守シ且本行トノ間ニ貸借或ハ擔保等ノ關係アルヲ得ス

第十二條 董事ハ本行一切ノ事務ニ對シ秘密ヲ嚴守スル責ヲ負フヘシ

第十三條 本會ノ會期左ノ如シ

常會ハ毎月第二第四水曜日午后四時 臨時會ハ主席ヨリ隨時召集ス

董事三人以上カ必要アリト認メタルトキハ主席ニ其召集ヲ請求スルコトヲ得

第十四條 本會ノ既ニ議決セル事項ニ對シテハ缺席セル董事ト雖モ異議ヲ挿ムコトヲ得ス

第十五條 本會ノ決議事項カ執行ニ當リ支障アルコト確實ナル場合ハ總經理ハ其理由ヲ聲明シテ其取消ヲ請求スルコトヲ得

第十六條 本會ノ附議事項カ一回ニ解決シ能ハサルトキハ次回ノ會議ニ延長スルコトヲ得

第十七條 本會ノ附議事項カ事實ヲ調査スヘキ必要アル場合ハ董事一人或ハ二人ヲ推薦シテ調査報告セシムルコトヲ得

第十八條 本會ノ整備スヘキ議事録ハ出席各董事カ署名捺印シ之ヲ保存スヘシ

第十九條 本會ノ文書ノ處理書類ノ保管會議ノ記錄等ハ總管理處ヨリ人ヲ派シテ之ニ當ラシム

第二十條 本規程ニ不備ノ點アルトキハ本會ニ於テ改修シ行務總會ノ審議ヲ經テ施行ス

第二十一條 本規定ハ行務總會審査決定ノ日ヨリ施行ス

### 交通銀行監察人會規定

第一條 本會ハ交通銀行條例ニ據リ財政部派遣監察人一人株主選出監察人四人ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條 本會ハ印鑑一箇ヲ有シ其文字ハ『交通銀行監察人會章』トス

第三條 本會ハ交通銀行章程第三十八條ノ規定ニ據リ左ノ職權ヲ執行ス

後編 各銀行ニ關スル諸規定



- 一、年末決算報告ノ審査
- 二、營業狀態財產狀況ノ監査必要アル場合ハ董事會ニ於テ意見ヲ陳述スルコトヲ得
- 三、業務ノ監査並ニ一切ノ帳簿證券現金ノ檢査
- 四、職員カ職務ノ執行ニ當リ條例章程規則及株主總會ノ決議ヲ遵守スルヤ否ヲ監察ス
- 五、董事ノ供託セル株券ノ保管
- 第四條 本會ハ何時タルトテ問ハス總經理ニ對シ本行ノ業務情況ノ報告ヲ求メ且帳簿書類現金證券ヲ檢査スルコトヲ得
- 第五條 第三條規定ノ職權ノ中第一項第五項ハ本會共同シテ之ヲ執行スルモ其他ノ第二項第三項第四項ハ各監察人カ公司條例第七十三條ノ規定ニ據リ各自之ヲ執行スルコトヲ得
- 第六條 本會ハ各分支行ニ對シ檢査ノ必要アリト認メタルトキハ一人或ハ二人ヲ出張セシメ監察ノ職權ヲ行使セシムルコトヲ得
- 第七條 本會主席ハ監察人ノ互選トス
- 第八條 本會ニ常駐監察人一人ヲ置ク監察人ノ互選トシ銀行ニ駐在シテ監察人ノ職權ヲ行使セシム
- 第九條 本會ハ主席之ヲ召集ス
- 第十條 本會主席事故アリテ召集シ能ハサル場合或ハ出席シ能ハサル場合ハ監察人二人以上ニテ召集開會シ監察人

中ノ一人ヲ推薦シテ臨時主席ト爲ス

- 第十一條 本會ノ議事ハ出席者ノ多數ヲ以テ決ヲ採リ可否同數ナル場合ハ主席之ヲ決ス但シ出席セル監察人數カ半數以上ニ達セサルトキハ決議ヲ爲スコトヲ得ス
  - 第十二條 本會開會ニ際シ總經理ニ對シ出席シテ意見ノ開陳ヲ請求シ或ハ總經理ヨリ出席シテ意見ヲ發表スルコトヲ得但シ議決權ヲ有セス
  - 第十三條 董事會ノ審議セル年末決算報告ハ株主總會開會二十日前ニ本會ニ提出シテ再審議スルコトヲ要ス
- 前項決算報告提出ノ際左ノ各書類ヲ添附スヘシ
- 一、財産目録
  - 二、貸借對照表
  - 三、營業報告書
  - 四、損益計算書
  - 五、積立金及剩餘利益分配案
- 第十四條 董事會ノ決議案ハ隨時本會ニ通知スルコトヲ要ス其秘密ヲ守ルヘキ事項ニツキテハ監察人モ亦其責ヲ負フ
  - 第十五條 本會開會ニ際シ監察人事故アリテ出席シ能ハサル場合ハ豫メ通知シ他ノ監察人ニ代理ヲ委託スルコトヲ要ス但シ一人ノ監察人ニシテ二人ヲ代理スルコト能ハス



第十六條 監察人ハ本行章程ヲ遵守シ本行ニ對シ貸借或ハ擔保行爲アルコトヲ得ス

第十七條 本會ハ本銀行ニ對スル以外ノ行爲ニツイテハ會議ヲ開キテ決定セル後監察人一人或ハ二人ヲ公選シテ代

表ト爲ス公選セラレサル監察人ノ對外行爲ハ效力ヲ發生セス對外文書ハ半数以上ノ監察人ノ決裁ヲ經テ發送スヘ

シ

第十八條 本會ノ會期左ノ如シ

常會 毎月第二第四水曜日午后四時

臨時會 主席ヨリ或ハ監察人二人以上ヨリ主席ニ請求シテ臨時召集ス

第十九條 常會ノ議題ハ主席ヨリ各監察人ニ提出ス職權内ノ事項ニツキテハ臨時ニ提出スルコトヲ得

第二十條 本會ノ作成スヘキ議事録ハ出席セル各監察人署名捺印シテ保存スルコトヲ要ス

第二十一條 監察人自身ニ關スル議案ニツイテハ當該監察人ハ議決權ヲ有セス

第二十二條 本會ノ文書ノ處理書類ノ保管會議ノ記錄等ハ總管理處ヨリ人ヲ派シテ之ヲ行ハシム

第二十三條 本規程ニ不備ノ點アルトキハ本會ニ於テ改修シ行務總會ノ審議ヲ經テ施行ス

第二十四條 本規程ハ行務總會議決ノ日ヨリ施行ス

### 中國國貨銀行章程

民國十七年國民政府會議ニ於テ設立ニ決定直チニ其準備ニ着手シ翌十八年十一月十五日ニ至リ開業ス本章程ハ民國十八年十一月十九日行政府會議通過支店蘇州南京杭州漢口天津濟南北平遼寧

### 第一章 總 則

第一條 本銀行ハ國內商工業ヲ保護シ發明家ヲ扶助シテ新企業ヲ創辦シ國貨生産ノ發展ヲ圖ルヲ以テ目的トス

政府ハ株式募集ヲ認メ國民ノ資本ヲ集メテ之ヲ組織セシム

第二條 本銀行ハ中國國貨銀行ト稱ス

第三條 本銀行ハ公司條例ニ遵照シテ組織シ株式會社トス

第四條 本銀行ハ本店ヲ上海ニ設置ス營業上必要アル場合ハ董事會決議ヲ經テ各省市ニ於ケル商業繁盛ノ區域及ヒ

海外華僑居留地ニ分支行ヲ設ケ或ハ他銀行ト代理契約ヲ締結スルコトヲ得

第五條 本銀行ノ營業年限ハ登錄ノ時ヨリ起算シ三十箇年ヲ以テ期限トス期限滿了ノ後ハ株主總會ノ議決ヲ經工商部財政部ノ許可ヲ得テ之ヲ延長スルコトヲ得

### 第二章 株 式

第六條 本銀行ノ株式總額ハ國幣二千萬元ト定メ二十萬株ニ分チ一株國幣百元トシ期ヲ分チテ募集ス第一期ハ先ツ五萬株ヲ募集シ内政府株二萬株民間株三萬株トス株金ハ一回拂トシ將來營業發展ノ狀況ヲ視テ期ヲ分チテ引續キ募集ス

第七條 本銀行ノ株券ハ總テ記名式ヲ用ヒ其引受及ヒ讓與ハ中華民國國民ニ限ル

第八條 本銀行株券ハ分チテ一株券五株券十株券五十株券及ヒ百株券ノ五種トシ本銀行ノ印ヲ捺シ董事長及ヒ常務

後編 各銀行ニ關スル諸規定



董事記名捺印ス

第九條 本銀行株券ヲ讓渡或ハ賣買スル場合ハ原株主ハ株券ノ裏面ニ記名捺印シ本銀行ニ向ケ名義書換ヲ請求シ株券一枚ニツキ手数料銀一元ヲ納ムヘシ若シ相續ニ因リ更ニ名義書換ヲナサントスル時ハ相續人ヨリ株券及ヒ合法ノ證明書ヲ提出シ本銀行調査ノ後名義書換ヲ行フヘシ此場合手数料株券一枚ニツキ銀一元ヲ納ムヘシ

第十條 本銀行株券ヲ發行スル時ハ株主ハ一定ノ書式ニ據リ記名調印セル書類ヲ本銀行ニ提出スヘシ以テ利息受渡或ハ名義書換等ノ證據トス

第十一條 凡ソ屋號商號或ハ法團ノ名義ヲ株券ニ記載スル者ハ其代表人ノ姓名住所ヲ本銀行ニ報告シ置クヘシ

第十二條 凡ソ株券ノ遺失或ハ燒失ニ因リ新ニ株券ヲ發給ヲ請求スルモノハ二人以上ノ保證人ノ記名調印セル正式ノ申請書ヲ提出シ該株主ノ負擔ニヨリ其旨本銀行指定ノ新聞紙ニ廣告スヘシ滿三箇月ヲ經ルモ紛擾發生セサルトキハ該株主ヨリ受領書ヲ提出セシメテ本銀行ヨリ新株券ヲ交付ス株券再交付費一枚ニ付銀一元ヲ納ムヘシ株券ニ若シ毀損汚損アリテ文字不明トナリ株主タル權利ヲ證明スル能ハサルニ至リタルトキ株券ノ交換ヲ請求スル場合ノ手續亦同シ

第三章 業 務

第十三條 本銀行ノ業務左ノ如シ

- 一、國貨生産事業ニ關スル擔保貸出
- 二、商工業救済ノタメ擔保貸出シ分期償還セシム
- 三、工業生産事業ノ株券及ヒ社債ノ募集ヲ引受クルコト
- 四、各種預金
- 五、爲替及ヒ荷爲替
- 六、割引
- 七、信託事業
- 八、業務ノ情況ヲ酌量シ有價證券ヲ賣買スルコトヲ得
- 九、其他實業銀行ノ業務

第十四條 本銀行ハ下記ノ業務ヲ行フコトヲ得ス

- 一、確實ナル擔保ナキ貸出シ及ヒ當座貸越
- 二、本銀行株券ノ購入及擔保
- 三、投機性ヲ帶ヒタル一切ノ營業

第四章 組 織

第十五條 本銀行ハ董事十五名ヲ置ク政府側ヨリ六名ヲ派シ民間側ヨリ九名ヲ株主會ニ於テ選出ス此九名ハ百株以

後編 各銀行ニ關スル諸規定



上ノ株主中ヨリ互選スルモノトス

第十六條 本銀行ハ監察人九名ヲ置ク政府側ヨリ五名ヲ派シ民間側ヨリ四名ヲ株主會ニ於テ選出ス此四名ハ五十株以上ノ株主中ヨリ選舉スルモノトス

第十七條 董事ノ任期ハ三年トシ監察人ノ任期ハ一年トス

政府側ノ董事監察人ハ滿期重任スルコトヲ得民間側ノ董事監察人モ亦選舉ノ上重任スルコトヲ得

第十八條 本銀行ハ常務董事五名ヲ置ク民間側董事ヨリ三名ヲ互選シ政府側董事中ヨリ二名ヲ政府指名ス

常駐監察人三名ヲ置キ民間側監察人ヨリ一名ヲ互選シ政府側監察人中ヨリ政府二名ヲ指名ス

董事長ハ常務董事中ヨリ互選シ政府之ヲ任命ス

第十九條 本銀行ハ總理一名協理一名乃至三名ヲ設ケ孰レモ董事會ヨリ之ヲ任命ス

分支行ハ經理一名副經理若干名トシ業務ノ繁閑ニ依ツテ適宜總經理ヨリ提案シ董事會ノ同意ヲ經テ之ヲ任命ス

第二十條 董事長ハ全行ヲ代表シ董事會董監聯席會議及ヒ株主會ノ主席トナル

第二十一條 總理ハ董事會カ決議セル業務方針ヲ守リ全行ノ事務ヲ處理シ且分支行ヲ指揮監督スル權利ヲ有ス重要事項起リタル場合ハ董事長常務理事ト協議ノ上之ヲ處理ス

### 第五章 董事會

第二十二條 董事會ノ職務左ノ如シ

- 一、全行ノ業務方針ヲ審定ス
- 二、各種章則ヲ審定ス
- 三、分支行及ヒ代理店ノ増設並ニ廢止合併ヲ議定ス
- 四、對外重要契約及ヒ委託受託ノ事項ヲ審查ス
- 五、總行及ヒ分支行ノ重要職員ノ任命ヲ決定ス
- 六、會社ノ社債株券等ノ代理募集ノ事項ヲ調査審議ス
- 七、生産事業へ貸出シ及ヒ商工業ノ救済ニ關スル事項ヲ審定ス
- 八、抵當物件ノ處分及ヒ借款ノ取締事項ヲ審議ス
- 九、豫算決算ノ各表及ヒ營業報告書ヲ審定ス
- 十、通常或ハ臨時株主總會ノ召集ヲ議定ス
- 十一、本行營業用土地家屋ノ租借建築或ハ賣買ヲ議定ス

### 第六章 監察人會

第二十三條 監察人會ノ職務左ノ如シ

- 一、董事ノ供託セル株券ヲ保管ス
- 二、本銀行ノ業務執行ニ當リ職員カ章程其他各種ノ議定案ニ準據スルヤ否ヤヲ監察ス

後編 各銀行ニ關スル諸規定



- 三、年末決算報告及ヒ各種ノ表ヲ審査ス
- 四、在庫及ヒ一切ノ帳簿面ノ情況ヲ検査ス
- 五、必要ニ應シ意見ヲ董事會ニ陳述スルコトヲ得

第七章 董監聯席會議

第二十四條 董事監察人ノ聯席會議ハ董監聯席會議ト簡稱シ其職務左ノ如シ

一、株主配當及ヒ行員慰勞金ノ分配案

二、董事會ノ裁決スル能ハサル權限ノ爭議

三、董事會監察人會ノ範圍ニ屬セサル事件

第二十五條 董監聯席會議ハ董事長ニ於テ之ヲ召集ス但シ董事及監察人五人以上ノ提議アル時ハ之ヲ召集スルコトヲ得

第二十六條 董監聯席會議ニ於テハ董事及ヒ監察人各過半数ノ出席アリ且ツ出席者ノ過半数ヲ以テ一切ノ事項ヲ決議ス可否同數ナルトキハ主席ニ於テ決ヲ採リ其議事録ハ主席記名捺印シ董事會ニ保存ス

第二十七條 總經理ハ董監聯席會議ニ列席シ意見ヲ陳述シ且ツ討論ニ參加スルコトヲ得但シ表決權ナシ

第八章 株主會

第二十八條 本銀行株主會ハ左ノ二種ニ分ツ

一、株主常會

二、株主臨時會

第二十九條 株主常會ハ毎年一回開會シ董事會ハ毎年決算後三箇月内ニ之ヲ召集ス

第三十條 株主臨時會ハ監察人會ノ必要ト認メタル時之ヲ召集ス株式總數二十分ノ一以上ノ株主ハ提議事項及ヒ其理由ヲ具シテ其召集ヲ董事會ニ請求スルコトヲ得

第三十一條 本銀行ノ株主ハ一株ニ付一議決權アリ百株ヲ超過スル者ハ二株ニ付一議決權アリ政府株ノ議決權ハ民間株ノ議決權ニ同シ

第三十二條 株主ハ每會期前ニ株券ヲ携帶シテ銀行ニ至リ入場券ヲ受取ルヘシ

第三十三條 株主事故ノタメ株主會ニ出席スルコト能ハサルトキハ委任狀ニ記名調印シ他ノ株主ニ代理ヲ委託スルコトヲ得

第三十四條 官廳或ハ會社商店等カ本行ノ株主ナルトキハ證明書ヲ差出し代理人ヲ出席セシメ或ハ前條ノ規定ニ依テ他ノ株主ニ代理ヲ委託スルコトヲ得

第三十五條 株主常會ヲ召集スルトキハ一箇月以前ニ各株主ニ通知スヘシ

株主臨時會ヲ召集スルトキハ十五日以前ニ各株主ニ通知スヘシ  
通知書中ニハ召集ノ主旨及ヒ提議事項ヲ明記スルヲ要ス

後編 各銀行ニ關スル諸規定



第三十六條 株主會ノ討論事項ハ通知書ニ明記セル議案ヲ以テ限リトス

株主ハ開會五日前ニ於テ七人以上ノ連署ヲ以テ議案ヲ提出スルコトヲ得、董事會ハ之ニヨリテ議事日程ヲ作ル

第三十七條 株主會ハ株式總數三分ノ一以上ニシテ且株主總數ノ半數以上ノ株主出席スルニアラサレハ開會スルコトヲ得ス、出席株主ノ議決權過半數ニ達セサレハ決議スルヲ得ス、代理セラル、株主ハ出席セルモノト見做ス

第三十八條 董事會ハ本期ノ財産目錄、貸借對照表、損益計算書、營業報告書及ヒ利益分配表ヲ作成シ、株主常會十五日以

前ニ監察人ニ送附シテ検査ヲ請フヘシ

監察人ハ董事會ノ送附セシ各種ノ表ニツキ帳簿ヲ根據トシ、實況ヲ調査シ、其意見ヲ株主會ニ報告スヘシ

株主常會ハ本期董事會カ作成セシ表及ヒ監察人ノ報告ヲ詳細ニ取調フルモノトス

第三十九條 株主會ノ決議録ハ主席記名調印シ、董事會ニ交付シテ之ヲ保存セシム

### 第九章 決算及利益分配

第四十條 本銀行ノ決算ハ毎年二期ニ分チ一月ヨリ六月ニ至ルマテ上半期トシ、七月ヨリ十二月ニ至ルマテ下半期トス

第四十一條 毎年ノ純益ハ先ツ其十分ノ一ヲ法定積立金トシ、更ニ株式ニ對スル利息六分ヲ控除シ、尙剩餘アル時ハ株

主配當及ヒ行員慰勞金ト爲ス、其分配額ハ董監聯席會議ニ於テ百分率ニ依リテ議決シ之ヲ分配ス

政府株ノ利益分配ハ十年以内ハ國貨基金ヲ以テ之ニ充テ、十年以後ハ民間株ト同様ニ之ヲ分配ス

### 第十章 附 則

第四十二條 本章程ニ未タ規定セサルモノハ銀行條例及ヒ公司條例ニ依リテ處理シ、各種ノ施行細則ハ別ニ之ヲ定ム

第四十三條 本章程ハ創立總會ニ於テ決議シ、工商財政兩部ノ認可ヲ經、國民政府行政院ニ轉交シタル日ヨリ施行ス

### 中國國貨銀行董事會規程

第一條 本會ハ中國々貨銀行章程第十五條ノ規定ニ依リ、官選董事六名及民間董事九名ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條 本會ノ議定スヘキ事項左ノ如シ

- 一、全行ノ業務方針ヲ審定ス
- 二、各種規則ヲ審定ス
- 三、分支行及ヒ代理店ノ増設及ヒ廢止合併ヲ議ス
- 四、對外重要契約及委託並ニ受託ノ事項ヲ審查ス
- 五、總行及ヒ支行ニ於ケル重要職員ノ任免ヲ決定ス
- 六、會社々債株式等ヲ代理募集スル事項ニ關シ調査ス
- 七、生産事業ニ對スル貸出シ及商工業救濟事項ヲ審定ス
- 八、抵當物件ノ處分及ヒ借款ノ取締事項ヲ審定ス

後編 各銀行ニ關スル諸規定



- 九、豫算決定各項ノ表及ヒ營業報告書ヲ審定ス
- 十、通常或ハ臨時株主會ノ召集ヲ議定ス
- 十一、本行營業用ノ土地家屋ノ租借建築或ハ賣買ヲ議定ス
- 第三條 本會ハ本行章程第二十條ノ規定ニ依リ董事長一名ヲ設ケ常務董事中ヨリ互選シ政府ニ申請シテ任命ス
- 第四條 本會ハ章程第二十條ノ規定ニ依リ常務董事五名ヲ置ク常ニ銀行ニ出勤シテ事務ヲ執ルヘシ若シ事故ノ爲メ出勤スルコト能ハサル時ハ他ノ董事ニ委託シテ之ヲ代理セシム
- 第五條 本會ハ董事長之ヲ召集ス
- 第六條 本會ハ董事長ヲ主席トシ若シ董事長出席スルコト能ハサル時ハ董事中ヨリ一名ヲ互選シ臨時主席ト爲ス
- 第七條 本會議事ハ出席董事ノ多數決トシ可否同數ナル時ハ主席決ヲ取ル但シ董事ノ出席半數以上ニ達セサル時ハ決議スルコトヲ得ス
- 第八條 董事若シ事故ノ爲メ出席スルコト能ハサル時ハ他ノ董事ニ委託シテ代理セシムルコトヲ得
- 第九條 董事自身ニ關スル議案ニツキテハ本人ハ議決權ナシ
- 必要ナル場合ハ退席シテ此ノ議事ヲ迴避スヘシ
- 第十條 本會ハ對外或ハ對内凡テ董事長ノ名義ヲ以テ之ヲ行ヒ若シ特殊ノ對外行爲アル時ハ會議ヲ經テ決定ス
- 常務董事一名或ハ二名ヲ推薦シテ代表ト爲シ其ノ推薦ヲ經サル者ノ對外行爲ハ効力ヲ發生セス

第十一條 董事ハ本章程ヲ遵守シ本行ニ對シ貸借及ヒ抵當行爲アルヲ得ス

第十二條 董事ハ本行一切ノ事務ニ對シ秘密ヲ嚴守スルノ責ヲ負フ

第十三條 本會ノ會期左ノ如シ

常會 毎月第一第三週ノ月曜日午後三時

臨時會 主席ヨリ臨時召集ス董事三人以上カ必要ト認メタル時ハ主席ニ請求シテ開會スルコトヲ得

第十四條 開會ノ際出席セザリシ董事ハ本會カ法定ノ手續ニ依リテ議決セシ事項ニ對シ異議ヲ提出スルコトヲ得ス

第十五條 本會ノ議決事項ノ執行ニ當リ若シ確實ニ支障アル場合ハ總經理ヨリ理由ヲ聲明シ覆議ヲ請求スルコトヲ得

第十六條 本會ノ議決スヘキ事項ニシテ調査ノ必要アルモノハ董事一名或ハ二名ヲ公舉シ調査報告ヲ擔任セシム

第十七條 本會ノ作成セシ議事録ハ出席各董事記名或ハ調印シ之ヲ保存ス

第十八條 本會ニ秘書長一名秘書二名ヲ置ク文書ヲ司リ印信ヲ保管シ會議事項ヲ記錄ス

第十九條 本會カ使用スル印章ノ文面ハ「中國國貨銀行董事會章」トス

第二十條 本規定ニ未タ盡キサル事項アラハ本會ノ董事三分ノ二以上ノ決議ニ依リ之ヲ修正ス

第二十一條 本規定ハ董事會カ査定シタル日ヨリ施行ス